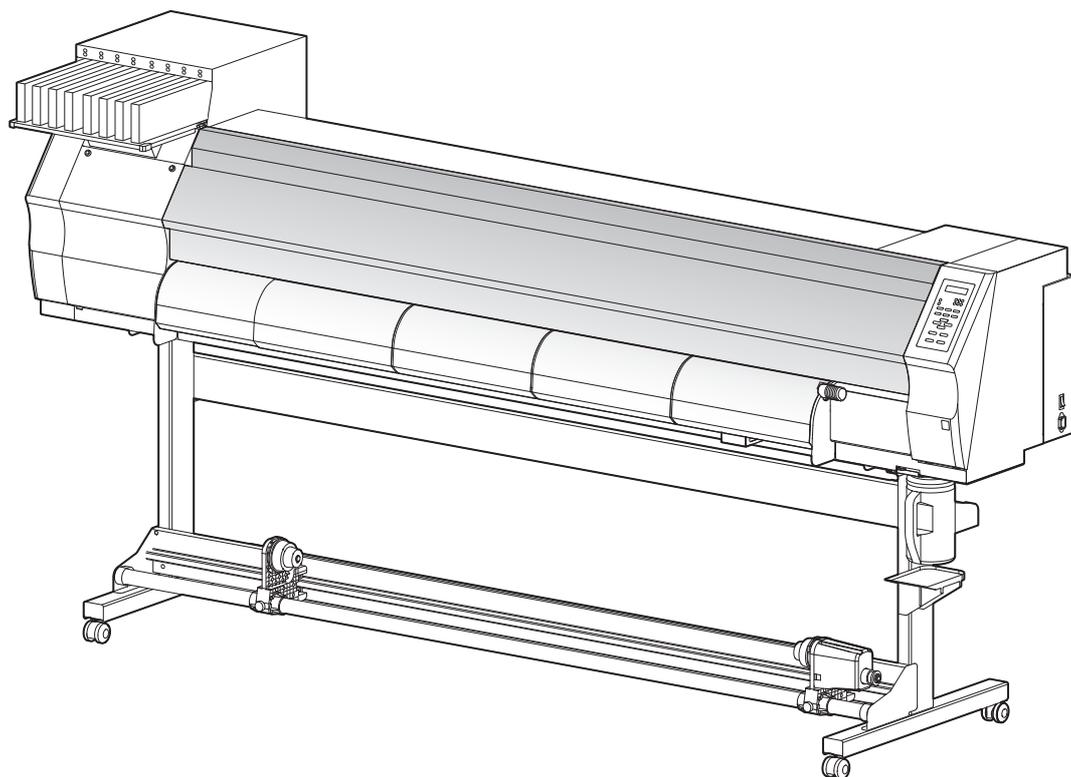


カラーインクジェットプリンタ

TS34-1800A

取扱説明書



OPERATION MANUAL

目次

ご注意	v
ご注意	v
おねがい	v
電波障害自主規制	v
テレビ/ラジオの受信障害について	v
はじめに	vi
使用できるインクについて	vi
取扱説明書について	vi
安全にお使いいただくために	vii
マーク表示について	vii
安全インターロックについて	x

第1章 ご使用の前に

本装置の移動	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-2
本装置の移動	1-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面	1-4
装置背面/側面	1-5
操作パネル	1-6
メディアセンサー	1-7
キャリッジ	1-8
カッター刃とカット溝	1-8
キャッピングステーション	1-9
ピンチローラーとフィードローラー	1-9
ケーブルを接続する	1-10
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-10
電源ケーブルを接続する	1-11
インクカートリッジを入れる	1-12
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	1-13
メディアについて	1-14
使用可能メディアサイズ	1-14
メディア取り扱い上の注意	1-14
メニューモードについて	1-15

第2章 基本的な使い方

ユーザータイプについて	2-2
ユーザータイプに登録できる設定内容	2-2
登録したユーザータイプを使用する	2-2
作業の流れ	2-3
電源を入れる/切る	2-4
電源を入れる	2-4
電源を切る	2-5

メディアをセットする	2-6
ヘッド高さを調整する	2-6
ロールメディアをセットする	2-8
巻取装置について	2-13
リーフメディアをセットする	2-14
原点を変更する場合は	2-16
テストプリントをする	2-17
テストプリントを行う	2-18
ヘッドクリーニング	2-19
ヘッドクリーニングについて	2-19
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う	2-19
データをプリントする	2-20
プリントを開始する	2-20
プリントを中止する	2-21
受信したデータを消去する(データクリア)	2-21
メディアをカットする	2-22

第3章 便利な使い方

ユーザータイプについて	3-2
プリント条件をまとめて登録する(タイプ登録)	3-2
タイプ登録のしかた	3-2
メディア補正の設定をする	3-4
メディア補正の設定	3-4
ドットの位置がずれたら	3-6
プリント方式の設定をする	3-8
パス(プリント品質)の設定	3-8
スキャン速度の設定	3-9
スキャン方向の設定	3-10
ロジカルシークの設定	3-11
乾燥時間の設定をする	3-12
マージンの設定をする	3-13
カラーパターンの設定をする	3-14
オートクリーニングの設定をする	3-15
プリント中クリーニングの設定をする	3-17
クリーニングの設定をする	3-17
ワイピングの設定をする	3-18
メディア検出の設定をする	3-20
パス間のシマを軽減する設定をする	3-21
その他の設定	3-23
設定した内容を初期状態に戻す	3-24
マシン設定	3-25
カンソウフィードの設定をする	3-26
カクニンフィードの設定をする	3-27
ジコクの設定をする	3-28
タンイの設定をする	3-29
スタンプの設定をする	3-30
マシンメイショウの設定をする	3-31
キーブザーの設定をする	3-32
カンキョウオンドの動作条件を変更する	3-33
インクの有効期限を延長する	3-34
インクの有効期限を延長する	3-34

インク供給経路の切替設定	3-36
装置情報を確認する	3-38
情報を表示させる	3-38

第4章 お手入れ

日常のお手入れ	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
メンテナンス洗浄液について	4-2
外装のお手入れ	4-3
プラテンの清掃	4-3
メディアセンサーの清掃	4-4
メディア押えの清掃	4-4
キャッピングステーションのメンテナンス	4-5
ワイパーとキャップの清掃	4-5
ワイパーを交換する	4-7
ヘッドノズルの洗浄	4-8
インク排出路の洗浄 (PUMP チューブ洗浄)	4-10
長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)	4-12
ヘッド周辺の清掃	4-14
ノズル詰まりが復旧しない場合	4-16
インクを充填する	4-16
ハイシュツ&センジョウ	4-17
インクの初期充填を行う	4-19
オートメンテナンス機能	4-20
リフレッシュ間隔を設定する	4-20
クリーニング間隔を設定する	4-21
その他のメンテナンス機能	4-22
ワイパー交換の警告時期を変更する	4-22
ヘッド選択の設定をする	4-23
メディア残量表示の設定をする	4-24
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-26
インクカラーを変更したいとき	4-30
昇華転写インクをより安定した品質でお使いいただくために	4-31
ワーニングメッセージの表示時期を設定する (昇華転写インクご使用時のみ)	4-32
カッター刃の交換	4-33

第5章 困ったときは

故障?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり/メディアが汚れる	5-3
画質不良が発生したときは	5-4
ノズル詰まりを解消したいとき	5-4
カートリッジ異常が発生したら	5-5
メッセージを表示するトラブル	5-6
ワーニングメッセージ	5-6
エラーメッセージ	5-8

第6章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクカートリッジのセット順	6-4
オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔	6-4
お問い合わせシート	6-5
警告ラベルについて	6-6
機能フローチャート	6-8

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ/ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本装置がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われる場合は、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることでお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

この度は、カラー インクジェットプリンタ TS34-1800A をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。「TS34-1800A」は、1.9m 幅のメディアに水性インク (4 色 /6 色) でプリントする、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、水性顔料インク (Pig) と昇華転写インク (Sb52) になります。

重要!

- 使用できるインクについて、詳しくは P.6-3 「インク仕様」 および P.6-4 「インクカートリッジのセット順」をご参照ください。

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ TS34-1800A」(以後本装置と称します) の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失/破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved. Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

使用上の警告と注意

 警告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

使用上のご注意

 注意

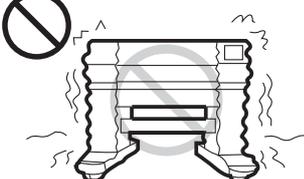
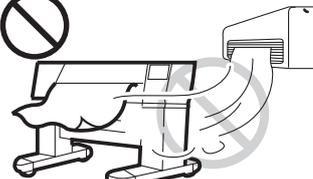
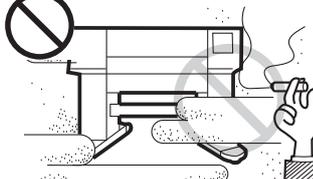
電源供給について	インクの取り扱い
 <ul style="list-style-type: none"> • ブレーカーは常時 ON にしておいてください。 • 側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。 	 <ul style="list-style-type: none"> • 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。 • 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
メンテナンス上の注意  <ul style="list-style-type: none"> • インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属の手袋を着用してください。 	

ご注意とお願い

 警 告	
インクカートリッジの取り扱い <ul style="list-style-type: none"> 本装置 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。 本装置 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。 本装置 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。 カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。 インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。 インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておく、正常にプリントできない場合があります。 インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。 インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。 インクカートリッジは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。 インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。 インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。 空になったインクカートリッジ・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください 	フロントカバーとレバーについて <ul style="list-style-type: none"> プリント中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。プリントが終了してしまいます。 メディアの取り扱い <ul style="list-style-type: none"> 推奨メディアをご使用ください。 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。 メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。 カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。 また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。 メディアとホコリについて <ul style="list-style-type: none"> メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

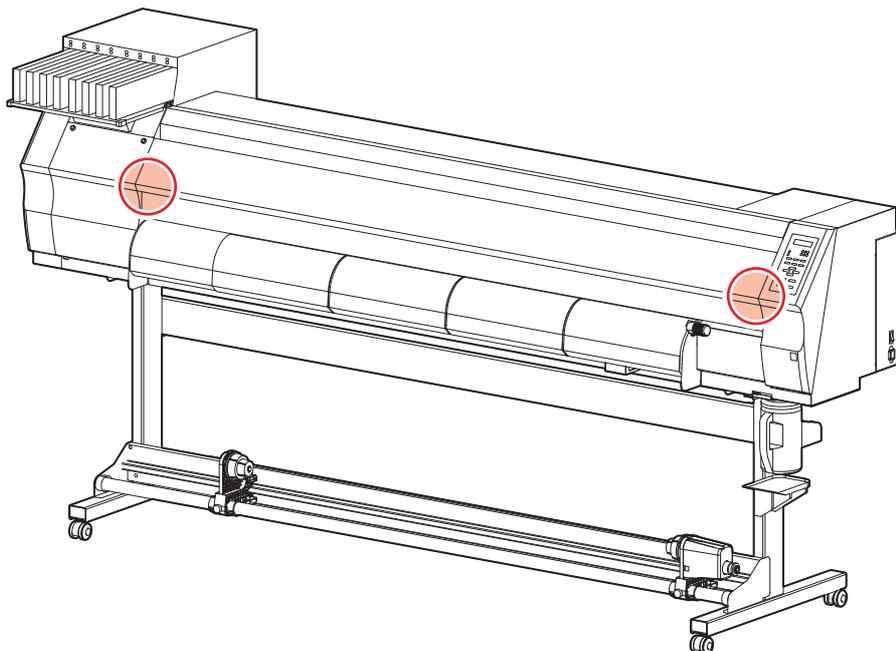
 警 告	
メンテナンス上の注意 <ul style="list-style-type: none"> できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを 2 または 3 に設定してください。(P.3-23) プリントしないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。 プリント中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(P.3-15 「オートクリーニングの設定をする」) インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。 キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。 	
定期交換部品 <ul style="list-style-type: none"> 本装置には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。 	
本装置の廃棄処分について <ul style="list-style-type: none"> 本装置を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。 	

設置上のご注意

 注 意		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		 <ul style="list-style-type: none"> •次の環境下でお使いください。 •使用環境： 20～35℃ (68～95°F) 35～65% (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所
		

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)



第1章 ご使用前に



この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

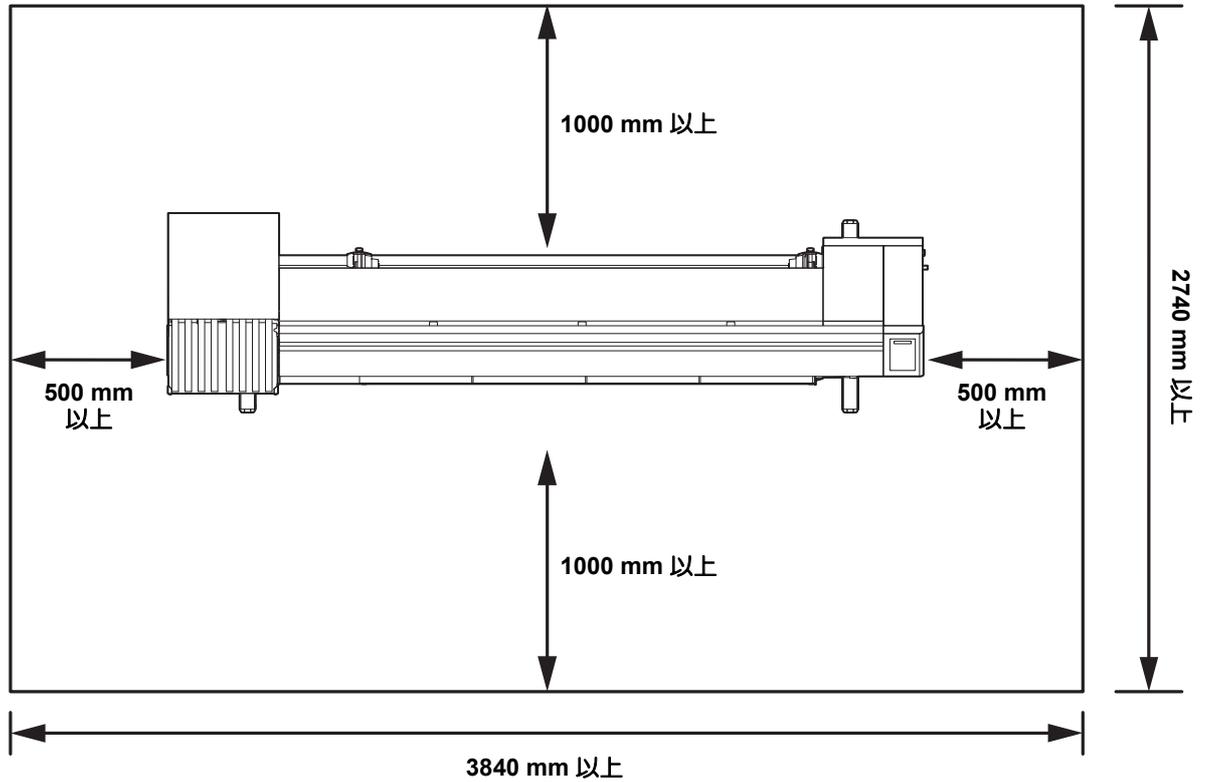
本装置の移動	1-2	ケーブルを接続する.....	1-10
設置場所について	1-2	USB2.0 インターフェイスケーブルを	
使用環境温度について	1-2	接続する	1-10
本装置の移動	1-3	電源ケーブルを接続する	1-11
各部の名称とはたらきについて.....	1-4	インクカートリッジを入れる	1-12
装置前面	1-4	インクカートリッジ取り扱い上のご注意 ..	1-13
装置背面 / 側面	1-5	メディアについて	1-14
操作パネル	1-6	使用可能メディアサイズ	1-14
メディアセンサー	1-7	メディア取り扱い上の注意	1-14
キャリッジ	1-8	メニューモードについて.....	1-15
カッター刃とカット溝	1-8		
キャッピングステーション	1-9		
ピンチローラーとフィードローラー	1-9		

本装置の移動

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
TS34-1800A	2840mm	739mm	1424mm	210kg



使用環境温度について

本装置は安定したプリントを行うために、20 ~ 35 °Cの環境でご使用ください。

本装置の移動

本装置をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。

重要!

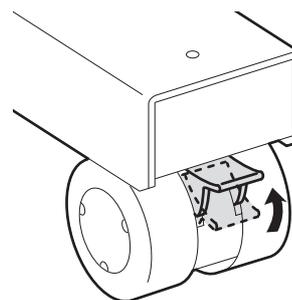
- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。



- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。

1

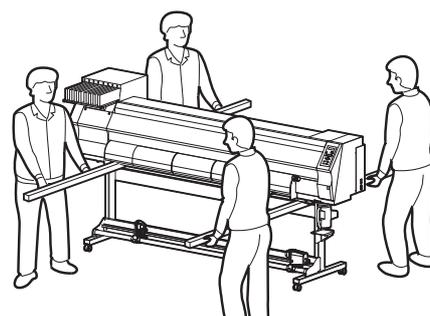
キャスターのロックを解除する



2

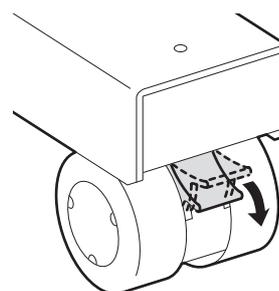
図のようにして、移動する

- 本装置を移動するときは、必ず4人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。



3

キャスターをロックする



1

1 使用前の

各部の名称とはたらきについて

装置前面

メンテナンスカバー

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

インクカートリッジ

各色のインクが入っています。

カートリッジ保護カバー

440cc カートリッジの突出によるケガや装置の破損などを防止します。
(インクカートリッジの下にあります)

フロントカバー

メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

クランプレバー (前)

ピンチローラを上下して、メディアを保持/解放します。

キャリッジ

印字を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。

操作パネル

本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

電源スイッチ^{*1}

本装置の電源をオン/オフします。

廃インクタンク

廃インクを溜めるタンクです。

脚

本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。

巻取装置

プリント終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。

プラテン

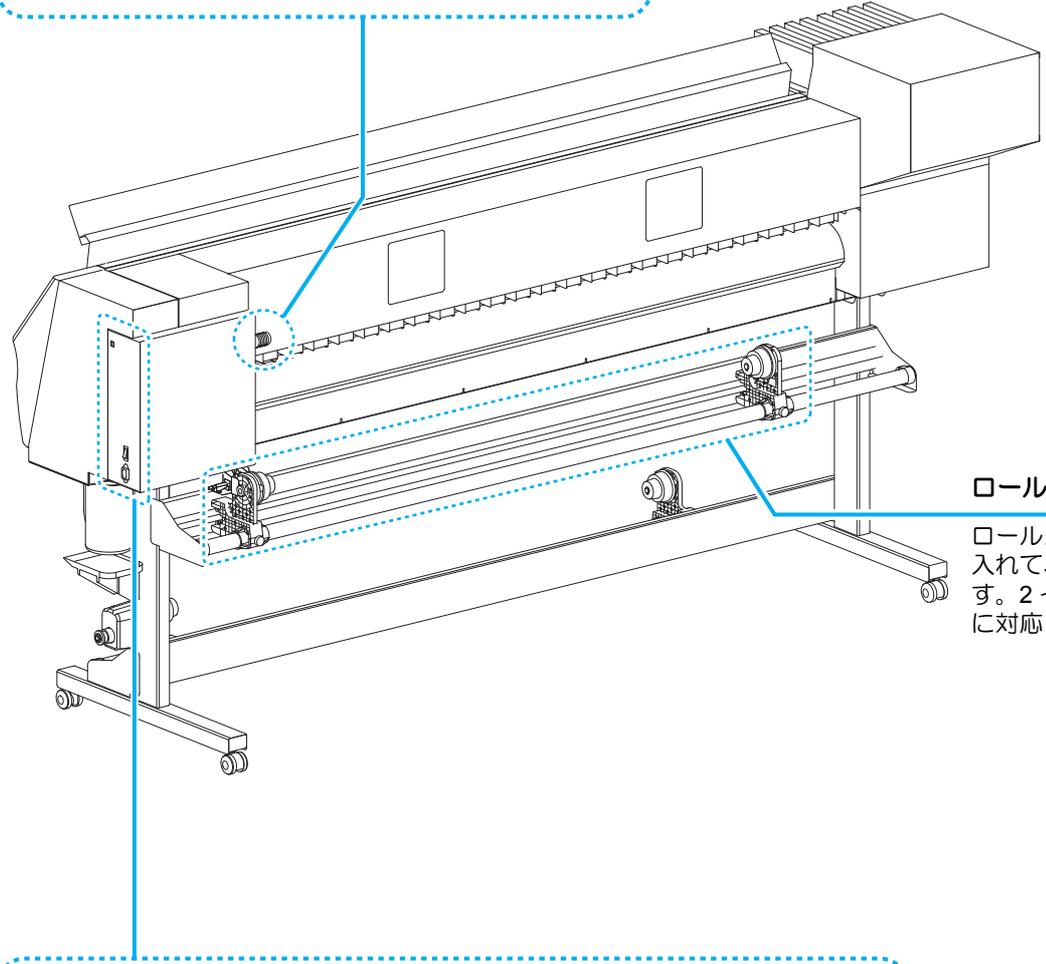
プラテンに沿って、メディアを出力します。

*1: 電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると点滅します。主電源スイッチ (P.1-5) をオンにしておく、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

装置背面 / 側面

1
1 使用の前に

クランプレバー (後)
 本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。



ロールホルダー
 ロールメディアの紙管の左右に入れて、メディアを保持します。2インチと3インチの紙管に対応しています。

USB コネクタ
 USB2.0 インターフェイスコネクタです。

主電源スイッチ
 本装置の主電源をオン/オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。

AC インレット
 電源ケーブルを接続します。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

ディスプレイ

本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

ACTIVE ランプ

データ受信中やプリント中に点滅します。

USER TYPE キー

ユーザータイプを選択するときに使用します。

CLEANING キー

インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

DATA CLEAR キー

本装置が受信したデータを消去します。

FUNCTION キー

各種機能設定メニューに入ります。

END キー

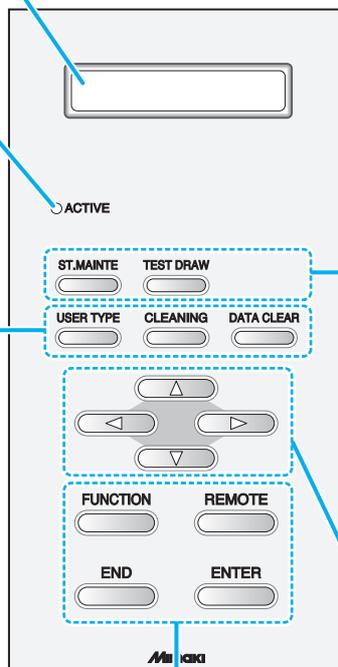
直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。

REMOTE キー

《ローカルモード》と《リモートモード》を切り替えます。

ENTER キー

1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。



ST.MAINT キー

ステーションメンテをするときに使用します。

TEST PRINT キー

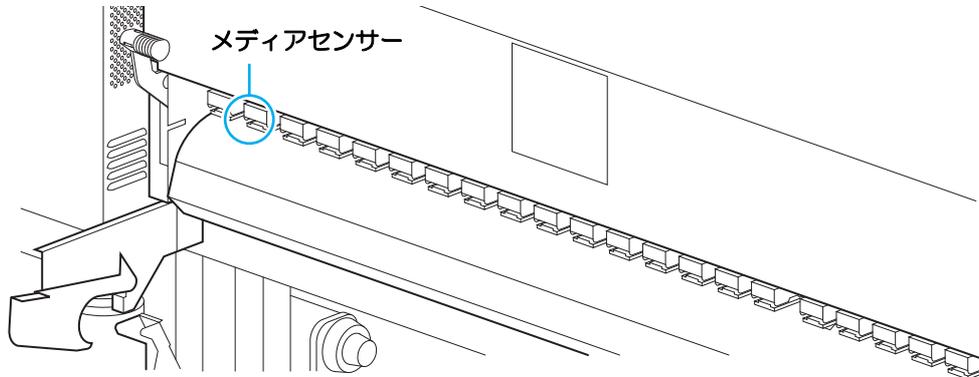
インク詰まりなどのプリント不良がないか確認するためにテストパターンをプリントします。

ジョグキー

《ローカルモード》でのヘッドやメディアの移動、プリント条件の項目選択に使用します。

メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上（背面側）にメディアセンサーが1箇所あります。



重要!

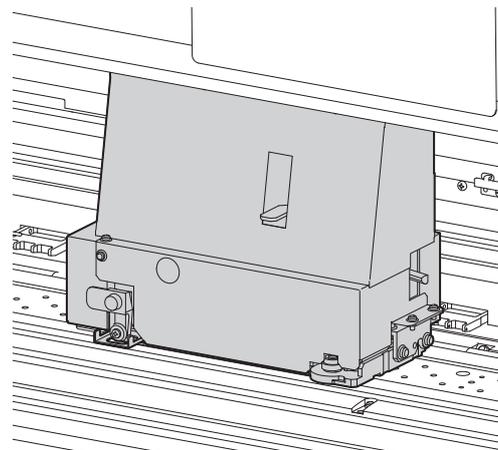
- メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。

また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを2段階に調整するレバーが付いています。

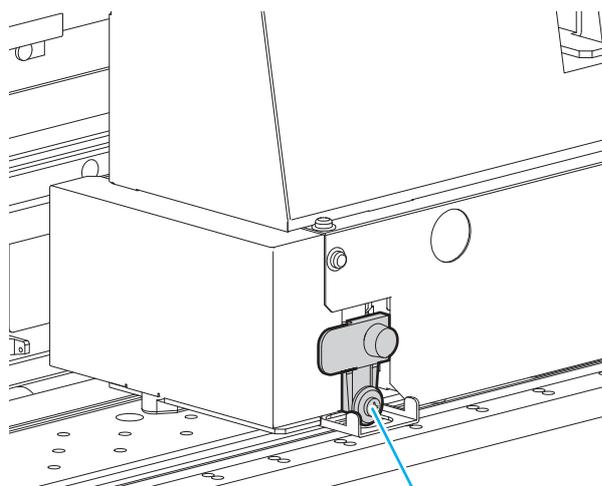
(参照 P.2-6)



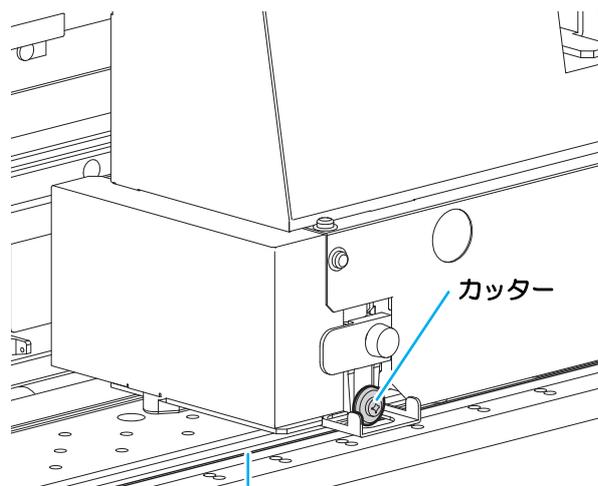
カッター刃とカット溝

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。

プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。



カッターユニット



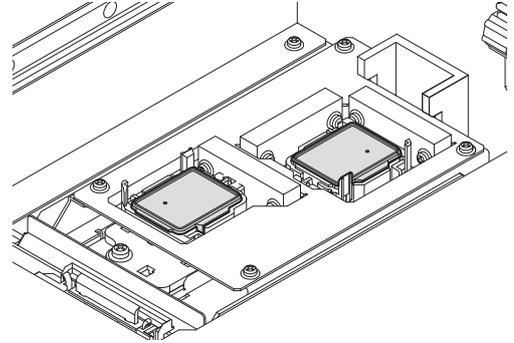
カット溝

キャッピングステーション



- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。

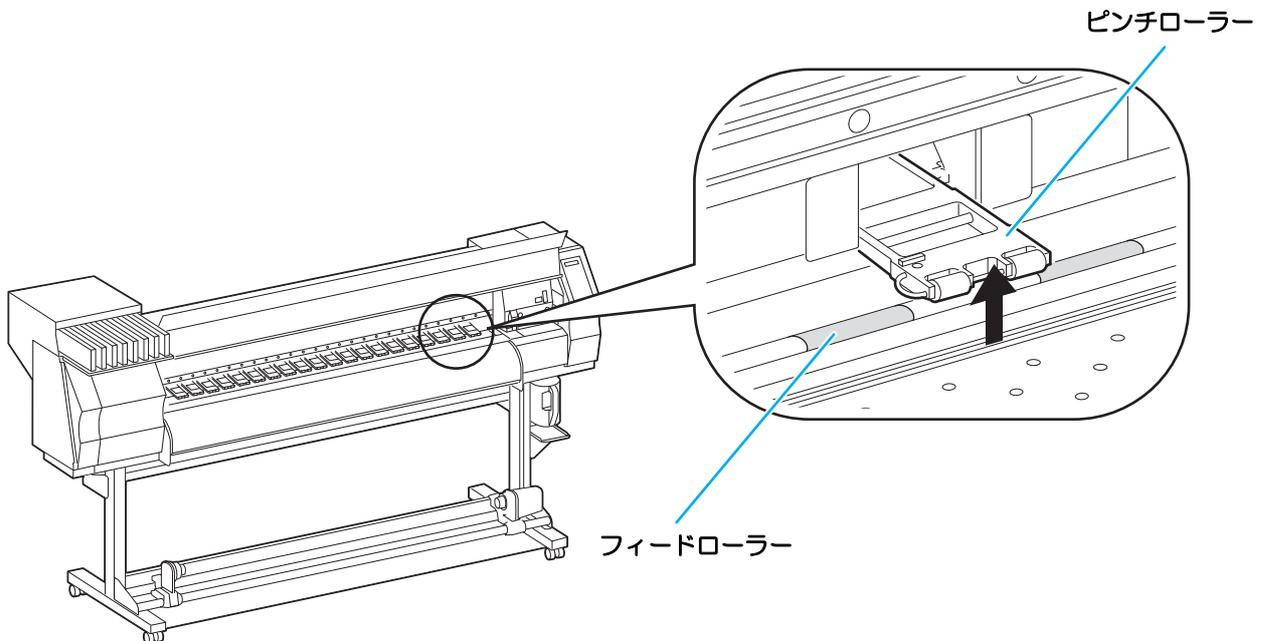


ピンチローラーとフィードローラー

重要!

- 本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。



1

1 使用の前に

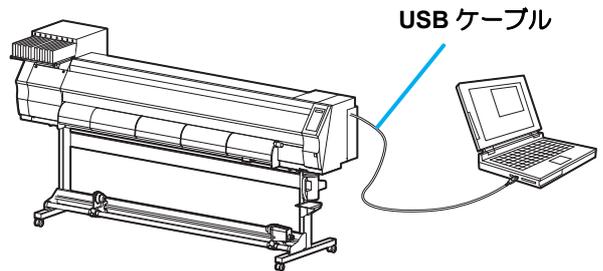
ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置を USB2.0 インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

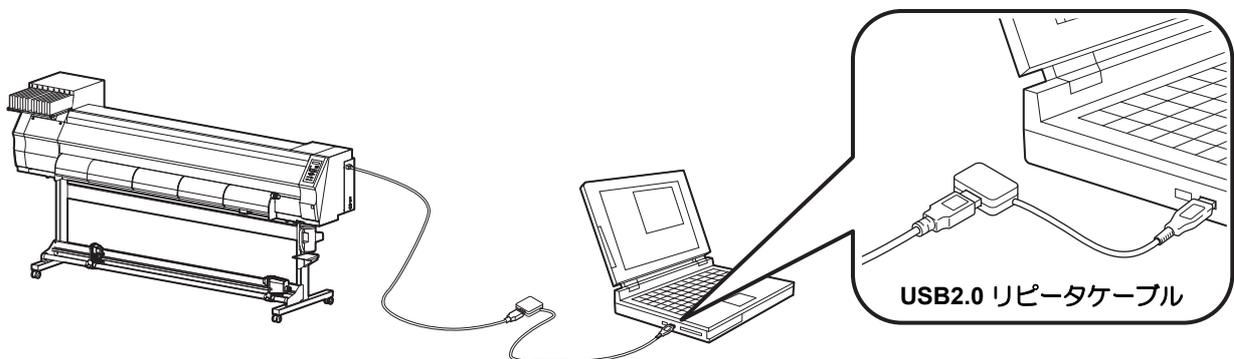


USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

- 重要!** • ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の TS34 を接続する場合

1 台のパソコンに TS34 を複数台接続する場合、TS34 を正常に認識できない場合があります。複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して TS34 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても TS34 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

TS34 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

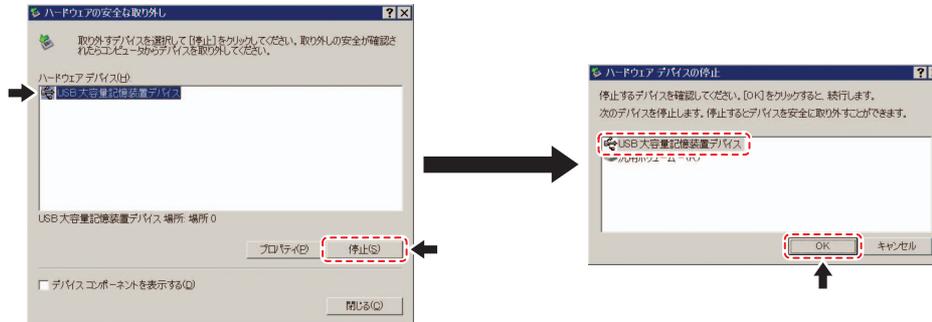
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに TS34 を接続した場合、TS34 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

TS34 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。

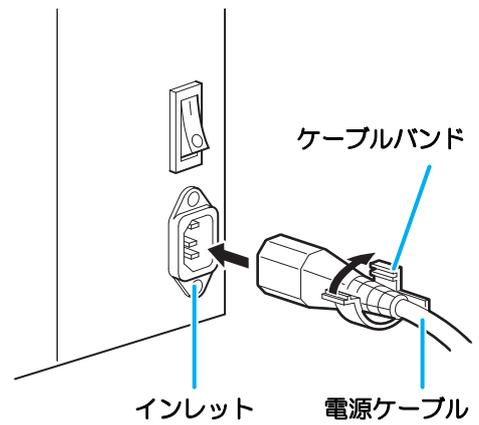
スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



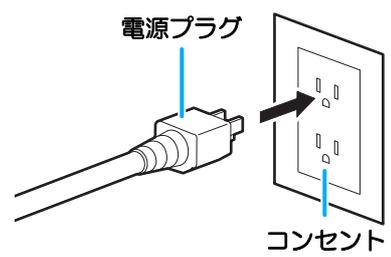
電源ケーブルを接続する

1 電源ケーブルを本装置のインレットに差し込む

2 ケーブルバンドを固定する
 ・本装置に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。



3 電源プラグをコンセントに差し込む



・付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。

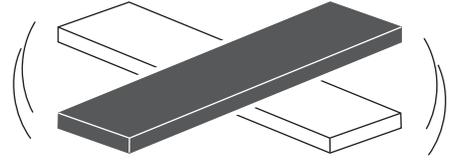


・必ず本装置の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
 ・電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・火災の原因となります。

インクカートリッジを入れる

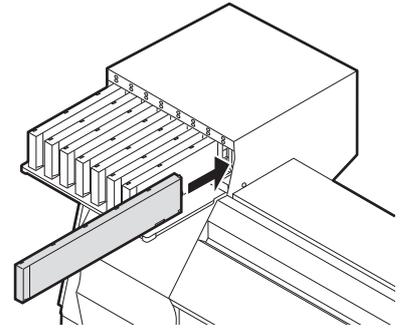
インクカートリッジを挿入します。

1 図のようにして、インクカートリッジを振る



2 インクカートリッジを差し込む

- IC チップがある方を左側に向けて、縦にして差し込んでください。
- ディスプレイには、次のように色を表示します。
ブラック : K, シアン : C, マゼンダ : M, イエロー : Y,
ブルー : B, ライトシアン : c, ライトマゼンダ : m,
ライトブルー : b



インクカートリッジを交換する

ディスプレイに [インクエンド] や [インクニアエンド] などが表示されたときは、次のようにしてください。

● [インクエンド] が表示されたとき

- (1) 交換するインクカートリッジを引き抜く
- (2) IC チップの向きに注意して、新しいインクカートリッジを差し込む

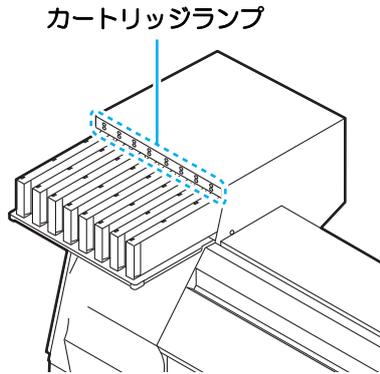
● [インクニアエンド] が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。

重要! ・ [インクニアエンド] 表示中は、プリント中クリーニングの設定ができなくなります。(P.3-17)

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの上にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。



ランプの状態		説明
上段 赤色ランプ	消灯	異常なし
	点滅	次のいずれかのエラーが発生しています。 ・インクニアエンド ・インクエンド ・インク期限切れ(1ヶ月)
	点灯	次のいずれかのエラーが発生しています。 ・インクの残量が0になった ・インクカートリッジが挿入されていない ・その他のインクエラー (☞ P.5-5)
下段 緑色ランプ	消灯	異常なし
	点灯	4色インクセットでお使いのとき、本機はインク残量の少ないインクカートリッジからインク供給を行います。(☞ P.3-36) この場合、使用中のカートリッジのランプが緑点灯します。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意



- ・本装置には専用のインクカートリッジをお使いください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- ・インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ・インクカートリッジは開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものはプリント品質が低下します。
- ・インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- ・インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。



- ・インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- ・インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- ・インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。



- ・インクカートリッジは分解しないでください。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名		TS34-1800A
推奨メディアの種類		フォトペーパー / PET / 合成紙 / 転写紙
最大幅		1910mm
最小幅		210mm
最大プリント範囲		1900mm
ロールメディア	厚さ	1.0mm 以下
	ロール外径	Φ180mm 以下
	ロール重量	25kg 以下
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ
	プリント面	ロール外側面
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重要!

- **推奨メディアをご使用ください。**
安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- **メディアの伸縮にご注意ください。**
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- **カールしたメディアは使用しないでください。**
紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- **メディアのフチのホコリにご注意ください。**
ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのポタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。

メニューモードについて

本装置には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

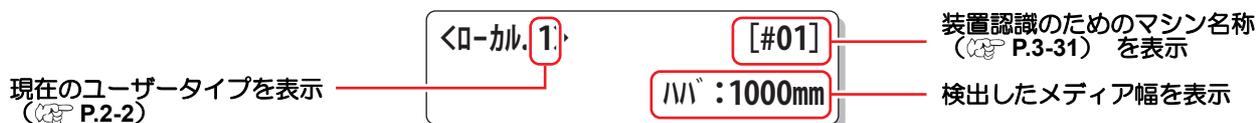
ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。(REMOTE)/(TEST PRINT)キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。

ローカルモード中のディスプレイ表示



ローカルでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- (TEST PRINT) キーを押して、「テストプリント」を行います。
- (CLEANING) キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
- (FUNCTION) キーを押して、各種機能を設定します。(→ファンクションモードへ)
- (ENTER) キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- (REMOTE) キーを押して、「ローカル」モードと「リモート」モードを切り替えます。
- (DATA CLEAR) キーを押して、受信したプリントデータを消去します。
- (USER TYPE) キーを押して、ユーザータイプを変更します。
- (ST.MAINT) キーを押して、メンテナンス機能の[ステーションメンテナンス]をダイレクトに選択します。

ファンクションモード

ローカルモード時に、(FUNCTION) キーを押すとファンクションモードになります。
各ファンクション機能を設定します。

リモートモード

受信したデータをプリントします。
プリント中に(REMOTE)キーを押すと、一時停止します。

第2章 基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

ユーザータイプについて	2-2	テストプリントをする	2-17
ユーザータイプに登録できる設定内容	2-2	テストプリントを行う	2-18
登録したユーザータイプを使用する	2-2	ヘッドクリーニング	2-19
作業の流れ	2-3	ヘッドクリーニングについて	2-19
電源を入れる / 切る	2-4	テストプリントの結果に合わせて	
電源を入れる	2-4	ヘッドクリーニングを行う	2-19
電源を切る	2-5	データをプリントする	2-20
メディアをセットする	2-6	プリントを開始する	2-20
ヘッド高さを調整する	2-6	プリントを中止する	2-21
ロールメディアをセットする	2-8	受信したデータを消去する	
巻取装置について	2-13	(データクリア)	2-21
リーフメディアをセットする	2-14	メディアをカットする	2-22
原点を変更する場合は	2-16		

ユーザータイプについて

本装置を使ってプリントをするとき、メディアの特性に合わせたプリント設定を作成（ユーザータイプの設定）することにより、より高画質なプリントを実現することができます。
本装置では、ユーザータイプ 1～4 の 4 種類のタイプを設定できます。

ユーザータイプに登録できる設定内容

ユーザータイプ（1～4）への登録方法は、P.3-2 を参照してください。

設定項目	参照ページ	設定項目	参照ページ
メディア補正の設定	P.3-4	リフレッシュの設定	P.3-23
プリント方式の設定	P.3-8	吸着の設定	
ドット位置補正の設定	P.3-6	フィード速度レベルの設定	
重ね塗りの設定	P.3-23	オートクリーニングの設定	P.3-15
乾燥時間の設定	P.3-12	プリント中クリーニングの設定	P.3-17
オートカットの設定	P.3-23	メディア検出の設定	P.3-20
プリフィードの設定		送り原点の設定	P.3-23
マージンの設定	P.3-13	MAPS の設定	P.3-21
カラーパターンの設定	P.3-14		

登録したユーザータイプを使用する

1

ローカルで、**USER TYPE** キーを押す

```
<ローカル. 1> [ #01 ]
          / \ \ * * * * mm
```

2

▲ **▼** でユーザータイプ（1～4）を選択する
・ **USER TYPE** キーを押しても選択できます。

```
ユーザータイプ° ヘンコウ
タイプ° (1) -> <2> : ent
```

3

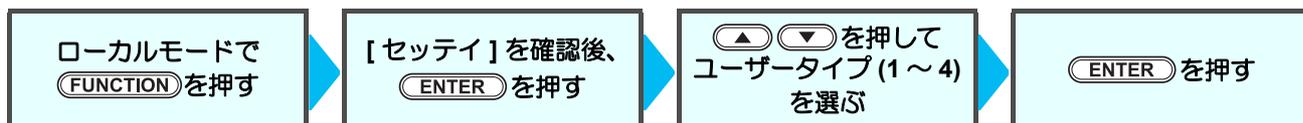
ENTER キーを押す

```
<ローカル. 2> [ #01 ]
          / \ \ * * * * mm
```

選択したユーザータイプの番号

USER TYPE を使わないでユーザータイプを選ぶには

USER TYPE キーを押さなくても、ローカルモードから **FUNCTION** キーを使ってユーザータイプを選ぶことができます。



作業の流れ

1 電源を入れる / 切る

「電源を入れる / 切る」(☞ P.2-4) を参照してください。

2 メディアをセットする

「メディアをセットする」(☞ P.2-6) を参照してください。

3 テストプリントをする

「テストプリントをする」(☞ P.2-17) を参照してください。

4 ヘッドクリーニング

「ヘッドクリーニング」(☞ P.2-19) を参照してください。

5 データをプリントする

「データをプリントする」(☞ P.2-20) を参照してください。

2

基本的な使い方

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本装置には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ : 本装置の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。

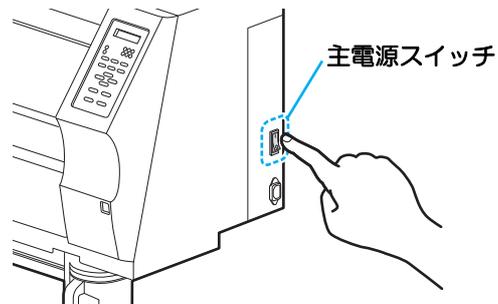
電源スイッチ : 通常、電源のオン/オフをするときはこのスイッチを使用します。

電源がオンのときは電源スイッチが緑色に点灯し、オフになると緑色に点滅します。

電源スイッチがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば（電源スイッチが緑色点滅）、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。

TS34-1800A V*.*

- 初期動作を実行します。

2 ローカルになる

<ローカル.1> [#01]

3 接続しているコンピュータの電源をオンにする

重要!

- フロントカバー/メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

電源を切る

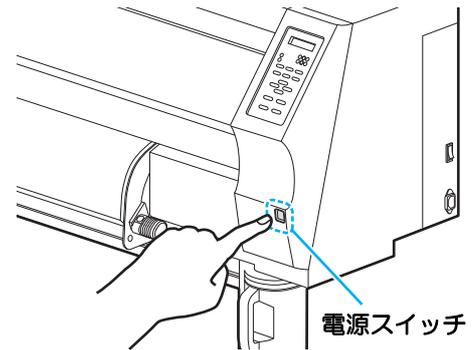
プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。(P.5-8「エラーメッセージ」)

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 電源スイッチを押して、電源を切る

- 電源スイッチが緑色に点滅します。
- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本装置をご使用になるときは、電源スイッチを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。

● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● 電源スイッチを切ってから、主電源スイッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源スイッチを押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本装置では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-14「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

ヘッド高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

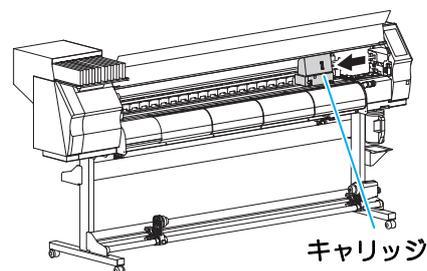
重要!

- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットしたあとに調整すると、メディア詰まりやプリント品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。
- 使用目的に応じ、ヘッド、イニシャル高さのレンジを2段階に調整できます。
- 本装置の印刷高さ範囲は、Lレンジ(2mm/3mm)からHレンジ(3mm/4mm)です。(出荷時は、Lレンジ2mmで設定)
- プリント品質を“ソウホウコウ”にセット(☞P.3-10)している場合、ヘッド高さの調整後にメンテナンス機能の「ドット位置補正」をしてください。(☞P.3-6)

1

キャリッジをプラテン上に移動する

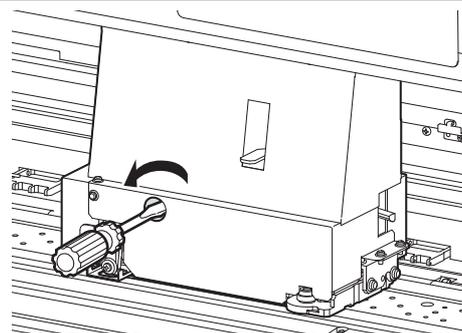
- 電源オン時
メンテナンス機能の「ステーションメンテナンス-キャリッジアウト」を実行(☞P.4-5 手順1,2)
- 電源オフ時
フロントカバーを開け、手でキャリッジを動かす



2

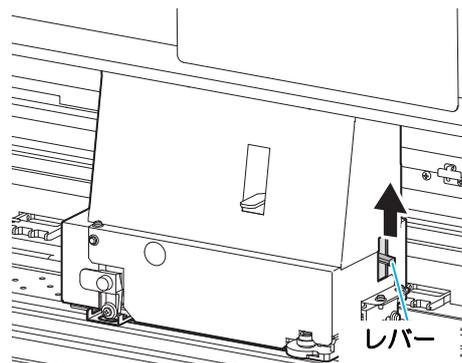
正面にあるネジを緩める

- マイナスドライバー等を使って、1回程度回して緩めます。



3

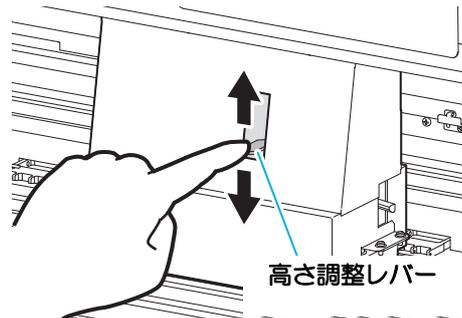
キャリッジ右側にあるレバーを上上げる



4

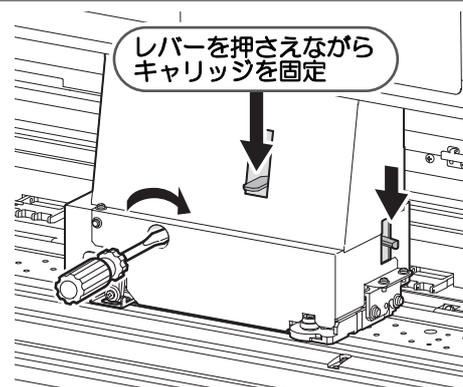
高さ調整レバーをメディアに応じて調整する

- P.2-7「調整レバーとレンジについて」を参照して、レバーの位置を調整してください。
- 高さ調整レバーは、確実に上か下に設定してください。レバーが中間にあると、プリント異常をおこします。

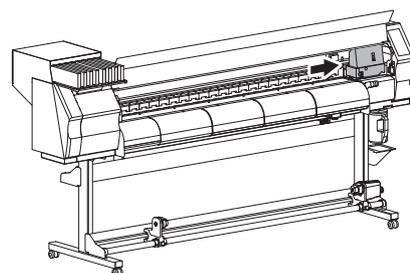


5 高さ調整レバーを押さえたまま、キャリッジを固定する

- キャリッジ右側のレバーを下げ、正面のネジを締めると、キャリッジを固定することができます。
- 必ず、高さ調整レバーを押さえたままキャリッジを固定してください。正常な位置にヘッドを固定できません。
- ネジは緩まないように確実に締めてください。



6 キャリッジをステーションに戻す



調整レバーとレンジについて

レンジ	高さ調整レバー	ヘッド高さ	切換エリア	
Lレンジ (一般印刷)	Thin / ウスイ	2mm (出荷時設定位置)	ユーザー切換	サービスマン切換 L ↔ Hの変更に ついては、弊社営業へ お問い合わせください。
	Thick / アツイ	3mm		
Hレンジ (転写系印刷)	Thin / ウスイ	3mm		
	Thick / アツイ	4mm		



- メディアの種類により、ヘッドにホコリが付着しやすい場合やインクこすれが発生する場合、レバーを「厚い(Thick)」にセットしてください。



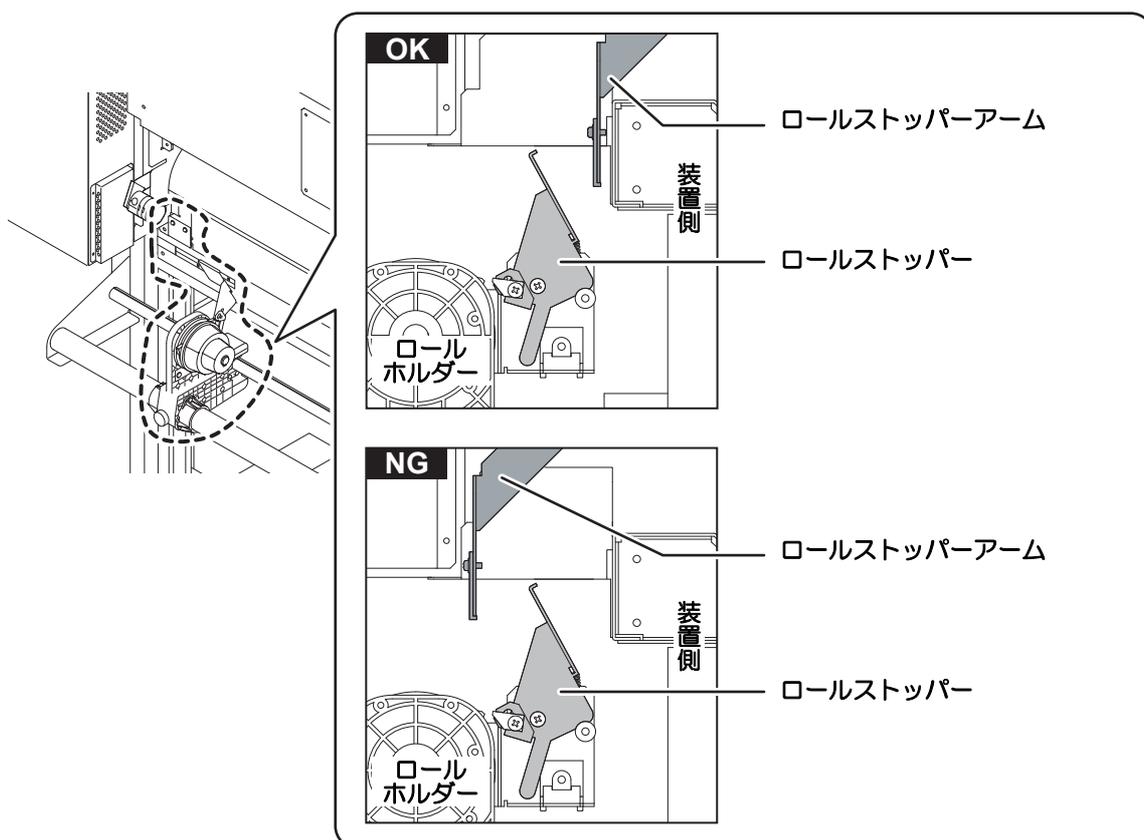
- 装置設置後に転写インクからその他の水性インクに変更する場合、または水性顔料インクから転写インクに変更する場合、ヘッドイニシャル高さ(H/Lレンジ)の調整が必要です。弊社営業にご相談ください。

ロールメディアをセットする

ロールメディアは、装置背面にあるロールメディアハンガーにセットします。



- セットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールストッパーアームはクランプレバーに連動して動きます。ロールストッパーアームと本体の間にロールストッパーが入り込んだ状態で、クランプレバーを下げないでください。ロールストッパーアームを破損し、ロールストッパー機能^{*1}が使用できなくなることがあります。

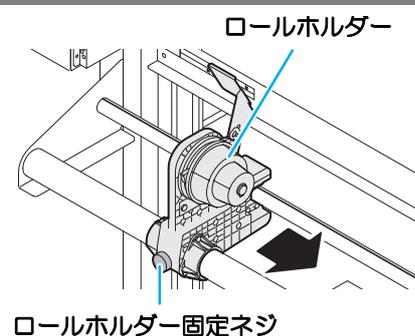


*1. 一定量引き出すと、メディア引き出しが一時固定される機能

1

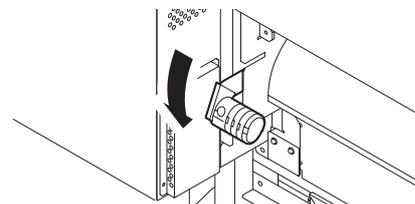
装置背面にあるロールホルダーを、装置中央方向に移動する

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。

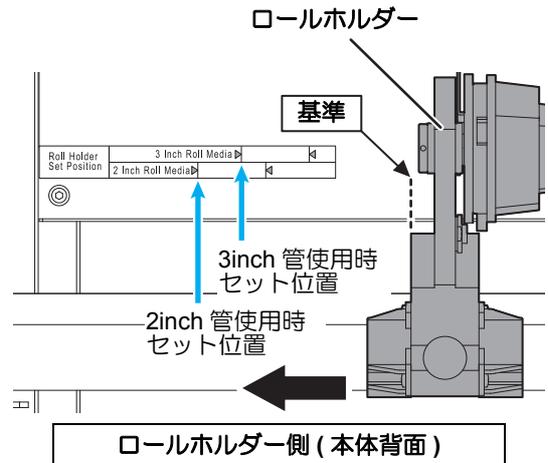
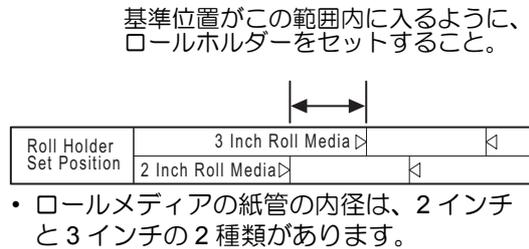


2

クランプレバーが下がっていることを確認する



3 ロールホルダーをロールセット位置へ移動する



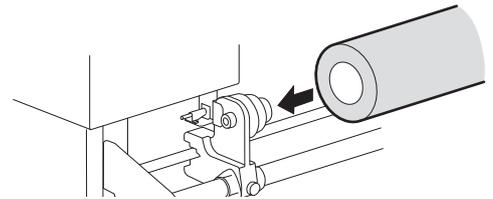
- ロールストッパーアームと本体の間に、ロールストッパーが入り込んでいないことを確認してください。

4 ロールホルダー固定ネジを締める

- 手順 2 ~ 3 を、再度確認してください。

5 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

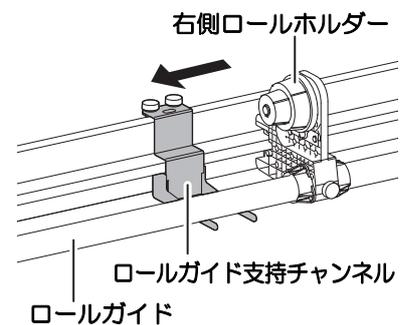
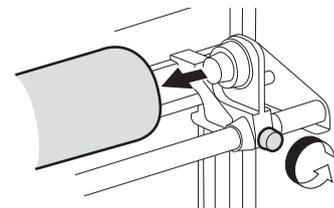
- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。



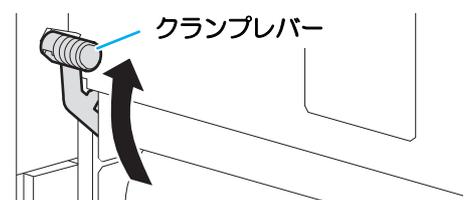
6 右側のロールホルダーのネジを緩め、ホルダーを紙管に差し込む



- 本機の中央には、重量ロールメディアをセットしてもロールガイドがたわまないように支えるためのロールガイド支持チャンネルがあります。
- 右側ロールホルダーはロールガイド支持チャンネルより左側に移動することはできません。短いメディアをセットするなど右側ロールホルダーがロールガイド支持チャンネルに当たってしまう場合は、チャンネル上部のネジを緩めて左側に移動させてください。その際、ロールガイド支持チャンネルは、右側ロールホルダーの近くに移動させてください。

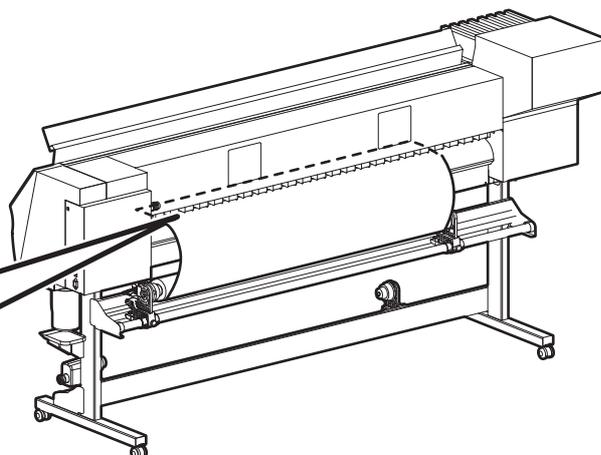
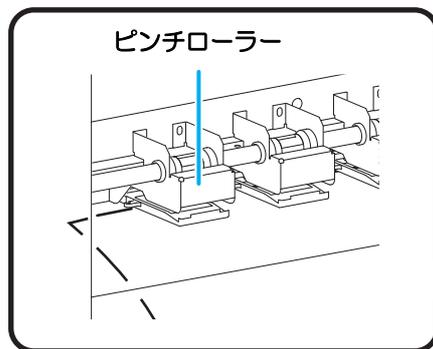


7 装置背面のクランプレバーを上げる



8

本装置にロールメディアを差し込む

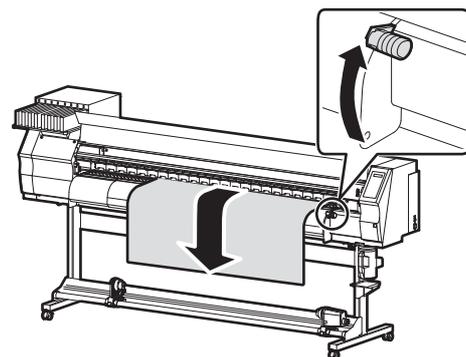


- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。
- (1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す
- (2) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
 - 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。
- (3) 装置背面からクランプレバーを下げる
 - メディアが保持されます。

9

ロールメディアを引き出す

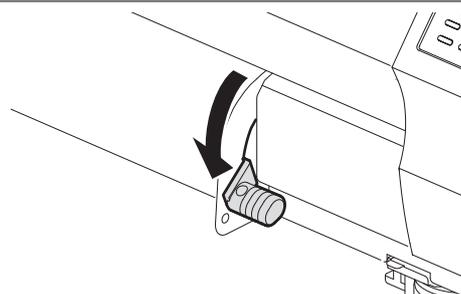
- (1) フロントカバーを開ける
- (2) 装置前面からクランプレバーを上げる
- (3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める



10

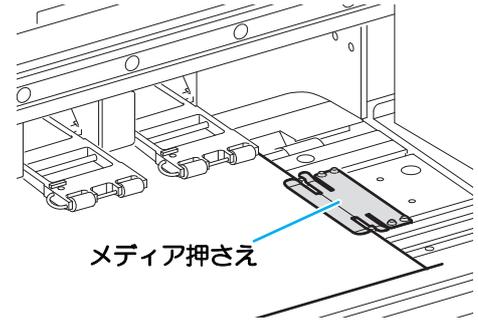
ロールメディアを均等にし、クランプレバーを下げる

- メディアの数カ所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプレバーを下げてください。



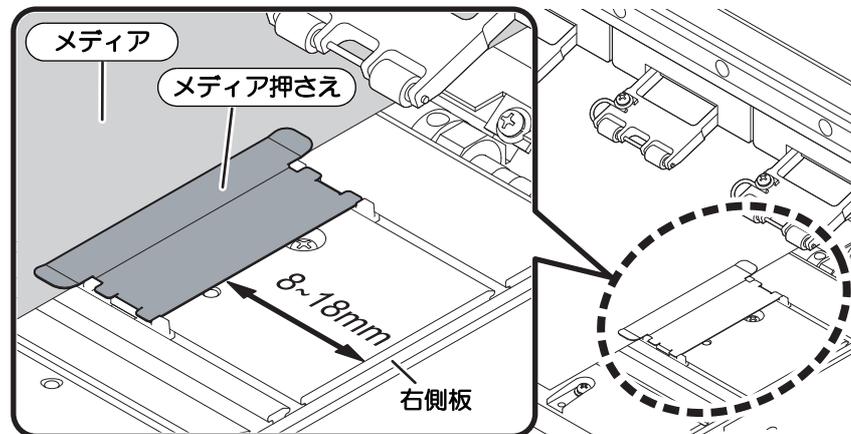
11 メディア押えでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えをメディアから外して作図してください。



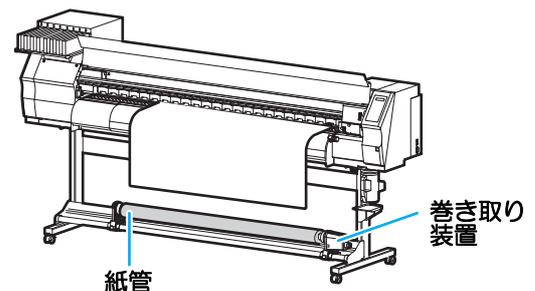
- メディア押えが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

***** ERROR 50 *****
メディア セット イチ



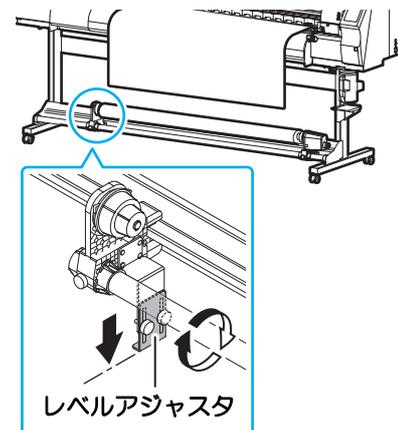
メディア押さえの位置：右側板から8～18mm
(メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。)

12 巻き取り装置に空の紙管をセットする

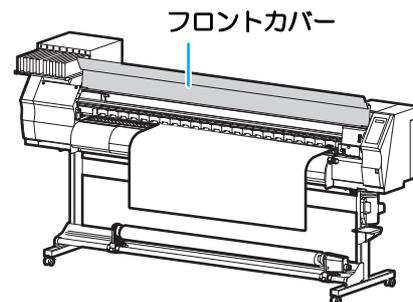


13 左側の巻き取り装置に付いているレベルアジャスタを調整する

- (1) レベルアジャスタのネジを緩め、床に接するまで下ろす
- (2) ネジを締めて固定する



14 フロントカバーを閉じる



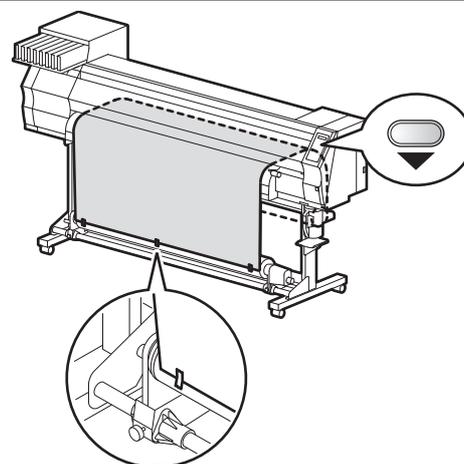
15 ◀ を押して、“ロール”を選択する

- メディア幅を検出します。
- メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定が“ON”の場合 (☞ P.4-24)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(☞ P.2-12)

メディア センタク
ロール< > リーフ

16 巻き取り装置にメディアを固定する (☞ P.2-13)

- (1) ◀ を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする
- (2) 粘着テープでメディアの中央を固定する
- (3) 同様にしてメディアの左右を固定する
 - ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。



メディア残量入力について

メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定を“ON”にしている場合 (☞ P.4-24)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1 メディア残量入力画面を表示する

メディア ナカ`サ ニュウリョク
メディア ナカ`サ = x x x . x m

2 ▲ ▼ を押して、メディア残量を入力する

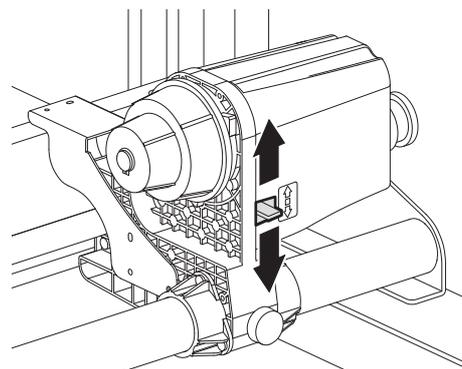
メディア ナカ`サ ニュウリョク
メディア ナカ`サ = 50.0 m

3 ENTER キーを押す

巻取装置について

小幅巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。

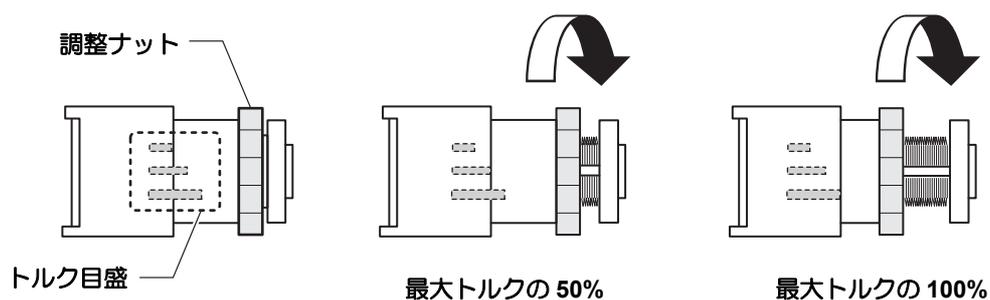
- レバー上 (REVERSE) : プリント面を内側にして巻き取る
- レバー中 (OFF) : 巻き取り動作をしない
- レバー下 (FORWARD) : プリント面を外側にして巻き取る



トルクリミッタを調節する

巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。)
薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

- 時計回り : テンションが強くなる (ターポリン等の重量のある厚いメディア)
- 反時計回り : テンションが弱くなる (軽いメディア)



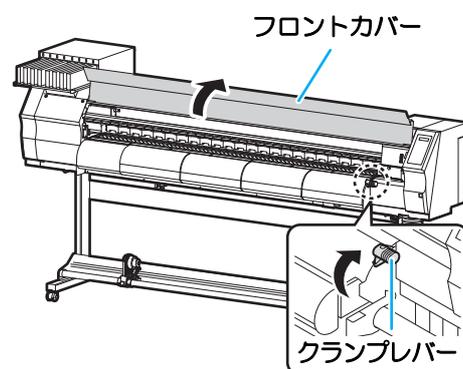
重要!

- トルクリミッタの調節が弱すぎると
メディアを確実に巻き取ることができません。
- トルクリミッタの調節が強すぎると
メディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

リーフメディアをセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

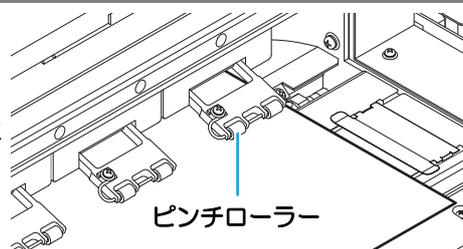
1 フロントカバーを開ける



2 クランプレバーを上げる

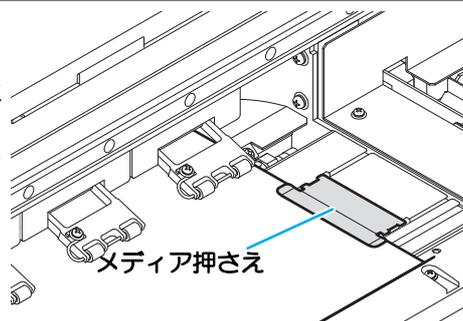
3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。



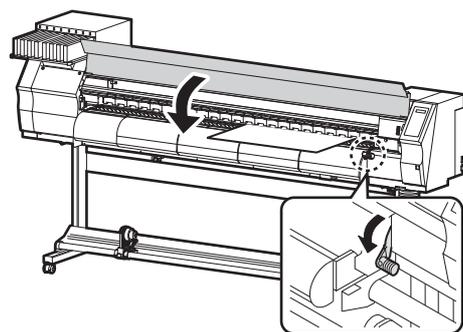
4 メディア押えでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えをメディアから外してプリントしてください。



5 クランプレバーを下げる

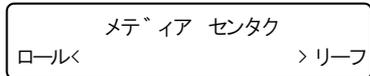
- メディアはまっすぐにセットしてください。



6 フロントカバーを閉じる

7 **ENTER** キーを押す

8 **▶** を押して、“リーフ”を選択する



9

メディアの検出を始める

- (1) メディア幅を検出する
- (2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
- (3) 検出が終わると、ローカルモードに戻る

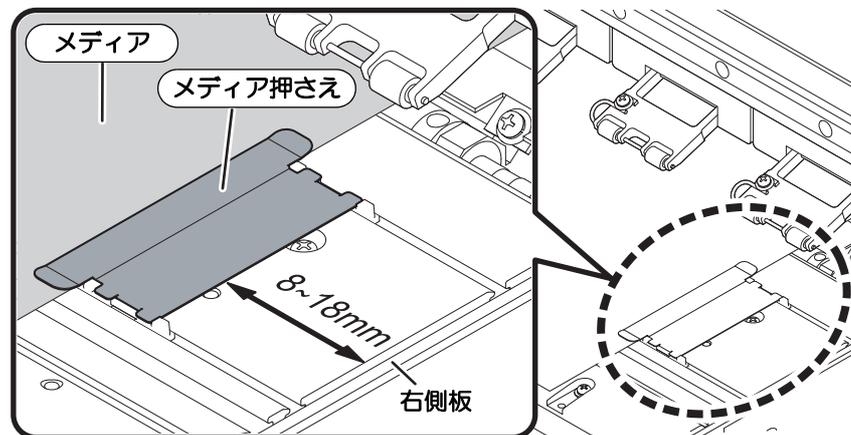
メディア ケンシュツ チュウ
シハラク オマチクタサイ

メディア押さえをお使いになるときの注意事項



- メディア押さえが右側板に接する位置でメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

***** ERROR 50 *****
メディア セット イチ



メディア押さえの位置：右側板から8～18mm
(メディア紙管の内径ばらつきにより、上記の範囲で変動します。)

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。
変更したい位置へ LED ポインタを移動させて決定します。



- ここで設定した原点位置は、メディアの送り方向に対して数センチずれています。セッテイモードの「オクリゲンテン」を“ON”にすれば、原点を LED ポインタの光点位置に正確に合わせることができます。(☞ P.3-3)

1

ローカルモードで、 を押す

- 原点設定モードになります。

ゲンテン セッテイ
0.0 ———

2

を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

ゲンテン セッテイ
0.0 0.0
原点位置 (長さ) 原点位置 (幅)

3

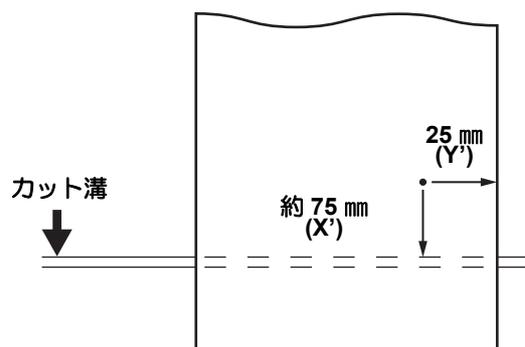
プリント原点を決定したら、 キーを押す

- 原点が変更されます。

ゲンテン セッテイ
** ゲンテン **

原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカット溝から奥側約 75 mm の位置になります。横方向 (Y') の値は、メディア右端より 25 mm です。セッテイモードの「マージン」(☞ P.3-3) により変更できます。また、ジョグキーを使って変更することもできます。

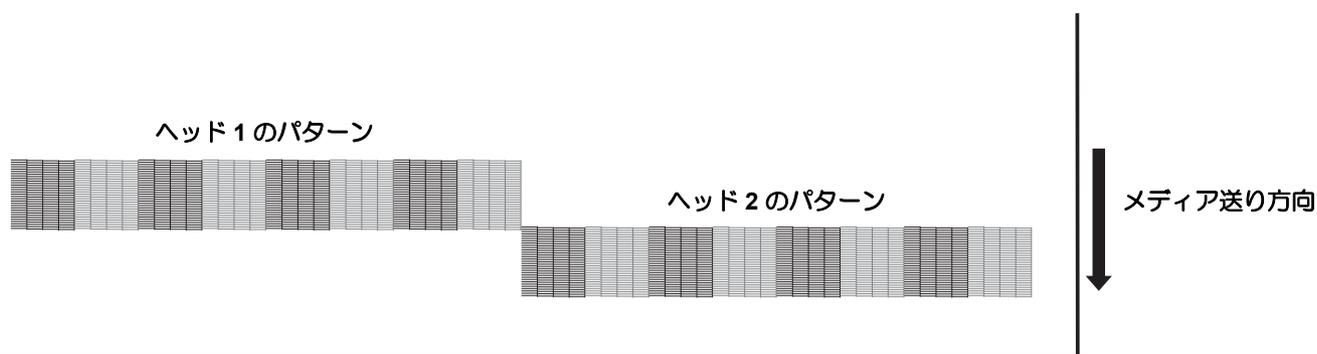
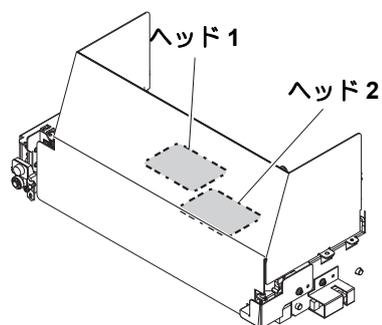


テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



テストプリントに関する注意事項

重要!

- リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。
- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

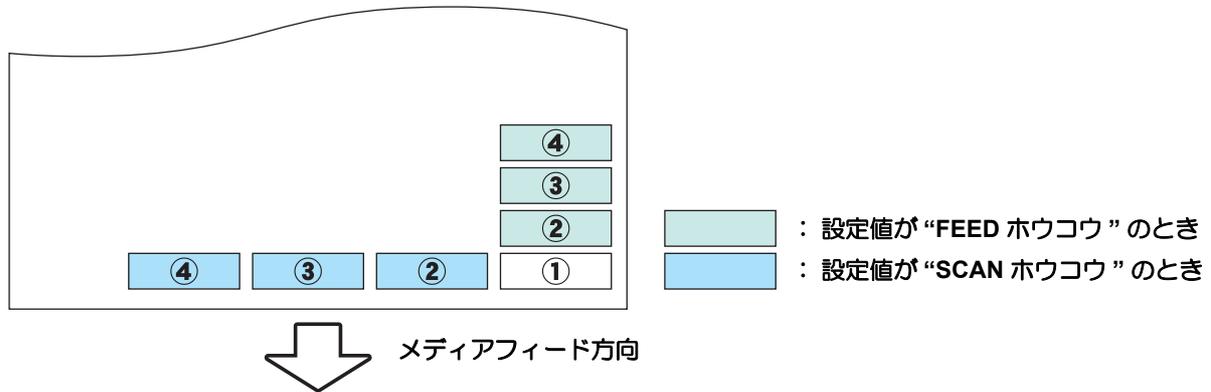
2

基本的な使い方

テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



テストプリントの前に確認してください	• メディアをセットしているか (P.2-6)	• 原点位置をセットしているか
	• ヘッドギャップを調整しているか (P.2-6)	

1

ローカルで、**TEST PRINT** キーを押す

- **▲** **▼** を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- 配置方向を“SCAN ホウコウ”から“FEED ホウコウ”に変更してテストプリントを実行すると、1 つめのテストプリントの位置に改行されます。

テスト サクス`
(FEED ホウコウ) <ENT>

2

ENTER キーを押す

- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

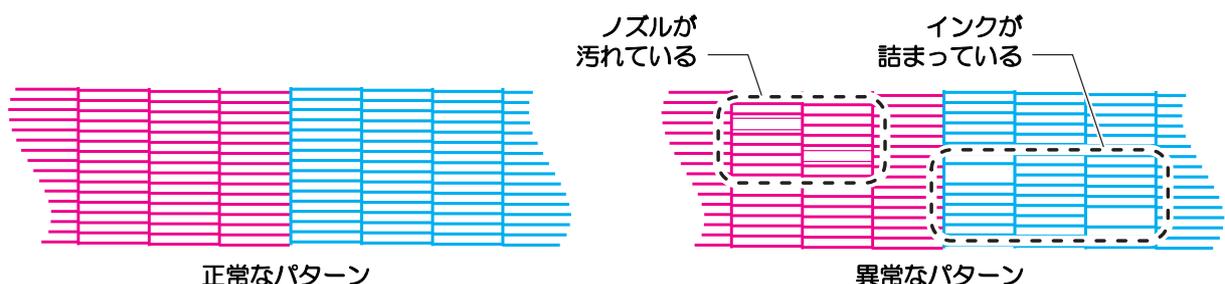
** テスト サクス` **
シハ`ラク オマチクタ`サイ

<ローカル. 1> [#01]
ハ`ハ` : ****mm

3

プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(P.2-19)



ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
次の3種類から選んでください。

ノーマル : 線の抜けがある時

ソフト : ヘッドワイプのみ実行したい時 (線の曲がりがある場合)

ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 ローカルモードで、**CLEANING** キーを押す

クリーニング°
タイプ° : ノーマル

2 **▲** **▼** を押して、クリーニングタイプを選択する

クリーニング°
タイプ° : ハート°

ノーマル : 線の抜けがある時

ソフト : ヘッドワイプのみ実行したい時 (線の曲がりがある場合)

ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行してもプリント不良が改善しない時

3 **ENTER** キーを押す

クリーニング° チュウ
00:00

・クリーニングの残り時間をディスプレイの下段に表示します。

・クリーニングが終わると、ローカルに戻ります。

4 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

・プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

・ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (P.4-5)

・ヘッドノズルの洗浄をする (P.4-8)

・「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して画質不良を解消する (P.4-16)

データをプリントする

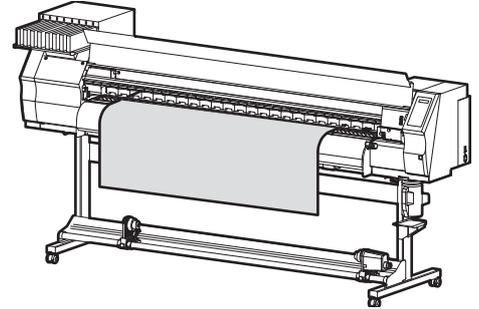
プリントを開始する

重要!

- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

1

メディアをセットする (☞ P.2-6)



2

ローカルで、**REMOTE** キーを押す

- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

*リモート . 1 *

[# 0 1]
0 . 0 m

3

コンピュータからプリントするデータを送信する

- ACTIVE ランプが点滅し、プリント条件を表示します。
- データの送信方法については、出カソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

解像度 360 / 540 / 720 / 1440 DPI

*リモート . 1 * 720 x 720
16 . Bd . Vd . x 2 x x . x x m

プリント終了した
メディアの長さ

スキャン速度
x1 : 標準速
x2 : 倍速

データタイプ
Vd : バリアブルデータ
Nd : ノーマルデータ

スキャン方向
Ud : 単方向
Bd : 双方向

パス数

4

プリント開始

- 解像度によっては同じデータをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置によってプリント速度が変化する場合があります。

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、**REMOTE** キーを押す

```
<ローカル. 1>           [#01]
                          ハハハ : 1272mm
```

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度**REMOTE** キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで、**DATA CLEAR** キーを押す

```
データー クリア
                               <ENT>
```

2 **ENTER** キーを押します。

- ACTIVE ランプが消灯します。
- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。

```
** データー クリア **
```

メディアをカットする

ロールメディアでプリント終了後にメディアをカットするには、次の2つの方法があります。

- 重要!**
- メディアをカットしたとき、印刷面が床や他の印刷面に触れないようにお気をつけください。
 - 巻取装置をお使いの場合、カットしたメディアは巻取装置のスイッチを使って巻き取ってください。

オートカット

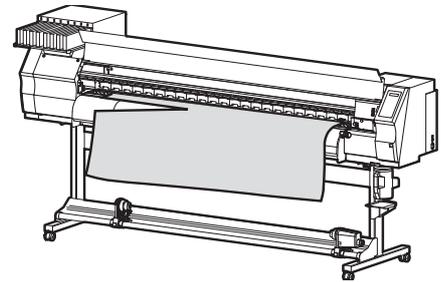
プリント終了後、自動的にメディアをカットします。



- オートカットには設定が必要です。(設定方法の詳細は、P.3-23を参照してください。お買い上げ時は、オートカット機能が“ホスト”になっています。)
- オートカット機能を“オフ”にしているときは、「マニュアルカット」の操作をして、メディアをカットしてください。

1

プリントが終了したら、自動的にメディアをカットする



マニュアルカット

操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。

1

ローカルで、 を押す

- 原点設定モードになります。
- を押して、カットする位置までメディアをフィードします。

ケンテン セッテイ
0.0

2

FUNCTION キーを押す

メディア カット

<ENT>

3

ENTER キーを押す

- メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルに戻ります。

メディア カット チュウ
シバラク オマチクダサイ

第3章 便利な使い方



この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

ユーザータイプについて	3-2	設定した内容を初期状態に戻す	3-24
プリント条件をまとめて登録する (タイプ登録)	3-2	マシン設定	3-25
タイプ登録のしかた	3-2	カンソウフィードの設定をする	3-26
メディア補正の設定をする	3-4	カクニンフィードの設定をする	3-27
メディア補正の設定	3-4	ジコクの設定をする	3-28
ドットの位置がずれたら	3-6	タンイの設定をする	3-29
プリント方式の設定をする	3-8	スタンプの設定をする	3-30
パス(プリント品質)の設定	3-8	マシンメイショウの設定をする	3-31
スキャン速度の設定	3-9	キーブザーの設定をする	3-32
スキャン方向の設定	3-10	カンキョウオンドの動作条件を変更する ..	3-33
ロジカルシークの設定	3-11	インクの有効期限を延長する	3-34
乾燥時間の設定をする	3-12	インクの有効期限を延長する	3-34
マーシンの設定をする	3-13	インク供給経路の切替設定	3-36
カラーパターンの設定をする	3-14	装置情報を確認する	3-38
オートクリーニングの設定をする	3-15	情報を表示させる	3-38
プリント中クリーニングの設定をする	3-17		
クリーニングの設定をする	3-17		
ワイピングの設定をする	3-18		
メディア検出の設定をする	3-20		
パス間のシマを軽減する設定をする	3-21		
その他の設定	3-23		

ユーザータイプについて

プリント条件をまとめて登録する (タイプ登録)

本装置では、タイプ (1~4) ごとにプリント条件を登録できます。
お使いになるメディアに合わせたプリント条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したとき、タイプを変更するだけで最適のプリント条件を設定できます。

タイプ登録の例

タイプ 1	フォトペーパー	タイプ 3	PET 用 2
タイプ 2	PET 用 1	タイプ 4	合成紙

タイプ登録のしかた

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2

ENTER キーを押す

セッテイ
センタク : タイプ 1

3

▲ **▼** を押してタイプ (1~4) を選び、**ENTER** キーを押す

4

設定機能一覧表の各項目を選び、設定する

・詳細な設定方法は「設定機能一覧表」に記載した参照ページをご覧ください。

設定機能一覧表

ユーザータイプに登録できる各設定機能の概要と設定値について説明します。
お買い上げ時は、下線の設定になっています。

重要!

- 次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。

設定項目：プリント方式 / 重ね塗り / 乾燥時間 / オートカット / プリフィード / マージン / カラーパターン / リフレッシュ / 吸着 / フィード速度レベル

- RIP ソフトウェアで指定した設定内容に従って動作させたいときは、本機のタイプ登録をするときに各項目を“ホスト”に設定してください。“ホスト”以外に設定した場合は、装置の設定に従って動作します。
- RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称	設定値	RIP から指示がない場合 *1	概要
メディアホセイ (P.3-4)	-255 ~ 0 ~ 255	————	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ドットイチホセイ	-40.0 ~ 0 ~ 40.0	————	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。

機能名称		設定値	RIP から指示がない場合 ^{*1}	概要	
プリント ハウシキ (☞ P.3-8)	パス	ホスト/ハイ/ヒョウジュン/ キレイ	ヒョウジュン	プリント品質、プリント方向を 設定します。	
	スキャンソクド	ホスト/ヒョウジュン/コウソク	コウソク		
	スキャンハウコウ	ホスト/ソウハウコウ/ タンハウコウ	タンハウコウ		
	ロジカルシーク	ホスト/ON/OFF	ON		
カサネヌリ (☞ P.3-23)		ホスト/1~9	1	インクの重ね塗りをを行います。	
カンソウ シカン (☞ P.3-12)	スキャン	ホスト/0.0~19.9 sec	0 sec	インクの乾燥時間を設定します。	
	プリントエンド	ホスト/0~999 sec	0 sec		
オートカット (☞ P.3-23)		ホスト/ON/OFF	OFF	プリント後、自動でメディアを カットします。	
プリフィード (☞ P.3-23)		ホスト/ON/OFF	OFF	プリント前にメディアを前後搬送 させます。 貼り付きやすいメディアを使用す る場合、ON にしてください。	
マージン (☞ P.3-13)	ヒダリ	ホスト/-10~85mm (1mm 単位)	0 mm	メディア左右の余白を設定しま す。	
	ミギ	ホスト/-10~85mm (1mm 単位)	0 mm		
カラーパターン (☞ P.3-14)		ホスト/ON/OFF	OFF	メディア右端にカラーパターン をプリントします。	
リフレッシュ (☞ P.3-23)		ホスト/レベル0 (リフレッシュ間 隔長い)~3 (間隔短い)	レベル 3	プリント中に、インクヘッドの リフレッシュを行います。	
キュウチャク (☞ P.3-23)		ホスト/ヒョウジュン/ヨワイ/ ヤヤヨワイ/ツヨイ/OFF	ヒョウジュン	メディアの吸着する力を設定し ます。	
フィードソクドレベル ^{*2} (☞ P.3-23)		ホスト/10~200% 10%.....2mm/sec 100%.....20mm/sec 200%.....40mm/sec	100	プリント中などにメディア送り をする速度を変更します。	
オート クリーニング (☞ P.3-15)	ON	カンカク	10~1000~30000 mm	プリントごとに行う、ヘッドの 自動クリーニング動作を設定し ます。	
		タイプ	ノーマル/ソフト/ハード		
OFF					
プリント チュウ クリーニング (☞ P.3-17)	クリー ニング	ON	カンカク	10~1000~30000 mm	プリント中に行う、ヘッドの自 動クリーニング動作を設定しま す。
			タイプ	ノーマル/ソフト/ハード	
	OFF				
	ワイピ ング	スキャンカイス ウ	0~9990 カイ		プリント中に行う、ワイピング 動作を設定します。
オンドサ		0~60			
メディア ケンシュツ (☞ P.3-20)	ケンシュツハウコウ	セレクト/ハバ		メディアの検出方法を設定しま す。	
	カットジケンシュツ	ナシ/リョウエッジ/ ヒダリエッジ/ミギエッジ			
オクリ ゲンテン (☞ P.3-23)		ON/OFF		プリント原点の位置変更時、メ ディア送り方向を LED ポインタ に合わせたいときに設定する。	
MAPS (☞ P.3-21)	ON/OFF			パス間のシマを軽減する設定を します。	
	プリントソクド チョウセイ	-50~0~+50%			

*1. 本機のタイプ登録で“ホスト”を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。

*2. マシン設定の「マキトリ&クリダシの設定」で“ソウチセンタク”を“ON”にした場合、フィード速度は最大 150%で動作制限がかかります。

メディア補正の設定をする

メディアの種類を交換したあと、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

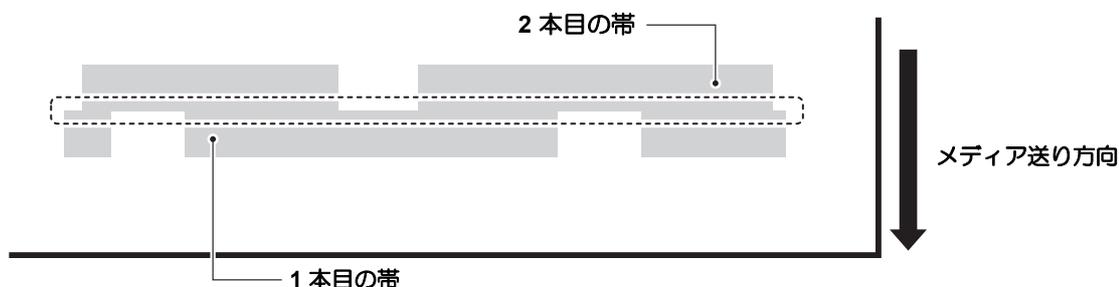
- 重要!**
- ロールメディアをご使用の場合、メディア補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたるみが生じます。プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
 - 巻き取り装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

メディア補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1

メディアをセットする (👉 P.2-6)

2

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

ENTER キーを押す

セッテイ
センタク : タイプ 1

4

▲ **▼** を押して、タイプ (1~4) を選ぶ

5

ENTER キーを2回押す

[1] メディア ホセイ
サクス` カイシ : e n t

6

ENTER キーを押して、補正パターンをプリントする

シハ`ラク オマチクタ`サイ
サクス` チュウ

7 補正パターンを確認し、補正値を入力する

- ・ "+" に入力すると: 2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- ・ "-" に入力すると: 2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- ・ 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

[1] メディア ホセイ
ホセイチ = 0

8 **ENTER** キーを押す

- ・ 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- ・ 補正の必要がある場合は、手順 7 の操作をして補正してください。

[1] メディア ホセイ
サクシ カシ : e n t

9 終了するとき、**END** キーを数回押す

プリント中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1 リモートで、**FUNCTION** キーを押す

*リモート . 1 * [# 0 1]
** . **mm

メディアオクリ ホセイ
0

2 **ENTER** キーを押す

メディアオクリ ホセイ
0 ▶ 1

3 **▲** **▼** を押して、補正量を入力する

- ・ 補正量 : -500 ~ 500
- ・ ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

4 **ENTER** キーを押す

- ・ **ENTER** キーのか代わりに **END** キーを押すと、ここで補正した内容は無効となります。

メディアオクリ ホセイ
ホソソソ : e n t

5 **ENTER** キーを押す

- ・ 変更した値が登録されます。
- ・ **ENTER** キーの代わりに **END** キーを押すと、ここで補正した内容は一時、有効となります。(再度メディア検出を行うか電源を OFF すると、補正値はクリアされます)

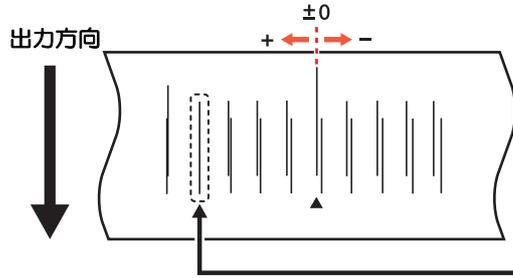
リモートモード中にメディア補正が行われたことを表します

*リモート . 1 + * [# 0 1]
** . **mm

ドット的位置がずれたら

プリント時の条件（メディアの厚み／インクの種類など）が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

パターンプリント例



プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1

メディアをセットし、プリント原点を設定する (☞ P.2-6)

・パターンプリントをするには、幅 500mm× 送り 400mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2

ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ <ENT>
```

3

(ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク : タイプ 1
```

4

(▲) **(▼)** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**(ENTER)** キーを押す

5

(▲) **(▼)** を押して、**[ドットイチホセイ]** を選ぶ

```
[1]
ドット イチ ホセイ <ent>
```

6

(ENTER) キーを押す

```
[1]ドット イチ ホセイ
プリント カイシ : ent
```

7

(ENTER) キーを押して、パターンプリントを開始する

・複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

```
サクス` チュウ
シハ`ラク オマチクタ`サイ
```

8

(▲) **(▼)** を押して、パターン 1 のドット位置を補正する

- ・補正値：-40 ~ 40
- ・テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- ・補正値が -40 ~ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。
- ・補正値はヘッドの高さに応じて 2 種類持つことができます。

現在のヘッドの高さを表します。
(H)...High (厚い)
(L)...Low (薄い)

```
ドット イチ ホセイ
パターン1 = (H) 0.0
```

9**ENTER** キーを押す

10手順 8 と同様にして、パターン 2~ のドット位置を補正し、**ENTER** キーを押す

11終了するとき、**END** キーを数回押す

プリント方式の設定をする

プリント方式の設定では、プリントに関する次の各項目の設定をします。

- ・パス : プリント時のパス (プリント品質) を設定
- ・スキャン速度 : プリント時のスキャン速度を設定
- ・スキャン方向 : プリント方向を設定
- ・ロジカルシーク : ロジカルシークの ON/OFF を設定

重要!

- ・プリント方式の設定では、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェア (RasterLinkPro) からプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。
- ・RasterLinkPro 側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
- ・RasterLinkPro では、本機で設定する“パス/スキャンソクド/スキャンハウコウ”はそれぞれ“パス/高速印刷/印刷方向”と表示しています。
- ・ロジカルシークの設定については、RasterLinkPro 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“ロジカルシーク =ON”の状態ですべてプリントされます。

パス (プリント品質) の設定

- ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- ENTER** キーを押す
セッテイ
センタク : タイフ 1
- ▲ ▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- ▲ ▼** を押して、[プリントハウシキ] を選ぶ
[1]
プリント ハウシキ <ent>
- ENTER** キーを 2 回押す
[1]プリント ハウシキ
ハ°ス : **ホ**スト
- ▲ ▼** を押して、パス (プリント品質) を選ぶ
・設定値: ホスト/ハイイ/ヒョウジュン/キレイ
[1]プリント ハウシキ
ハ°ス : **ハ**イイ
- 終了するとき、**END** キーを数回押す

解像度による設定可能パス数

設定値	解像度 (dpi)	540 x 360 dpi *1	540 x 720 dpi	540 x 1080 dpi	720 x 1440 dpi
ハイイ		1 パス	4 パス	6 パス	8 パス
ヒョウジュン		2 パス	8 パス	12 パス	16 パス
キレイ		4 パス	16 パス	24 パス	32 パス

*1. 昇華転写インク Sb53 を使用時のみ、お使いになれる解像度です。

スキャン速度の設定

1

P.3-8 手順 5 までの操作をする

[1] プリント ホウシキ
ハ°ス <ent>

2

  を押して、[スキャンソクド] を選ぶ

[1] プリント ホウシキ
スキャン ソクト° <ent>

3

 キーを押す

[1] プリント ホウシキ
スキャン ソクト° :  スト

4

  を押して、スキャン速度を選ぶ

・設定値：ホスト/ヒョウジュン/コウソク

[1] プリント ホウシキ
スキャン ソクト° :  ウソク

5

 キーを押す

[1] プリント ホウシキ
スキャン ソクト° <ent>

6

終了するとき、 キーを数回押す

3

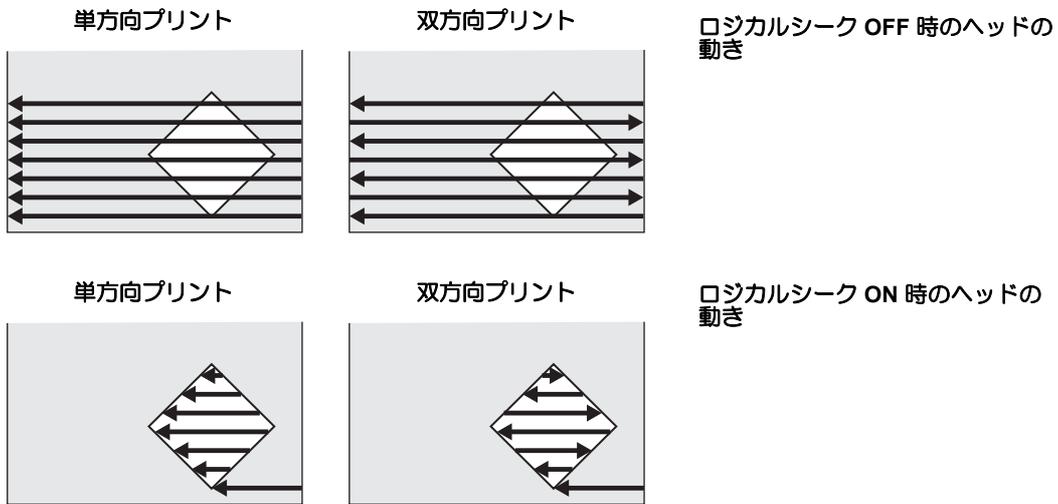
便利な使い方

スキャン方向の設定

- 1** P.3-8 手順 5 までの操作をする
[1] フ° リント ホウシキ
パス <ent>
- 2**   を押して、[スキャンホウコウ] を選ぶ
[1] フ° リント ホウシキ
スキャン ホウコウ <ent>
- 3**  キーを押す
[1] フ° リント ホウシキ
スキャン ホウコウ :  ホスト
- 4**   を押して、スキャン方向を選ぶ
・設定値：ホスト / ソウホウコウ / タンホウコウ
[1] フ° リント ホウシキ
スキャン ホウコウ :  シンホウコウ
- 5**  キーを押す
[1] フ° リント ホウシキ
スキャン ホウコウ <ent>
- 6** 終了するとき、 キーを数回押す

ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。



1 P.3-8 手順 5 までの操作をする

[1] プリント ホウシキ
ハス <ent>

2 を押して、[ロジカルシーク] を選ぶ

[1] プリント ホウシキ
ロジカルシーク <ent>

3 キーを押す

[1] プリント ホウシキ
ロジカルシーク : ホスト

4 を押して、設定値を選ぶ
・設定値：ホスト / ON / OFF

[1] プリント ホウシキ
ロジカルシーク : OFF

5 キーを押す

[1] プリント ホウシキ
ロジカルシーク <ent>

6 終了するとき、 キーを数回押す

乾燥時間の設定をする

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

- ・ スキャン : スキャン毎のインク乾燥時間を設定 (双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)
- ・ プリントエンド : プリント終了後のインク乾燥時間を設定

- 重要!**
- ・ RasterLinkPro 側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
 - ・ RasterLinkPro では、本機で設定する“スキャン”は“スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。
 - ・ プリントエンドの設定については、RasterLinkPro 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“プリントエンド = 0 秒”の状態ですべてプリントされます。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	ENTER キーを押す	セッテイ センタク : タイプ 1
3	▲ ▼ を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、 ENTER キーを押す	
4	▲ ▼ を押して、[カンソウジカン] を選ぶ	[1] カンソウ シ`カン <ent>
5	ENTER キーを押す	スキャン : サクス`エント` ホスト : ホスト
6	▲ ▼ ◀ ▶ を押して、乾燥時間を設定する ・ スキャン時とプリント終了後の乾燥時間を設定します。お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は“ホスト”を選択してください。 ・ スキャンの設定値 : ホストまたは 0.0 ~ 19.9 秒 ・ プリントエンドの設定値 : ホストまたは 0 ~ 999 秒 ・ 項目の選択 : ◀ ▶ で選ぶ ・ 時間の設定 : ▲ ▼ で設定	プリント終了後の乾燥時 スキャン時の乾燥時間 スキャン : サクス`エント` ホスト : ホスト
7	ENTER キーを押す	[1] カンソウ シ`カン <ent>
8	終了するとき、 END キーを数回押す	

マージンの設定をする

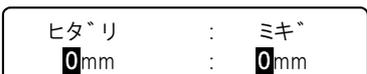
メディアの左右の余白を設定します。
ここでは、標準マージン 25mm に対するオフセット値を設定します。

- 重要!**
- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
 - 付属の RIP ソフトウェア (RasterLinkPro) では、マージンの指定ができません。RasterLinkPro をお使いの場合に本機の設定で“ホスト”にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値 =“0mm” の状態でプリントされます。

- ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

- ENTER** キーを押す

- ▲ ▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- ▲ ▼** を押して、[マージン] を選ぶ

- ENTER** キーを押す

- ▲ ▼ ◀ ▶** を押して、左右マージンを設定する

・メディア左右の余白を設定します。お使いの RIP で指定しているマージンを有効にする場合は“ホスト”を選択してください。

設定値 : ホストまたは -10 ~ 85mm(1mm 単位で設定)

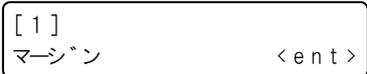
項目の選択 : **◀ ▶** で選ぶ

マージンの設定 : **▲ ▼** で設定



左余白の設定 右余白の設定

ヒタリ : ミキ

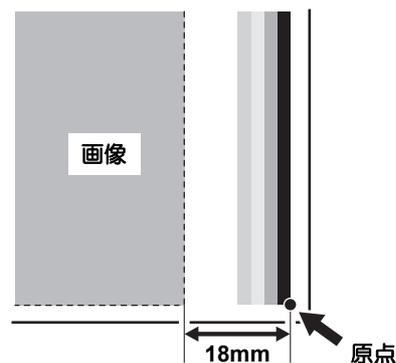
ホスト : ホスト
- ENTER** キーを押す

- 終了するとき、**END** キーを数回押す



- ・メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンを -5mm 以下に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

カラーパターンの設定をする

メディア右端にカラーパターンをプリントするか設定します。

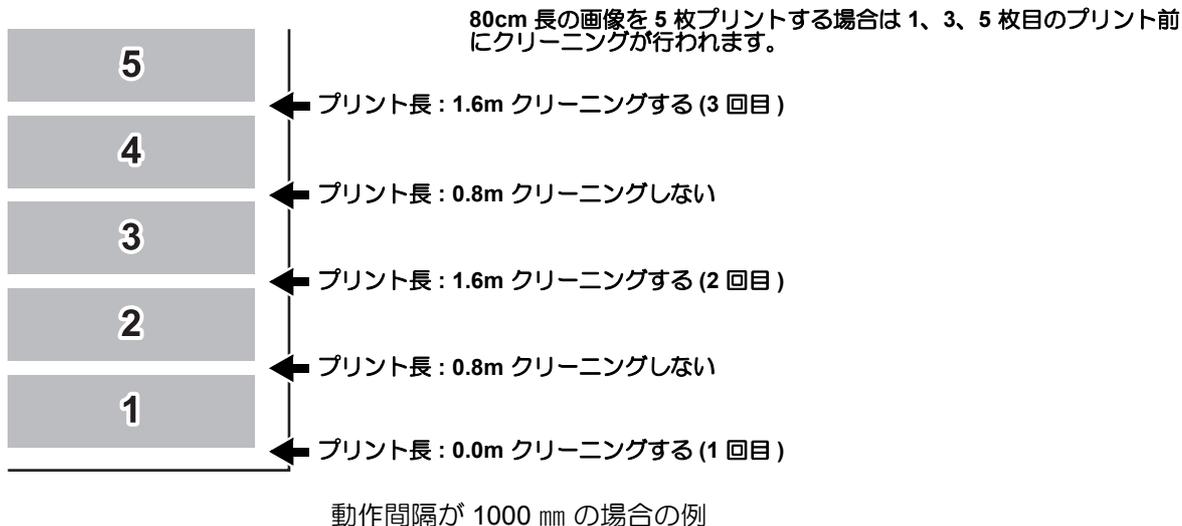


重要! ・ RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2 **ENTER** キーを押す
セッテイ
センタク : タイフ° 1
- 3 **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して、[カラーパターン] を選ぶ
[1]
カラー ハ° ターン <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す
[1] カラー ハ° ターン
セッテイ : **ホ**スト
- 6 **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ
設定値 : ホストまたは ON、OFF
[1] カラー ハ° ターン
セッテイ : **ON**
- 7 **ENTER** キーを押す
[1]
マーシ'ン <ent>
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

オートクリーニングの設定をする

設定した分の長さだけプリントが終わると自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。プリントが終了すると、本装置が前回ヘッドをクリーニングしてから行ったプリント長をカウントし、クリーニングが必要な場合は、自動的にクリーニングを行います。ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果が持続します。クリーニングは、装置起動後の最初のプリント前に行い、以降は、プリントメートル単位で行います。



- 1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
 セッテイ <ENT>

- 2** **ENTER** キーを押す

セッテイ
 センタク : タイプ°1

- 3** **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

[1]
 オート クリーニング° <ent>

- 5** **ENTER** キーを押す

[1] オート クリーニング°
 セッテイ : FF

- 6** **▲** **▼** を押して、**ON** を選ぶ
 ・OFF を選んだ場合は、手順 9 へ進みます。

[1] オート クリーニング°
 セッテイ : ON

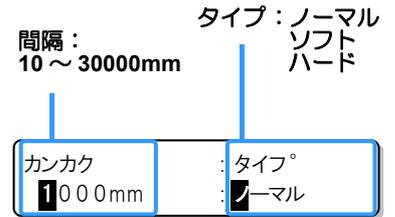
- 7** **ENTER** キーを押す

カンカク : タイプ°
1000mm : ーマル

8

▲▼◀▶を押して、クリーニング間隔と
クリーニングタイプを設定する

項目の選択 : ◀▶で選ぶ
間隔とタイプの設定 : ▲▼で設定



9

ENTER キーを押す

10

終了するとき、END キーを数回押す

重要!

- ・ インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。P.1-12「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ・ ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

プリント中クリーニングの設定をする

プリント中クリーニングには次の2種類があります。

クリーニング : プリント中に行うヘッドの自動クリーニングについて設定

ワイピング : プリント中に行う自動ワイピングについて設定

クリーニングの設定をする

プリント中、自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。

プリント中クリーニングでは、クリーニング間隔をプリントした長さで設定します。

設定した長さをプリントすることにプリントを中断し、自動的にヘッドのクリーニングを行います。

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2

ENTER キーを押す

セッテイ
センタク : タイプ°1

3

▲ **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

4

▲ **▼** を押して、[プリントチュウクリーニング] を選ぶ

[1]
フ°プリントチュウクリーニング° <ent>

5

ENTER キーを2回押す

[1]フ°プリントチュウ クリーニング°
セッテイ : **OFF**

6

▲ **▼** を押して、ON を選ぶ

• OFF を選んだ場合は、手順9へ進みます。

[1]フ°プリントチュウ クリーニング°
セッテイ : **ON**

7

ENTER キーを押す

カンカク : タイプ°
1000mm : **ノーマル**

8

▲ **▼** **◀** **▶** を押して、クリーニング間隔とクリーニングタイプを設定し、**ENTER** キーを押す

項目の選択 : **◀** **▶** で選ぶ

間隔とタイプの設定 : **▲** **▼** で設定

間隔 : 10 ~ 30000mm
タイプ : ノーマル
ソフト
ハード

カンカク : タイプ°
1000mm : **ノーマル**

9

終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

- インクニアエンドが発生している場合、本機能は動作しません。P.1-12「インクカートリッジを交換する」を参照して、インクニアエンドを解消してください。
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

3

便利な使い方

ワイピングの設定をする

作図中に設定したスキャン回数になったら、自動的にワイピング動作を行うことにより、ノズル面でインクが結露するのを防止できます。

打ち込みインク量を多め（高濃度、2度塗り等）に設定している場合は、プリント途中でしぶき・ポタ落ち・ノズル抜けが発生する場合があります。

定期ワイピングの設定をして、常に快適な作図状態を維持することをお勧めします。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2 **ENTER** キーを押す
セッテイ
センタク : タイプ 1
- 3 **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して、[プリントチュウクリーニング] を選ぶ
[1]
フ° リントチュウクリーニング° <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す
[1] フ° リントチュウ クリーニング°
クリーニング° <ent>
- 6 **▲** **▼** を押して、[ワイピング] を選ぶ
[1] フ° リントチュウ クリーニング°
ワイピング° <ent>
- 7 **ENTER** キーを押す
ワイピング°
スキャン カイスウ <ent>
- 8 **ENTER** キーを押す
ワイピング°
スキャン カイスウ = 50
- 9 **▲** **▼** を押して、スキャン回数を設定する
ワイピング°
スキャン カイスウ = 40
• 設定値：0 ~ 9990 回
• 2度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30 ~ 50回が目安です。

- | | | |
|----|---|--|
| 10 | <p>ENTER キーを押す</p> | <p>ワイピング
スキャン カイスウ <ent></p> |
| 11 | <p>▲ ▼ を押す
・オンドサの設定画面が表示されます。</p> | <p>ワイピング
オント`サ <ent></p> |
| 12 | <p>ENTER キーを押す</p> | <p>ワイピング
オント`サ = 20°C</p> |
| 13 | <p>▲ ▼ を押して、温度差を設定する</p> | <p>ワイピング
オント`サ = 20°C</p> |
| 14 | <p>ENTER キーを押す</p> | <p>ワイピング
オント`サ <ent></p> |
| 15 | <p>終了するとき、END キーを数回押す</p> | |

メディア検出の設定をする

メディアをセットしたときの検出方法とメディアをカットするときの検出タイプを設定します。

- 1** ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2** **(ENTER)** キーを押す
セッテイ
センタク : タイプ°1
- 3** **(▲)** **(▼)** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 4** **(▲)** **(▼)** を押して、[メディアケンシュツ] を選ぶ
[1]
メデ`ィア ケンシュツ <ent>
- 5** **(ENTER)** キーを押す
[1]メデ`ィア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ <ent>
- 6** **(ENTER)** キーを押す
•メディア検出の設定画面が表示されます。
[1]メデ`ィア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ : **セレクト**
- 7** **(▲)** **(▼)** を押して、設定値を選ぶ
セレクト : メディア検出時に**(◀)** **(▶)** を押してロールメディアかリーフメディアかを選ぶ
ハバ : メディア検出時、キー入力はしないでメディアの幅のみ検出する
(クランプレバーを下げると、自動的に検出を開始します。)
- 8** **(ENTER)** キーを押す
[1]メデ`ィア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ <ent>
- 9** **(▼)** を押して、[カットジケンシュツ] を選ぶ
[1]メデ`ィア ケンシュツ
カット シ` ケンシュツ <ent>
- 10** **(ENTER)** キーを押す
[1]メデ`ィア ケンシュツ
ケンシュツ : **リョウ エッジ**
- 11** **(▲)** **(▼)** を押して、設定値を選ぶ
•設定値：リョウエッジ/ヒダリエッジ/ミギエッジ/ナシ
- 12** **(ENTER)** キーを押す
- 13** 終了するとき、**(END)** キーを数回押す

重要! • [カットジケンシュツ] で設定値を“リョウエッジ”以外に設定すると、カット時間は短縮されますが、メディアスキューがあった場合に切り残しが発生する場合があります。

パス間のシマを軽減する設定をする

メディア補正 (P.3-4) をしても送りシマが解消できない場合“MAPS (Mimaki Advanced PassSystem) を有効にしてください。パスの境界を分散させることにより、送りシマが目立ちにくくなります。



- MAPS の効果は、プリント速度の設定値で変化します。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリント速度を上げた場合、プリント時間は短くなりますが、MAPS の効果は弱くなります。
- プリント速度を下げた場合、プリント時間は長くなりますが、MAPS の効果が上がり送りシマが目立ちにくくなります。
- MAPS が有効になる解像度とパス数は以下の通りです。
- MAPS 無効となる条件では、MAPS-OFF・プリント速度設定無効 (±0%) で動作します。
- 印刷する画像によっては MAPS の効果が得られない場合があります。
- わずかではありますが色味の変化がみられる場合があります。

解像度 (dpi)	パス数					
	4 色			6 色		
	△	○	◎	△	○	◎
540x360 *	1	2	4	2	4	8
540x720	2	4	8, 16	—	8	16, 32
540x1080	—	6	12, 24	—	12	24, 48
720x720	—	4	8, 16	—	8	16, 32
720x1080	—	6	12, 24	—	12	24, 48
720x1440	—	8	16, 32	—	16	32, 64

* : 昇華転写インク Sb53 を使用時のみ、お使いになれる作図モードです。
 ◎ : 高速 / 標準速ともにプリント速度設定は ±50% の範囲で MAPS 動作が可能。
 ○ : 高速時、プリント速度は -50 ~ -1% の範囲。標準速時、プリント速度は ±50% の範囲で MAPS 動作が可能。
 △ : 標準速時のみプリント速度設定は -50 ~ -1% の範囲で MAPS 動作可能。

- ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
 FUNCTION
 セッテイ <ENT>
- ENTER** キーを押す
 セッテイ
 センタク : タイフ°1
- ENTER** キーを押す
 [1]
 メテ`イア ホセイ <ent>
- ▲ ▼** を押して、**[MAPS]** を選ぶ
 [1]
 MAPS <ent>
- ENTER** キーを押す
 [1]MAPS
 セッテイ : OFF
- ▲ ▼** を押して、**ON/OFF** を設定する
 [1]MAPS
 セッテイ : ON
 ・設定値 : OFF, ON
- ENTER** キーを押す
 [1]MAPS
 プ`リント ソクト` : 0%
 ・OFF を選択した場合、手順 9 へ進みます。

8

  を押して、プリント速度を変更する

・設定値 : -50 ~ +50%

(+20% を入力すると、プリント速度が約 20% 向上し、
-20% を入力するとプリント速度が約 20% 低下します。)

[1] MAPS
プリント ソフト : 10%

9

 キーを押す

[1]
MAPS <ent>

10

終了するとき、 キーを数回押す

その他の設定

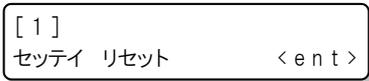
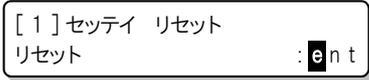
使い方に合わせて設定を変えてください。

- 1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
 FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2** **ENTER** キーを押す
 セッテイ
センタク : タイプ°1
- 3** **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4** **▲** **▼** を押して設定する項目を選ぶ
・P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。
- 5** **ENTER** キーを押す
- 6** **▲** **▼** を押して設定値を選ぶ
・P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。
- 7** **ENTER** キーを押す
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

重要! ・設定した値は、電源を“OFF”にしても保持しています。

設定した内容を初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。(設定リセット)
設定リセットはタイプ別に実行できます。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2 **ENTER** キーを押す
セッテイ
センタク : タイフ° 1
- 3 **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して、[セッテイリセット] を選ぶ
[1]
セッテイ リセット <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す
[1]セッテイ リセット
リセット : e n t
- 6 **ENTER** キーを押す
・設定を初期化します。
- 7 終了するとき、**END** キーを数回押す

マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項目		設定値*1	内容
カンソウフィード		ON / <u>OFF</u>	プリント終了後、メディアを乾燥させるためのフィードを行うか設定します。
カクニンフィード		<u>ON</u> / OFF	テストプリント後、結果を確認するためのフィード設定ができます。 ON に設定すると、 ENTER キーを押してメディアを元の位置に戻すための「メディアモードシフィード」の設定に移ります。
ジコクセッテイ			現在の日付と時刻を設定します。
タンイセッテイ	温度	°C (摂氏) / °F (華氏)	温度の表示単位を設定します。
	長さ	mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。
スタンプセッテイ		ON / <u>OFF</u>	プリント終了後に、出力日時・プリント条件を出力する設定を行います。
ハイインクタンクワーニング		<u>ON</u> / OFF	廃インクタンクの確認メッセージを表示させるか設定します。(P.3-33)
インク キョウキュウ *2 ユウセン		ザンリョウ ユウコウキゲン	ダブルカートリッジ自動切替機能で、優先して使用するカートリッジを設定します。(P.3-33)
マシンメイショウ		<u>01</u> ~ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシンNo.) を設定します。
キーブザー		<u>ON</u> / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。
カンキョウ オンド		トウタツヲマタナイ トウタツヲマツ	環境温度範囲外エラー発生時の動作を設定します。(P.3-33)

*1. お買い上げ時は、下線の設定になっています。

*2. 4色インクセットの場合のみ有効となります。

カンソウフィードの設定をする

プリント完了後、メディアを乾燥させるためのフィードを行うか設定します。



同じデータを複数回プリントする場合、RasterLinkPro5 での指定方法によって乾燥フィードの入り方が異なります。

- RasterLinkPro5 のメイン画面で“印刷回数”を設定した場合
⇒ 1回のプリントが終了するたびに乾燥フィードを行います。
- RasterLinkPro5 のジョブエディタで“コピー部数”を設定した場合
⇒ 指定した部数分だけプリントが終了してから乾燥フィードを行います。
“印刷回数”で指定するより、メディアの無駄が少なくなります。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ <ENT>
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ カンソウ ファン <ent>
4	▲ ▼ を押して、[カンソウフィード] を選ぶ	マシン セッテイ カンソウ フィード* <ent>
5	ENTER キーを押す	カンソウ フィード* セッテイ : ON
6	▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ	
7	ENTER キーを押す	
8	終了するとき、 END キーを数回押す	

カクニフィードの設定をする

テストプリント後に、プリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ <ENT> |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ <ENT> |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
カンソウ ファン <ent> |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[カクニフィード] を選ぶ | マシン セッテイ
カクニ フィード` <ent> |
| 5 | ENTER キーを押す | カクニ フィード`
セッテイ : ON |
| 6 | ▲ ▼ を押して、 ON を選ぶ
・[OFF] を選んだ場合は、手順 9 へ進んでください。 | |
| 7 | [メディアモードシフィード] の設定をするとき、
ENTER キーを押す | カクニ フィード`
メディア モト`シ フィード` : ON |
| 8 | ▲ ▼ を押して、 ON/OFF を選ぶ
・メディア戻しフィードを ON にすると、確認フィードでフィードしたメディアを少し戻します。
・メディアを戻したくないときは、OFF に設定してください。 | カクニ フィード`
メディア モト`シ フィード` : OFF |
| 9 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
カクニ フィード` <ent> |
| 10 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

ジコクの設定をする

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
カンソウ ファン <ent>
- 4 **▲** **▼** を押して、[ジコクセッテイ] を選ぶ
マシン セッテイ
ジコク セッテイ <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す
ジコク セッテイ
2012.10.01 15:30:00
- 6 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、時刻を入力する
年月日 / 時分の選択 : **◀** **▶** で選ぶ
年月日 / 時分の入力 : **▲** **▼** で入力
- 7 **ENTER** キーを押す
ジコク セッテイ
2012.10.05 15:30:00
・入力した時刻が表示されます。
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

重要!

- 過去の時刻設定は、現在の表示時刻より 8 時間前の時刻までしか設定できません。
- 誤って、現在の時刻より未来の時刻を設定した場合、手順 7 で次の操作をすると、前回設定した時刻に戻すことができます。
 - (1) 手順 7 で **FUNCTION** キーを押す (入力した時刻と前回設定した時刻が表示される)
 - (2) **ENTER** キーを押す
- 変更内容を戻せるのは、一つ前の変更までです。また、変更前の時刻は、経過した時間分進んでいます。

タニイの設定をする

本装置で使用する単位を設定します。

- 1** ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
 セッテイ <ENT>
- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
 マシン セッテイ <ENT>
- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ
 カンソウ ファン <ent>
- 4** **▲** **▼** を押して、[タニイセッテイ] を選ぶ

マシン セッテイ
 タニイ セッテイ <ent>
- 5** **ENTER** キーを押す

オント[°] : ナカ[°]サ
 °C : mm
- 6** **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、単位を選ぶ

項目の選択 : **◀** **▶** で選ぶ
 単位の設定 : **▲** **▼** で入力
- 7** **ENTER** キーを押す

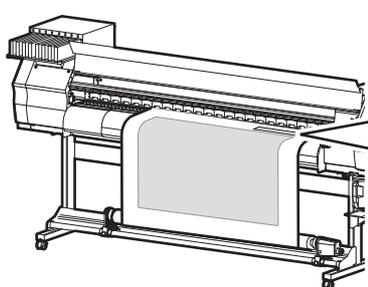
マシン セッテイ
 タニイ セッテイ <ent>
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

スタンプの設定をする

プリント完了後に、プリント条件やプリント日時などの情報を出力するか設定します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
カンソウ ファン <ent>
- 4 **▲** **▼** を押して、[スタンプセッテイ] を選ぶ
マシン セッテイ
スタンプ° セッテイ <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す
スタンプ° セッテイ
スタンプ° : **OFF**
- 6 **▲** **▼** を押して、ON/OFF を選ぶ
- 7 **ENTER** キーを押す
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

出力の例



スタンプ (以下の情報を出力)

- ・ファームウェアバージョン / インク種類 / プリント日時
- ・解像度 / バス / スキャン方向 / 速度 / 重ね塗り回数 / ヘッド高さ / メディア補正值
- ・環境温度

出力画像

マシンメイショウの設定をする

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシンNo.) を設定します。

- | | | |
|---|--|------------------------------------|
| 1 | ローカルで、 FUNCTION キーを押す | FUNCTION
セッテイ <ENT> |
| 2 | ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ | FUNCTION
マシン セッテイ <ENT> |
| 3 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
カンソウ ファン <ent> |
| 4 | ▲ ▼ を押して、[マシンメイショウ] を選ぶ | マシン セッテイ
マシン メイショウ <ent> |
| 5 | ENTER キーを押す | マシン メイショウ
TS34-0 1 <ent> |
| 6 | ▲ ▼ を押して、マシン名称 (01~99) を選ぶ | マシン メイショウ
TS34-1 0 <ent> |
| 7 | ENTER キーを押す | マシン セッテイ
マシン メイショウ <ent> |
| 8 | 終了するとき、 END キーを数回押す | |

キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ
FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
カンソウ ファン <ent>
- 4 **▲** **▼** を押して、[キーブザー] を選ぶ
マシン セッテイ
キー ブザー <ent>
- 5 **ENTER** キーを押す
キー ブザー
セッテイ : **ON**
- 6 **▲** **▼** を押して、ON/OFF を選ぶ
キー ブザー
セッテイ : **OFF**
- 7 **ENTER** キーを押す
マシン セッテイ
キー ブザー <ent>
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す



- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

カンキョウオンドの動作条件を変更する

本機を設置している場所の温度(環境温度)が使用可能範囲から外れている状態でプリントをすると、インクの吐出不良や色味が変わるなど、プリント品質に悪影響を及ぼします。

ここでは、プリント時に環境温度が使用可能範囲から外れていた場合の動作を選択します。



- 使用可能範囲について、詳しくは P.6-3 「使用可能温度」を参照してください。
- プリント開始時に環境温度が適正範囲外になっていると、以下のエラーメッセージを表示してお知らせします。

**** ERROR 120 ****
カンキョウオンド` ヒクイ

**** ERROR 121 ****
カンキョウオンド` タカイ

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2

▲▼を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3

ENTER キーを押す

マシン セッテイ
カンソウ ファン <ent>

4

▲▼を押して、[カンキョウオンド]を選ぶ

マシン セッテイ
カンキョウ オンド` <ent>

5

ENTER キーを押す

カンキョウ オンド`
センタク : []ウタツ ヲ マタナイ

6

▲▼を押して、設定値を選ぶ

- トウタツ ヲ マタナイ : エラーメッセージを一瞬表示した後、プリントを開始する。
トウタツ ヲ マツ : エラーメッセージを表示した後、環境温度が適正值になるまで待つてからプリントを行う。

7

ENTER キーを押す

8

終了するとき、**END** キーを数回押す

3

便利な使い方

インクの有効期限を延長する

通常は期限切れ後 2ヶ月で使用不可となるインクの有効期限を、期限切れの月から 6ヶ月延長できます。

インクの有効期限を延長する

以下の設定・確認画面は、本機の電源を ON にしたときや、期限切れのインクカートリッジをセットしたときに表示されます。

重要!

- 一度延長 [YES] を設定したカートリッジは、設定の変更ができません。
- 複数の期限切れインクをセットしてから、期限延長を設定すると、複数のインクの有効期限をまとめて延長できます。
- インクの有効期限を延長して使用すると、印刷画質が低下したり、色味の変化やバンディングなど印字品質が低下する可能性があります。このことをご了解の上、インクの有効期限を延長してください。
- 初期充填では、期限切れ後 2ヶ月以上が過ぎたインクを使用することはできません。

1

右の画面を表示したら

ユウコウキケン エンチョウ ?
YES< >NO

交互に表示



スイショウ シナイカ ヨイカ?
YES< >NO

2

  を押して、[YES] を選ぶ

- インク期限の延長をしないときは、[NO] を選んでください。この場合、インク期限が切れてから 2ヶ月すると、インクが使用できなくなります。

ユウコウキケン ヲ エンチョウシタ
[ENT] ヲ オス

3

 キーを押す

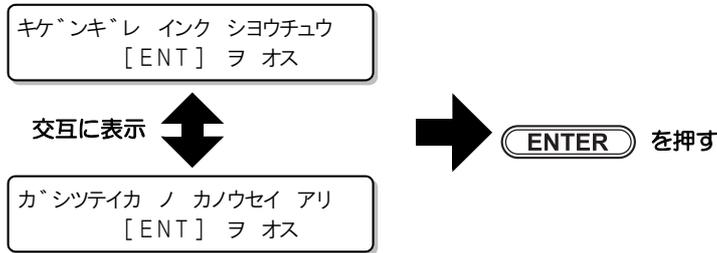
- インク期限が延長されます。



- インクの有効期限を延長した場合、インク期限切れから 6ヶ月が経過するとディスプレイに [カンゼン キゲンギレ] が表示され、セットしているインクカートリッジは使用できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。
- 有効期限を延長したインクカートリッジからインクを供給しているときは、インクカートリッジの上にあるカートリッジランプが緑色に点滅してお知らせします。

インクの有効期限を延長したカートリッジをセットすると

本機にインクの有効期限を延長したカートリッジをセットしている状態で電源をオンにしたときや、有効期限の延長を設定したカートリッジを本機にセットすると、次の画面を表示します。

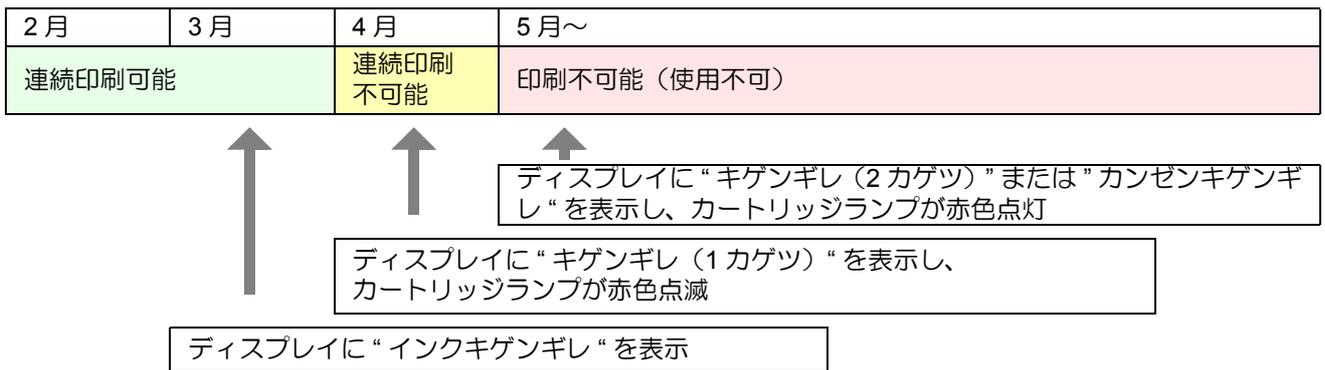


- 上の画面を交互表示しているときに **FUNCTION** キーを押すと、期限切れになっているインクの確認ができます。

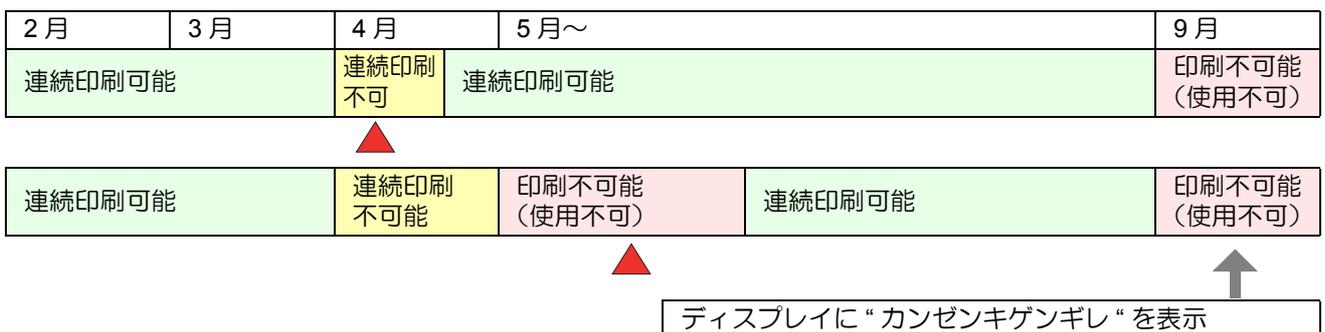
インクの有効期限を延長したときは

(例) 2012年2月が有効期限のインクカートリッジをお使いの場合

- 期限延長をしなかった場合



- 期限延長を実行した場合 (▲ で期限延長実行)



4月～8月のいずれのタイミングで期限延長しても、延長される期間は有効期限から6か月です。

インク供給経路の切替設定

インク供給について、ダブルカートリッジ自動切替機能で優先して使用するカートリッジの状態を選択できます。
本設定は、4色インクセットをお使いの場合のみ有効です。

重要!

- ここでの設定に関わらず、有効期限が切れたインクカートリッジがセットされている場合は、期限切れのカートリッジを優先して使用します。
- オプションのバルクインクシステム (MBIS) をお使いの場合、両方のスロットでバルクインクシステム (MBIS) をセットしていれば、ここで行う設定が有効になります。
- 同色の供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) が混在している場合は、次ページの設定をご参照ください。

1	ローカルで、 FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	▲ ▼ を押して、 [マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ <ENT>
3	ENTER キーを押す	マシン セッテイ カンソウ ファン <ent>
4	▲ ▼ を押して、 [インク キョウキュウ ユウセン] を選ぶ	マシン セッテイ インク キョウキュウ ユウセン <ent>
5	ENTER キーを押す	
6	▲ ▼ を押して、優先するカートリッジの状態を選ぶ ザンリョウ : 残量が少ないインクカートリッジから供給する ユウコウキゲン : 有効期限が短いインクカートリッジから供給する	インク キョウキュウ ユウセン ユウセン : ザンリョウ
7	ENTER キーを押す	
8	終了するとき、 END キーを数回押す	

インクカートリッジと MBIS を混在している場合

4色インクセットで、同色の供給経路にインクカートリッジとオプションのバルクインクシステム (MBIS) を混在して使用している場合、優先して使用するインクを選択できます。



- 通常、同色のインク供給経路にインクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) を混在して使用する場合、バルクインクシステム (MBIS) 側のインクを優先して使用します。

重要!

- 本機能は4色インクセットをお使いの場合のみ有効です。
- インクカートリッジとバルクインクシステム (MBIS) が混在している供給経路がない場合は、本機能は設定できません。
- 本機能で選択しているカートリッジを引き抜くか電源を入れ直すと設定は無効となります。

1

ローカルまたはリモートで、**ENTER** キーを押す

SB52-インク MMBBYKK
サンリョウ 34567899

2

REMOTE キーを押す

BULK/CART センタク
- **B** B B

現在、供給している側を表示
B: バルクインクシステム (MBIS)
C: インクカートリッジ
-: 混在していない

3

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、供給経路と、どちらを優先するか設定する

BULK/CART センタク
- **C** B B

経路の選択 : **◀ ▶** で選ぶ
優先する側を設定 : **▲ ▼** で入力

4

ENTER キーを押す

- ローカルまたはリモートに戻ります。

3

便利な使い方

装置情報を確認する

本装置の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

項目	内容
エラー履歴	現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 ▲▼を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
メンテナンス履歴	メンテナンス機能を、いつ使ったかの履歴を表示します。 主に、マニュアルによる洗浄機能や、自動(定期、スリープ)での洗浄機能について表示します。
プリントモード履歴	電源 ON から現在までに行ったオンラインプリント情報(プリント条件)を表示します。(最大 50 件) ▲▼を押してプリントした順番に切り替えて表示します。
リスト	装置の設定内容をプリントします。
インクコウカンレポート	装置で使用したインクの履歴をプリントします。
バージョン	装置のバージョン情報を表示します。
シリアル&ディーラーNo.	シリアル No.、ディーラー No. を表示します。

情報を表示させる

1

ローカルで、**FUNCTION** キーを押す

- 本装置の設定リストをプリントしたい場合は、メディアをセットしてください。(P.2-6)

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2

▲▼を押して、**[ジョウホウ]**を選ぶ

FUNCTION
シ`ョウホウ <ENT>

3

ENTER キーを押す

シ`ョウホウ
エラー リレキ <ent>

4

▲▼を押して、情報の種類を選ぶ

5

ENTER キーを押す

- 情報を表示します。
- [リスト]を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。

表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

<p>エラー履歴</p> <p>発生年月日を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">エラー リレキ [01] 11.10.10 12:15</div> <p style="text-align: center;">◀ ◻ ◻ ▶</p> <p>エラー内容を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">***** ERROR 09 ***** HDC エラー</div>	<p>メンテナンス履歴</p> <p>メンテナンス内容を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">[01] 11.10.10 12:15 キャリッジ アウト</div> <p>バージョン</p> <p>F/W などのバージョン情報を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">TS34-1800 V*. ** MRL-III V1.40</div>
<p>プリントモード履歴</p> <p>解像度やプリント長などを表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">[01] 720x1080 .12 Bd.Vd.x1.1L: 12.34m</div> <p style="text-align: center;">◀ ◻ ◻ ▶</p> <p>プリント年月日を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">サクス モード リレキ [01] 11.10.10 12:15</div>	<p>シリアル&ディーラーNo.</p> <p>シリアルNo. ディーラーNo. を表示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">S/N = ***** D/N = *****</div>

第4章 お手入れ



この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ.....	4-2	オートメンテナンス機能.....	4-20
お手入れ上のご注意	4-2	リフレッシュ間隔を設定する	4-20
メンテナンス洗浄液について	4-2	クリーニング間隔を設定する	4-21
外装のお手入れ	4-3	その他のメンテナンス機能.....	4-22
プラテンの清掃	4-3	ワイパー交換の警告時期を変更する	4-22
メディアセンサーの清掃	4-4	ヘッド選択の設定をする	4-23
メディア押えの清掃	4-4	メディア残量表示の設定をする	4-24
キャッピングステーションのメンテナンス..	4-5	廃インクタンク確認メッセージが	
ワイパーとキャップの清掃	4-5	表示されたら	4-26
ワイパーを交換する	4-7	インクカラーを変更したいとき	4-30
ヘッドノズルの洗浄	4-8	昇華転写インクをより安定した品質で	
インク排出路の洗浄		お使いいただくために	4-31
(PUMP チューブ洗浄)	4-10	ワーニングメッセージの表示時期を設定する	
長期間使用しない場合		(昇華転写インクご使用時のみ)	4-32
(ホカンセンジョウ)	4-12	カッター刃の交換	4-33
ヘッド周辺の清掃	4-14		
ノズル詰まりが復旧しない場合.....	4-16		
インクを充填する	4-16		
ハイシュツ&センジョウ	4-17		
インクの初期充填を行う	4-19		

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本装置のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	<ul style="list-style-type: none">メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
	<ul style="list-style-type: none">本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用（出力）されないときには、定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、背面の主電源スイッチは ON（ の状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	<ul style="list-style-type: none">ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

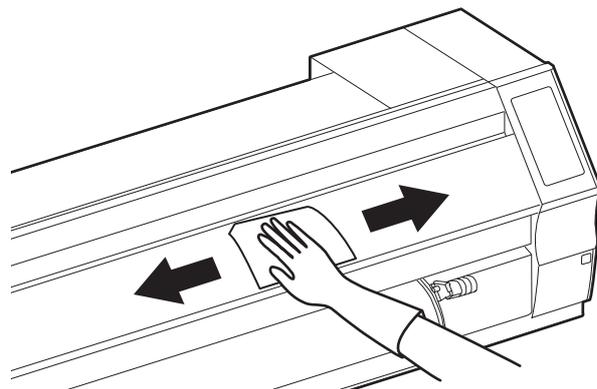
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
昇華転写インク	洗浄液ボトルキット A29（SPC-0137） [別売]
水性顔料インク	水性洗浄液カートリッジ（SPC-0259） [別売]

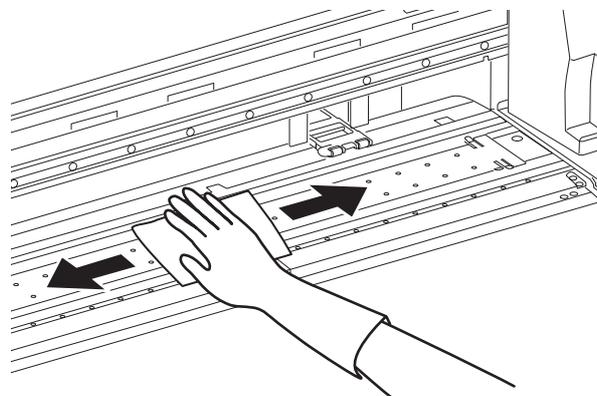
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。



- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
- メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝（カッターライン）などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

メディアセンサーの清掃

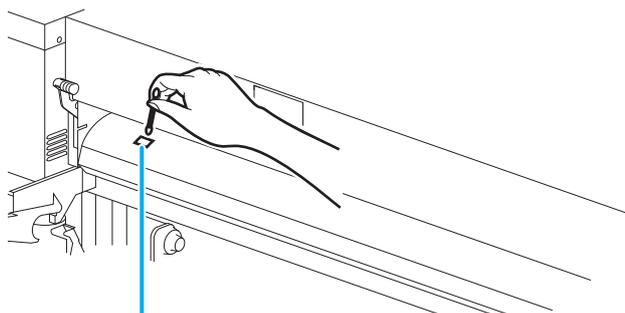
メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-14「ヘッド周辺の清掃」手順1の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。

装置背面

ヘッド下面



メディアセンサー

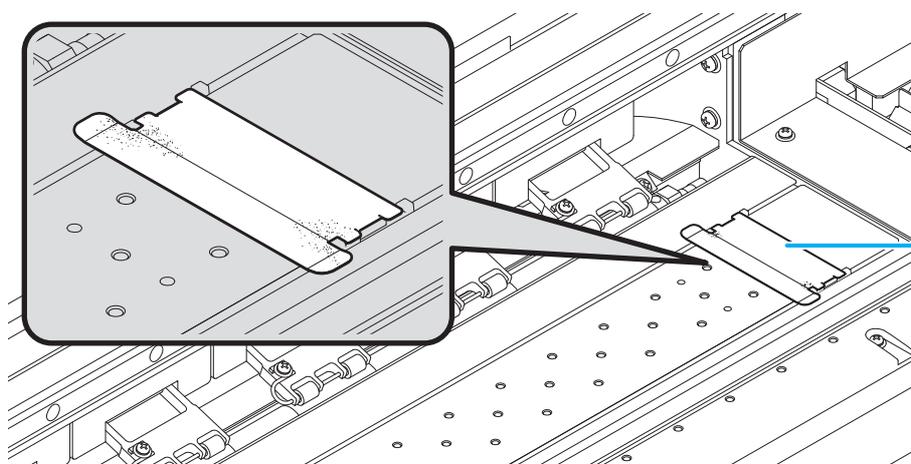


メディアセンサー

メディア押さえの清掃

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。

メディア押さえは、定期的に清掃してください。



メディア押さえ

キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ・ワイパー : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-19) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	・洗浄液ボトルキット A29(品番: SPC-0137)		
	・クリーンスティック (品番: SPC-0527)	・手袋	・ゴーグル



- ・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、**(ST.MAINT)** キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-5 手順 1～2)

ワイパーとキャップの清掃

画質や本装置の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重要!

- ・ワイパーの汚れ、曲がりなどがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.4-7)
- ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1

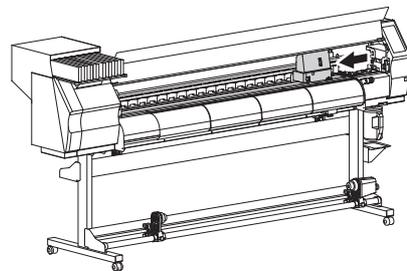
ローカルで、**(ST.MAINT)** キーを押す

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

2

(ENTER) キーを押す

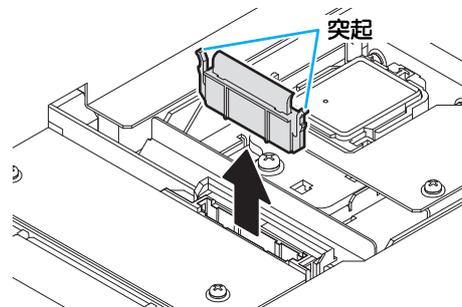
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。



3

フロントカバーを開けて、ワイパーを取り出す

- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



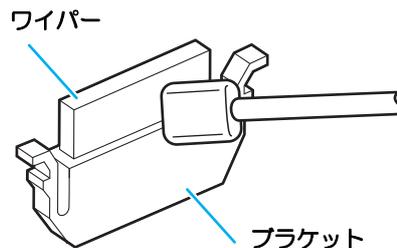
4

お手入れ

4

ワイパーとブラケットを清掃する

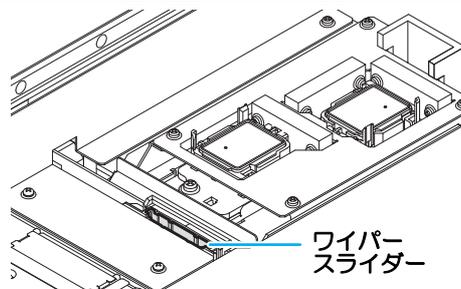
- ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗淨液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



5

ワイパー-sliderを清掃する

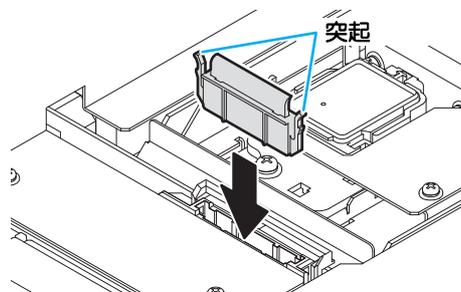
- ワイパー-sliderに付着したインクを、メンテナンス洗淨液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



6

ワイパーを元の位置に戻す

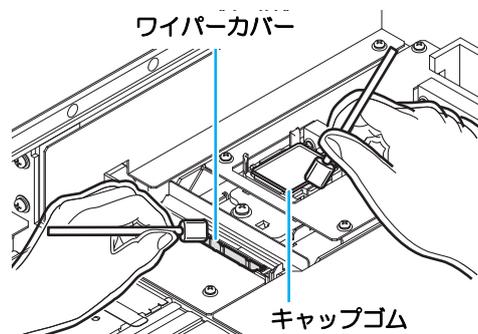
- ワイパーの両端を持って差し込みます。



7

キャップゴムやワイパーカバーを清掃する

- キャップゴムやワイパーカバーに付着したインクを、メンテナンス洗淨液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



8

フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

(カバ`ー オープン)
<ENT>ヲ オシテクダ`サイ



* ショキカ チュウ *
シハ`ラク オマチクダ`サイ

ST.MAINT を使わないでステーションメンテナンスをするには

ST.MAINT キーを押さなくても、ローカルから**FUNCTION**キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで**FUNCTION**を押す

▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選ぶ

ENTER を 2 回押す

- ローカルから**ST.MAINT**を押したときと同じ状態になります。

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。
また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

<ローカル.1> [#01]
!ワイパー コウカン シテクタサイ

重要!

- ・クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- ・ワイパー交換時以外は、[ワイパーコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパー使用回数がリセットしてしまいます。

1

ローカルで、**(ST.MAINT)** キーを押す

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

2

(▲) **(▼)** を押して、[ワイパーコウカン]を選ぶ

ステーション メンテナンス
ワイパー コウカン <ent>

3

(ENTER) キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent

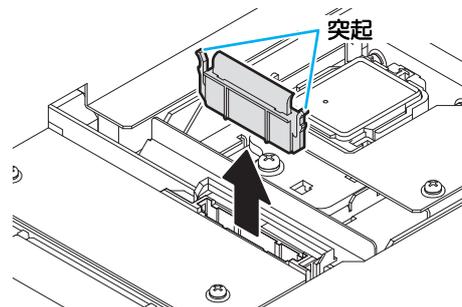
重要!

- ・交換作業が終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ :ent] が表示されます。手順 5 までの作業が完了しフロントカバーを閉じてから **(ENTER)** キーを押してください。交換作業が終了する前に **(ENTER)** キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

4

フロントカバーを開けて、ワイパーを取り出す

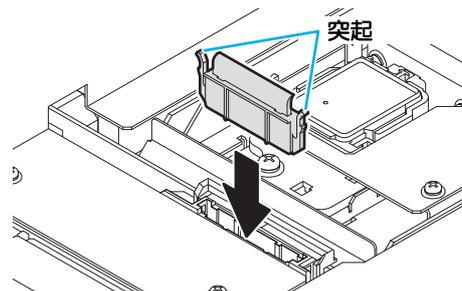
- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



5

新しいワイパーを差し込む

- ・ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



6

フロントカバーを閉じ、**(ENTER)** キーを押す

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

(カバー オープン)
<ENT>ヲ オシテクタサイ



* ショキカ チュウ *
シハラク オマチクタサイ

4

お
手
入
れ

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前を確認 してください	[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？ <ul style="list-style-type: none">洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。
-----------------	--

1 ローカルで、**(ST.MAINT)** キーを押す

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

2 **(▲)** **(▼)** を押して、**[ノズルセンジョウ]** を選ぶ

ステーション メンテナンス
ノズル センジョウ <ent>

3 **(ENTER)** キーを押す

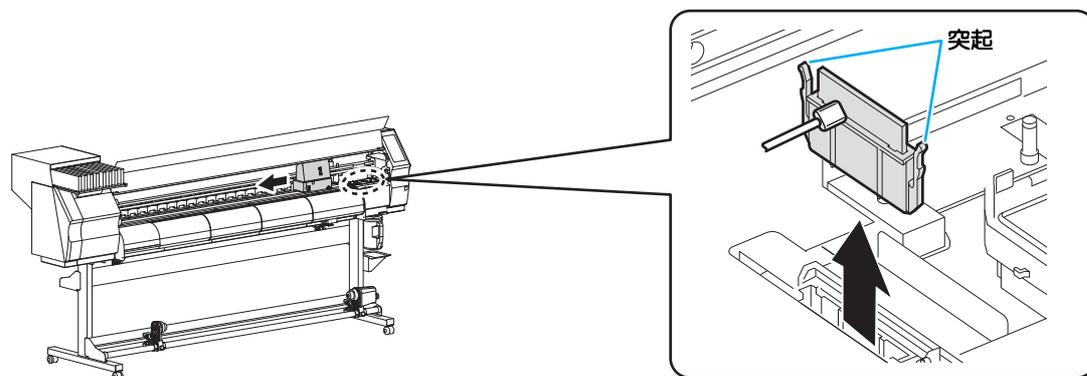
ワイパー クリーニング
シュウリョウ(ツギへ) :ent

・キャリッジがプラテン上に移動します。

重要! ・ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ(ツギへ) :ent] が表示されます。手順 4 の作業が完了してから **(ENTER)** キーを押してください。クリーニングが終了する前に **(ENTER)** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 (SPC-0137) を含ませて清掃する
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5 **(ENTER)** キーを押す

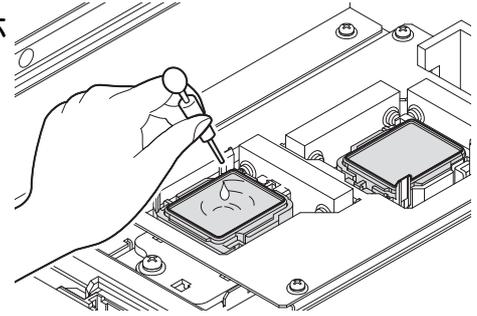
センジョウエキ ミタス
シュウリョウ(ツギへ) :ent

重要! ・洗浄液を満たすまで、ディスプレイには [シュウリョウ(ツギへ) :ent] が表示されま
す。手順 6 の作業が完了しフロントカバーを閉じてから **(ENTER)** キーを押してくださ
い。洗浄液を満たす前に **(ENTER)** キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

6

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



7

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテナンス
ホウチ シ`カン : 1min

8

▲ **▼** を押して、洗浄液の放置時間を設定する

設定値：1～99分（1分単位）

ステーション メンテナンス
ホウチ シ`カン : 2min

9

ENTER キーを押す

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順8で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、ローカルに戻ります。

* ショキカ チュウ *
シ`ラク オマチクタ`サイ



<ローカル: 1>

重要!

- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、「ノズル詰まりが復旧しない場合」(P.4-16) と [ハイシュツ&センジョウ] (P.4-17) を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。
- 本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
 - (1) 手順5までの操作をする
 - (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
 - (3) 手順7からの操作をする

インク排出路の洗浄 (PUMP チューブ洗浄)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的にインク排出路の洗浄をしてください。



- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-26 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

ハイインクタンク ヲ カクニン
ケイゾク > コウカン

ハイインクタンク ヲ カクニン
コウカン :ent

1

ローカルで、**ST.MAINT** キーを押す

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

2

▲ ▼ を押して、**[PUMP チューブセンシヨウ]** を選ぶ

ステーション メンテナンス
PUMP チューブ センシヨウ <ent>

3

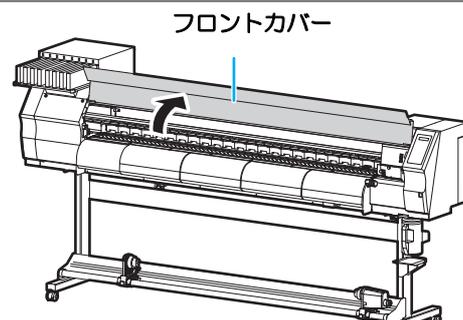
ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent

4

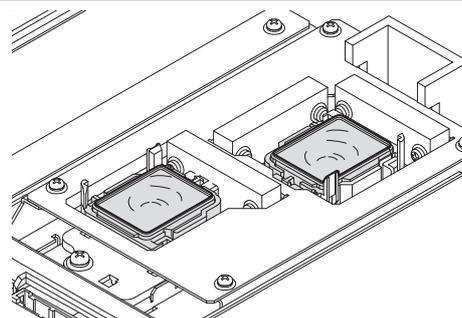
フロントカバーを開ける



5

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

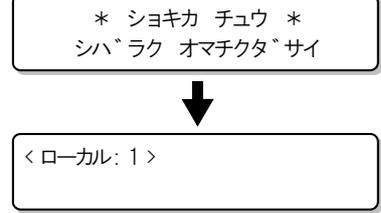
- 空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



6

フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

• 30 秒間空吸引を実行した後、ローカルに戻ります。



重要!

- 本装置にメンテナンス洗浄液が充填されていない場合は次のようにしてください。
- (1) 手順 4 までの操作をする
- (2) スポイトでメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
- (3) 手順 6 の操作をする

長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

事前に確認
してください

【ニアエンド】、【インクエンド】は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。
このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- ・インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。



- ・次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じてP.4-26「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

ハイインクタンクヲカクニン
ケイゾク > コウカン

ハイインクタンクヲカクニン
コウカン :ent

1

ローカルで、**ST.MAINT** キーを押す

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

2

▲ ▼ を押して、【ホカンセンジョウ】を選ぶ

ステーション メンテナンス
ホカン センジョウ <ent>

3

ENTER キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

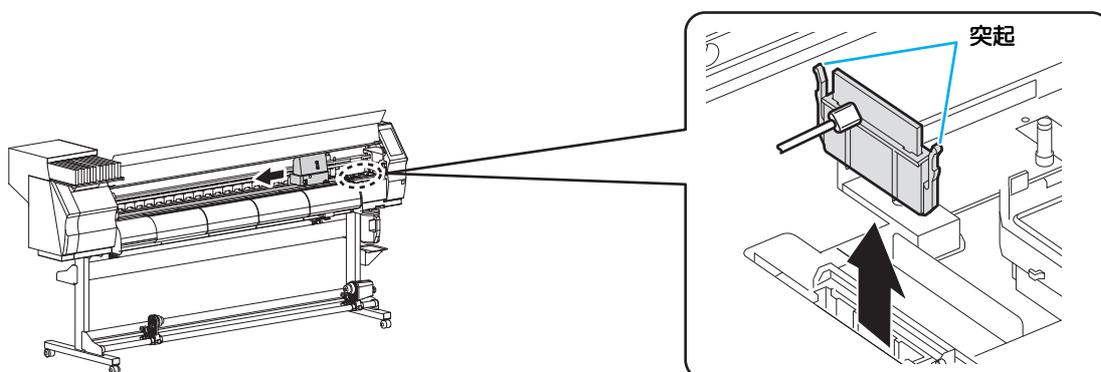
ワイパー クリーニング*
シュウリョウ(ツギヘ) :ent

- 重要!** ・ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには【シュウリョウ(ツギヘ) :ent】が表示されます。手順4の作業が完了してから**ENTER**キーを押してください。クリーニングが終了する前に**ENTER**キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4

ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 (SPC-0137) を含ませて清掃する
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5

ENTER キーを押す

センシ ヨウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ(ツギヘ) :ent

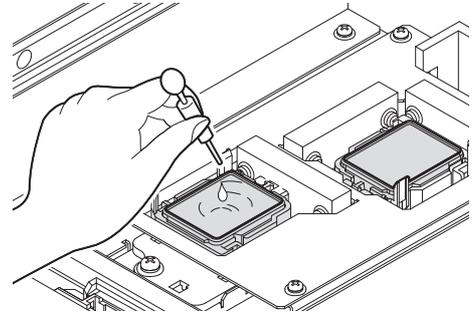
重要!

- ・洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギヘ) :ent]が表示されま
す。手順6の作業が完了しフロントカバーを閉じてから**ENTER**キーを押してくださ
い。洗浄液を満たす前に**ENTER**キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

6

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ
一杯になるまで満たす

- ・キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



7

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテナンス
ホウチ シ`カン : 1min

8

▲ **▼** を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- ・設定値 : 1 ~ 99 分 (1分単位)

ステーション メンテナンス
ホウチ シ`カン : 2min

9

ENTER キーを押す

- ・ノズルの洗浄を実行します。
- ・ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

* ショキカ チュウ *
シ`ラク オマチクタ`サイ

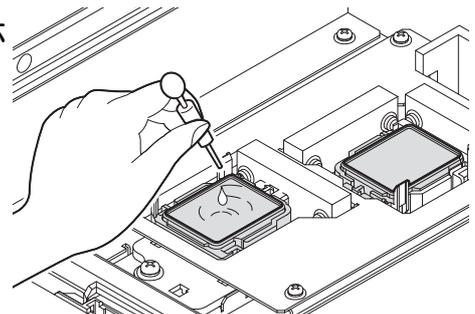
10

フロントカバーを開ける

11

スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯
になるまで満たす

- ・キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



12

フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、ローカルに戻ります。

* ショキカ チュウ *
シ`ラク オマチクタ`サイ

4

お
手
入
れ

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	・ クリーンスティック	・ 手袋	・ ゴーグル
----------	-------------	------	--------



- ・ 清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・ インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1

メンテナンスメニューの[キャリッジメンテナンス]を選ぶ

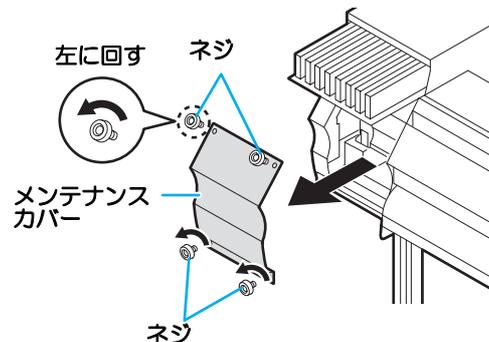
- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [キャリッジメンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (4) **ENTER** キーを押す
 - ・ キャリッジが、本装置の左端まで移動します。

2

メンテナンスカバーを外す

- (1) メンテナンスカバーを止めている4つのネジを左に回して取り除く
- (2) メンテナンスカバーを外す

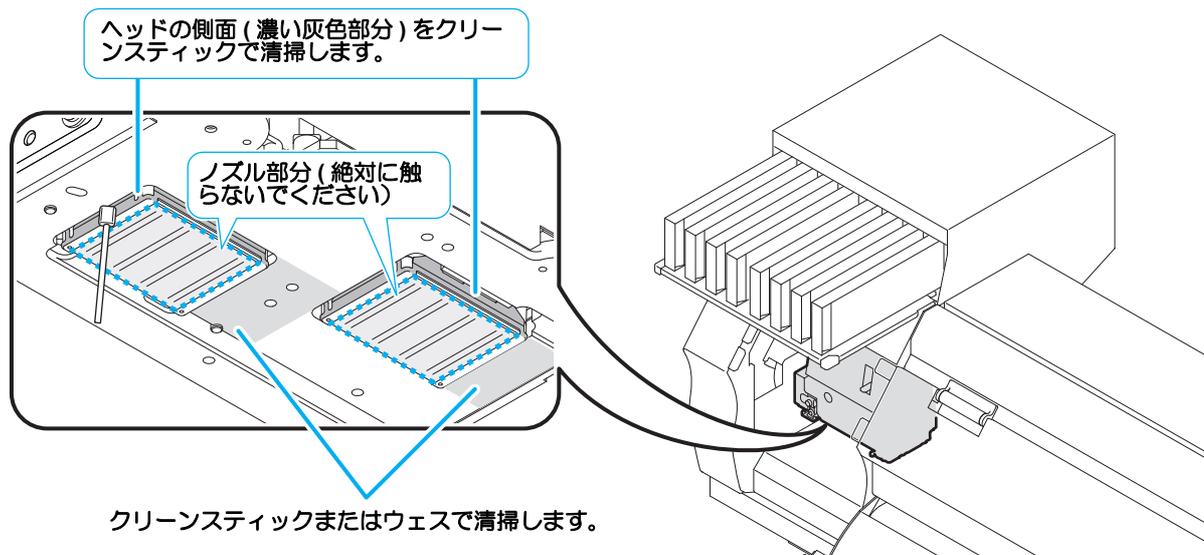
- ・ メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



3

ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- ・ ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



4

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

カバー シメテクタ[®] サイ

5メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

(カバー オープン)
<ENT>ヲ オシテクダサイ



* ショキカ チュウ *
シハラク オマチクダサイ

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-19) やヘッドノズルの洗浄 (☞ P.4-8) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の2機能を実行してください。

インクシュウテン	• インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。
ノズルセンジョウ	• ヘッドノズルを洗浄します。(☞ P.4-8)

インクを充填する

1

メンテナンスメニューの[ヘッドメンテナンス]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

ENTER キーを押す

- 自動的にインク充填を開始します。
- インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

インク シュウテン チュウ
00:00



ヘッド`メンテナンス
インク シュウテン <ent>

3

終了するとき、**END** キーを数回押す

ハイシュツ & センジョウ

ヘッド、ダンパー、チューブのインクを排出して、洗浄を実行します。

重要!

- この機能をお使いになるには、専用の洗浄液 (P.4-2「メンテナンス洗浄液について」) が必要です。また、再充填するためのインクが残っているか確認してから作業を行ってください。
- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-26「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

ハイインクタンク ㊦ カクニン
ケイゾク <

ハイインクタンク ㊦ カクニン
コウカン :ent

1 メンテナンスメニューの [ヘッドメンテナンス] を選ぶ

- ローカルで、**(FUNCTION)** キーを押す
- (▲)** **(▼)** を押して [メンテナンス] を選び、**(ENTER)** キーを押す
- (▲)** **(▼)** を押して [ヘッドメンテナンス] を選ぶ
- (ENTER)** キーを押す

2 **(▲)** **(▼)** を押して、[ハイシュツ&センジョウ] を選ぶ

メンテナンス
ハイシュツ&センジョウ <ent>

3 **(ENTER)** キーを押す

インク カートリッジ ㊦ ハスス
MMBB YYKK

4 インクカートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残ったインクが廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

* ハイシュツ チュウ *
00:00



センジョウ エキ ㊦ セット スル
1234 5678

5 インクステーションに洗浄液カートリッジをセットする

- 洗浄液の吸引を始めます。
- 吸引が終わると、右の画面を表示します。

* キュウイン チュウ *
00:00



センジョウ エキ ㊦ ハスス
1234 5678

6 洗浄液カートリッジを外す

- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

* ハイシュツ チュウ *
00:00



センジョウ エキ ㊦ セット スル
1234 5678

7 インクステーションに洗浄液カートリッジをセットする

- 洗浄液の吸引を始めます。
- 吸引が終わると、右の画面を表示します。

* キュウイン チュウ *
00:00



センジョウ エキ ㊦ ハスス
1234 5678

4

お
手
入
れ

8**洗浄液カートリッジを外す**

- ヘッドやチューブに残った洗浄液が廃インクタンクに排出されます。
- 排出が終わると、右の画面を表示します。

* ハイシュツ チュウ *

00:00



シ`ョウキョウニ オウシ`テ センタク
END< >サイセンシ`ョウ

- 廃インクタンクの状態を確認して、洗浄を終了するか、再洗浄するかを選んでください。
- 再洗浄する場合はを押して、手順5に戻ります。

9を押す**10**終了するとき、キーを数回押す

インクの初期充填を行う

- 重要!** ・本機に有効期限を延長 (☞ P.3-34) したインクカートリッジをセットしている場合は、初期充填はできません。有効期限内のインクカートリッジと交換してから初期充填を行ってください。

1 本装置の電源をオンにする

- 電源をオンにすると [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

BOOT

TS34-1800A V*.**

シハ`ラク オマチクタ`サイ

2 を押して、充填するインクタイプを選択する

-  キーを押すと、カートリッジの状態が確認できます。(☞ P.5-5)

インクタイプ°

SB52

3 を押して、充填するインクセット（充填色）を選択する

- お客様の操作で、現在お使いのインクセットから他のインクセットへ変更することはできません。
- インクセットの変更は、弊社営業所へお申し付けください。

SB52 インクセット
4-Color (MMBBYYKK)

4 キーを押す

SB52-4Colorインク ヲ セット
---- --

5 インクステーションにインクカートリッジセットする

- インクカートリッジをセットすると、自動的に充填が始まります。
- インクステーションには、それぞれ差し込むインク色が決まっています。インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。

SB52-4Colorインク ヲ セット
--B- Y-KK

シ`ユウテン チュウ
00:00



- お使いになるインクセットによって、インクカートリッジのセット順異なります。詳しくは P.6-4 「インクカートリッジのセット順」をご参照ください。

6 インク充填が終了すると、ローカルに戻る

<ローカル.1> [#01]
ハハ` : ****mm



- 初期充填後にプリントしたとき、カスレやヌケがある場合は、ヘッドクリーニング (☞ P.2-19) またはインク充填 (☞ P.4-16) をしてください。

手順 5 でインクの充填ができないとき

インクニアエンドやインクエンド、その他各種インクエラーが発生している場合は、インクの充填を開始しなくなります。

「インクの初期充填を行う」手順 5 でインクの充填が始まらない場合

-  キーを押すと、手順 2 の画面に戻る
-  キーを押して、インクカートリッジの状況を確認する
- インクエラーなどを解消し (☞ P.5-5)、手順 2 から操作し直す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
(オートメンテナンス機能)
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- 重要!**
- お使いになるインク種類によって、メンテナンス間隔（初期値）が異なります。詳しくは P.6-4 「オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔」をご参照ください。
 - 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

- 重要!**
- 右のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-27 の操作をしてください。
 - 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

<ローカル. 1> [#01]
!ハイ インクタンク

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オートメンテナンス] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オートメンテナンス] を選ぶ

2 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス
リフレッシュ <ent>

3 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス
リフレッシュ カンカク = 1h

4 **▲** **▼** を押して、リフレッシュ間隔を設定する

• 設定値 : OFF, 1 ~ 168 時間

オートメンテナンス
リフレッシュ カンカク = 10h

5 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス
リフレッシュ <ent>

6 終了するとき、**END** キーを数回押す

クリーニング間隔を設定する

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オートメンテナンス] を選ぶ

- (1) ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オートメンテナンス] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2 **▲** **▼** を押して、[クリーニング] を選ぶ

オートメンテナンス
クリーニング° <ent>

3 **ENTER** キーを押す

オートメンテナンス
クリーニング° カンカク = 1h

4 **▲** **▼** を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

- ・設定値 : OFF, 1 ~ 168 時間

オートメンテナンス
クリーニング° カンカク = 4h

5 **ENTER** キーを押す

- ・クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

オートメンテナンス
クリーニング° タイプ° : 1-ノーマル

6 **▲** **▼** を押して、クリーニングタイプを選ぶ

- ・設定値 : ノーマル、ソフト、ハード

オートメンテナンス
クリーニング° タイプ° : 2-ソフト

7 **ENTER** キーを押す

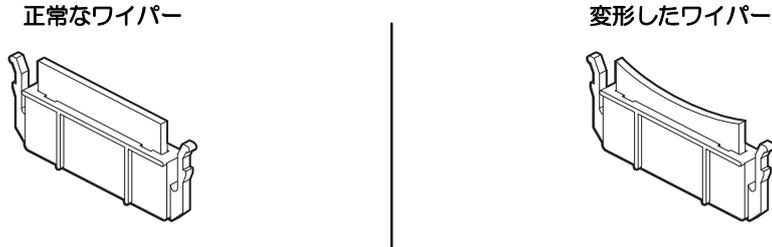
オートメンテナンス
クリーニング° カンカク = 4h

8 終了するとき、**END** キーを数回押す

その他のメンテナンス機能

ワイパー交換の警告時期を変更する

ワイパーは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパーではクリーニング効果が得られません。ワイパーレベルを設定して、環境によってワイパー交換時期の警告を標準より早期に促します。



10/10	標準のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。(初期値)
9/10	標準の 9/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
8/10	標準の 8/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。
⋮	
1/10	標準の 1/10 回のワイピング回数でワイパー交換の警告を表示します。

1 メンテナンスメニューの[ワイパーレベル]を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ワイパーレベル] を選ぶ

2 **ENTER** キーを押す

ワイパー レベル
レベル : 10 / 10

3 **▲** **▼** を押して、ワイパーレベルを設定する ・設定値 : 1/10 ~ 10/10

ワイパー レベル
レベル : 9 / 10

4 **ENTER** キーを押す

メンテナンス
ワイパー レベル <ent>

5 終了するとき、**END** キーを数回押す

ヘッド選択の設定をする

プリント時に使用するヘッドを選択することができます。
ノズル詰まりが解消しないなどで一方のヘッドが使用できない場合など、ノズルが詰まっているヘッドを使用しないように設定できます。

- 重要!**
- ヘッド選択の適用範囲は、プリント(テストプリントを含む)とフラッシングまでとなります。充填等の機能は、全ヘッドを対象とします。
 - 2つのヘッドを両方使用してプリントするときに比べ、片一方のヘッドのみを使用してプリントすると、プリントの速度は1/2に低下します。

1 メンテナンスメニューの[ヘッドセンタク]を選ぶ

- ローカルで、**FUNCTION**キーを押す
- ▲** **▼**を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER**キーを押す
- ▲** **▼**を押して[ヘッドセンタク]を選ぶ

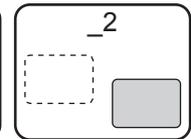
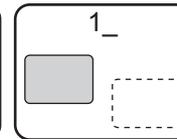
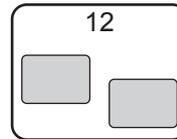
2 **ENTER**キーを押す

ヘッド` センタク
センタク : 12

3 **▲** **▼**を押して、使用するヘッドを選ぶ

ヘッド` センタク
センタク : 1_

- 設定値：12(両方のヘッドを使用)
- 1_(ヘッド1のみ使用)
- _2(ヘッド2のみ使用)



4 **ENTER**キーを押す

メンテナンス
ヘッド` センタク <ent>

5 終了するとき、**END**キーを数回押す

メディア残量表示の設定をする

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を ON にすると	リモートでメディア残量が表示されます。 (ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長を表示します。)
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されません。



- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(P.2-12)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1

メンテナンスメニューの [メディア ザンリョウ] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [メディア ザンリョウ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して、ON/OFF を選ぶ

メディア ザンリョウ
セッテイ : OFF

3

ENTER キーを押す

メンテナンス
メディア ザンリョウ <ent>

4

終了するとき、**END** キーを数回押す

メディア残量をプリントする

現在のメディア残量をプリントすることができます。



- メディア残量表示の設定を“ON”にしてください。
- メディア交換時には、今現在お使いのメディアに残量をプリントしておくことをお勧めします。あらかじめメディア残量をプリントしておけば、交換したメディアを再度使うとき、メディア検出後のメディア残量入力画面 (P.2-12) で正確な数値を入力できます。

1

ローカルで、 を押す

- 原点設定モードになります。

ケンテン セッテイ
0.0

2

を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- 原点を変更しない場合は、 を押さずに手順3へ進んでください。

- ここで **ENTER** キーを押すと、原点が変更されローカルに戻ります。

ケンテン セッテイ
0.0 0.0
原点位置 原点位置
(長さ) (幅)

3

REMOTE キーを押す

- を押すと、手順2の画面に戻ります。
- **END** キーを押すと、ローカルに戻ります。

メディア サンリョウ サクス
<ENT>

4

ENTER キーを押す

- メディア残量のプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

重要!

- 原点を変更してプリントすると、以降のデータのプリントをするときもここで設定した原点が有効になります。

4

お手入れ

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。(廃インクタンク交換の目安としてお使いください。)

インク充填などを実行するときにメッセージが表示されたら

インク充填やヘッドクリーニング、PUMP チューブ洗浄など、廃インクタンクを使用する機能を実行するとき、廃インクタンクの状態によって廃インクタンクの確認を促すメッセージを表示します。

● 廃インクタンクがニアフルの場合

右のメッセージが表示される

ハイインクタンク ㉿ カクニン
ケイソク > コウカン

1 廃インクタンクの状態を確認する

- ・廃インクタンクが一杯に近い場合
 - (1) 廃インクタンクを交換 (P.4-28) する
 - (2) **ENTER** キーを押して "コウカン" を選択する (インク排出量をリセットする)
- ・廃インクタンクに余裕がある場合
 - (1) **←** を押して "ケイソク" を選択する (インク排出量をリセットしない)
- ・この場合、ローカルにもどると、P.4-27「ローカルでの確認メッセージ」のメッセージが表示されます。

● 廃インクタンクがフルの場合

右のメッセージが表示される

ハイインクタンク ㉿ カクニン
コウカン :ent

1 廃インクタンクを交換 (P.4-28) し、**ENTER** キーを押す

- ・インク排出量のリセットを行います。

重要!

- ・廃インクタンクがニアフルまたはフルのとき、上の操作で "コウカン" を選んだ場合は、必ず廃インクタンクの交換 (P.4-28) をしてください。交換しないでそのままお使いになると、確認メッセージが表示されないうちに廃インクがあふれることがあります。
- ・ステーションメンテナンスのノズルセンジョウ、PUMP チューブセンジョウ、ホカンセンジョウをしたときに排出した廃インクは、本装置で累積カウントされません。これらの操作をする前後は、必ず廃インクタンクの状態を確認してください。

ローカルでの確認メッセージ

右のメッセージが表示される

<ローカル. 1>	[#01]
!ハイ インクタンク	

- 1 廃インクタンクを確認し、必要に応じて廃インクタンクの交換をする (👉 P.4-28)

廃インクタンクの確認メッセージを表示させたくないとき

廃インクタンクの確認メッセージを表示させないように設定できます。

- 1 マシンセッテイメニューの [ハイインク ワーニング] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [マシンセッテイ] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ハイインク ワーニング] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

- 2 **▲** **▼** を押して、**OFF** を選ぶ

ハイインク ワーニング*	
セッテイ	: OFF

- 3 **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ	
ハイインク ワーニング*	<ent>

- 4 終了するとき、**END** キーを数回押す

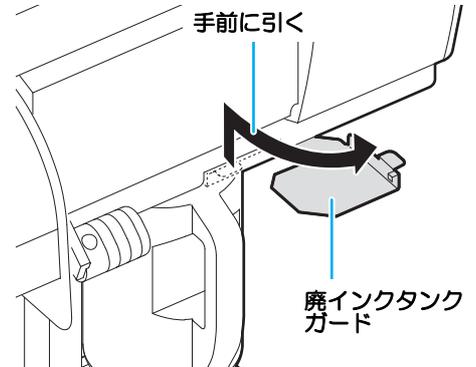
- 重要!** ・ 廃インクタンクワーニングの設定を "OFF" にすると、確認メッセージは表示されなくなります。必ず廃インクタンク内のインク残量を目視で確認するようにしてください。

廃インクタンクを交換する

右のメッセージが表示されたら、速やかに廃インクタンクを確認し、状況に応じて交換してください。

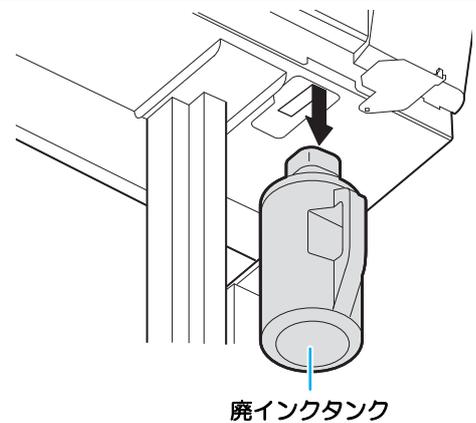
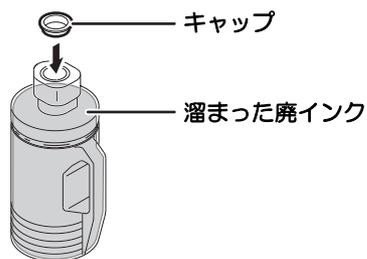
<ローカル. 1> [# 01]
!ハイ インクタンク

1 廃インクタンクガードを手前に開く



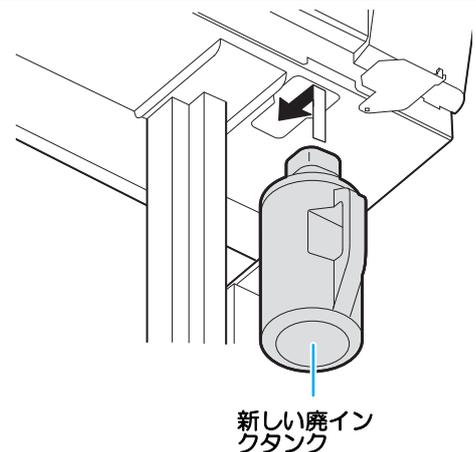
2 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す

• 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



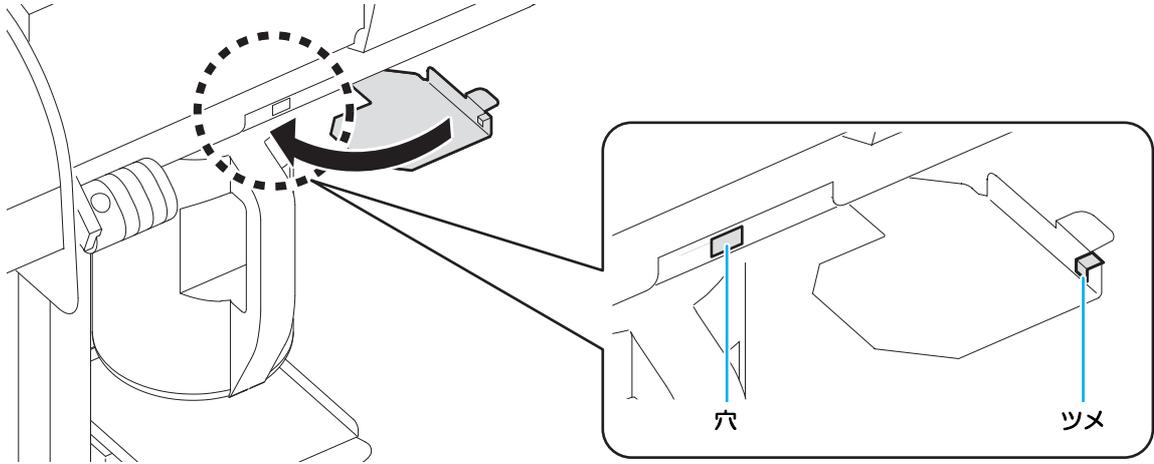
3 廃インクタンクを交換する

- (1) 新しい廃インクタンク (SPC-0117) を用意する
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む



4 廃インクタンクガードを閉じる

- ・廃インクタンクガードのツメを本体の穴に引っかけて、ロックしてください。



5 メンテナンスメニューの【ハイインクタンクコウカン】を選ぶ

- (1) ローカルで、**(FUNCTION)**キーを押す
- (2) **(▲)** **(▼)**を押して【メンテナンス】を選び、**(ENTER)**キーを押す
- (3) **(▲)** **(▼)**を押して【ハイインクタンクコウカン】を選ぶ

6 **(ENTER)**キーを押す

- ・本装置で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

ハイインクタンク コウカン
コウカン : e n t

7 終了するとき、**(END)**キーを数回押す

インクカラーを変更したいとき

インクカラーを変更したいときは、次のようにしてください。



次のような場合は、サービスマンによる作業が必要です。弊社サービスまたは販売店にお問い合わせください。

- ・「4色モデル」から「6色モデル」にするなどインクセットを変更したい場合

1

装置に残っているインクの「排出」とヘッドやチューブの「洗浄」を行う

- ・P.4-17「ハイシュツ&センジョウ」を参照してください。

2

インクの充填を行う

- ・P.4-19「インクの初期充填を行う」を参照してください。

重要!

- ・洗浄を行うには、専用の洗浄液カートリッジ(別売)が8本必要です
現在お使いのインク種類に合った洗浄液カートリッジを使って洗浄を行ってください。

インクの種類	洗浄液の種類
昇華転写インク	水性洗浄液カートリッジ (SPC-0259)
水性顔料インク	

昇華転写インクをより安定した品質でお使いいただくために

昇華転写インクをお使いのとき、装置を放置した後に印刷を行うと色材の沈降が原因で色味の変化が生じることがあります。

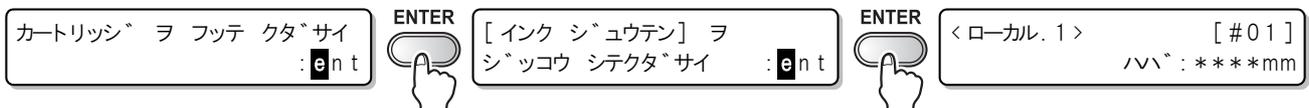
定期的にインクカートリッジを振るまたはインク充填を行うことにより、状況が緩和されます。(インク充填を行う前にも、インクカートリッジを振る必要があります。)

本機では、インクカートリッジを振るまたはインク充填を行う時期になると、ディスプレイにメッセージ(色材沈降予防ワーニング)を表示してお知らせします。

● インクカートリッジを振る時期がきた場合



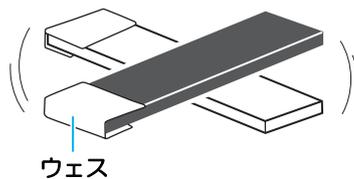
● インク充填を行う時期がきた場合



- この表示は、ローカルモードになっているとき、またはリモートモードからローカルモードに切り替えたときに表示されます。プリントを中断したり、連続プリントを妨げることはありませんが、リモートモード中には表示されないで、プリントの合間に **(REMOTE)** キーを押してローカルモードに切り替えることをお勧めします。

インクカートリッジの振り方

インクカートリッジの長手方向を両手で持ち、インクを流すように左右交互に傾け、20回ほど繰り返します。



重要!

- インクカートリッジを強く振りすぎると、内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となる恐れがありますのでお気をつけください。
- 新品カートリッジの場合は、袋から出す前に振ってください。
- 使用中のカートリッジの場合は、必ず手袋を着用の上、差し込み口側にウェスなどを押し当てて振ってください。
- インク残量が少ない場合は、十分に攪拌できない可能性があるため、カートリッジが縦になるくらいまで傾けてください。

ワーニングメッセージの表示時期を設定する (昇華転写インクご使用時のみ)

本装置を設定している環境に合わせて、色材沈降予防ワーニングを表示させる時期を設定してください。



- 初期状態でメッセージの表示時期は、72 時間に設定されています。

1

メンテナンスメニューの [オートメンテナンス] を選ぶ

- (1) ローカルで、**FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [オートメンテナンス] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して、[Sub-INK ワーニング] を選ぶ

オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング* <ent>

3

ENTER キーを押す

オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング* = **7**2 h

4

▲ **▼** を押して、動作時間を設定する

- 設定値：OFF (無効), 12 ~ 120 時間

オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング* = **8**4 h

5

ENTER キーを押す

オートメンテナンス
Sub-INK ワーニング* <ent>

6

終了するとき、**END** キーを数回押す

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0107) に交換してください。



- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

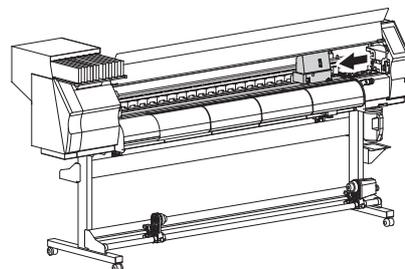


- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

1

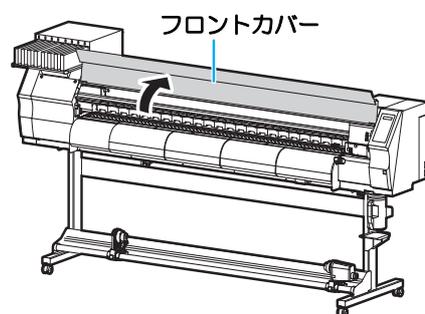
ST.MAINTE キーを押し、**ENTER** キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。



2

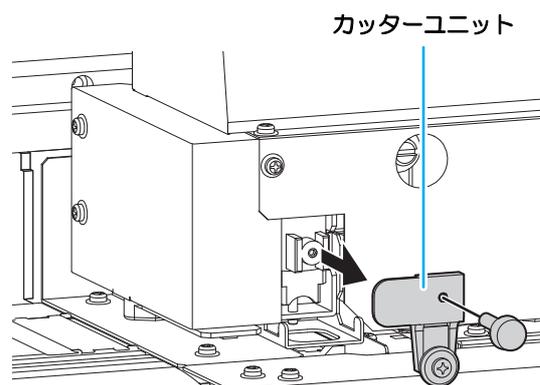
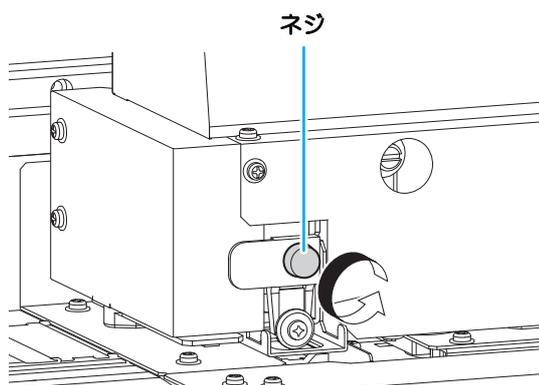
フロントカバーを開ける



3

キャリッジ横のカッターユニットを交換する

- (1) カッターユニットのネジを緩める
- (2) カッターユニットを取り外す
- (3) 新しいカッターユニットを取り付ける
- (4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する

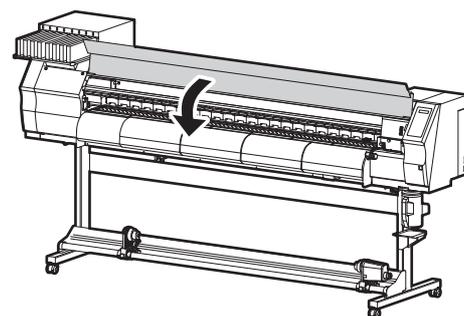


4

お手入れ

4

フロントカバーを閉じる



5

ENTER キーを押す

• ローカルに戻ります。

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

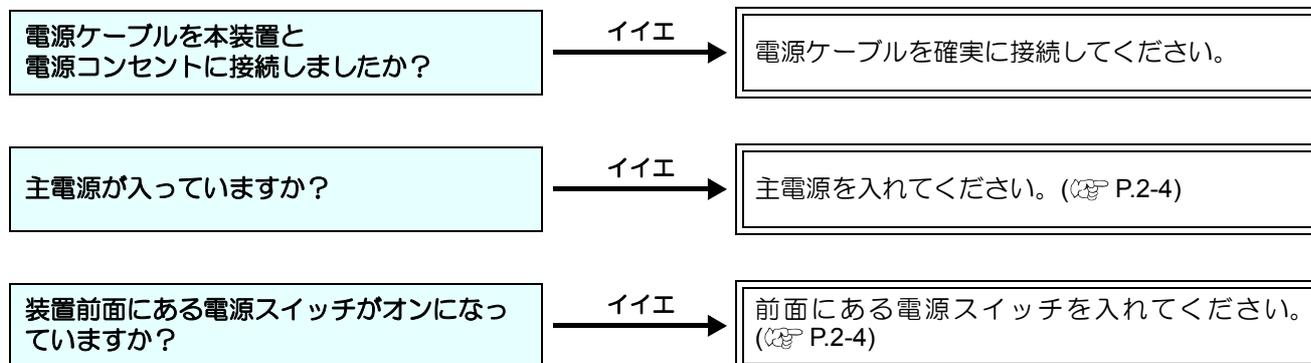
故障?と思う前に.....	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり/メディアが汚れる	5-3
画質不良が発生したときは	5-4
ノズル詰まりを解消したいとき	5-4
カートリッジ異常が発生したら	5-5
メッセージを表示するトラブル	5-6
ワーニングメッセージ	5-6
エラーメッセージ	5-8

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

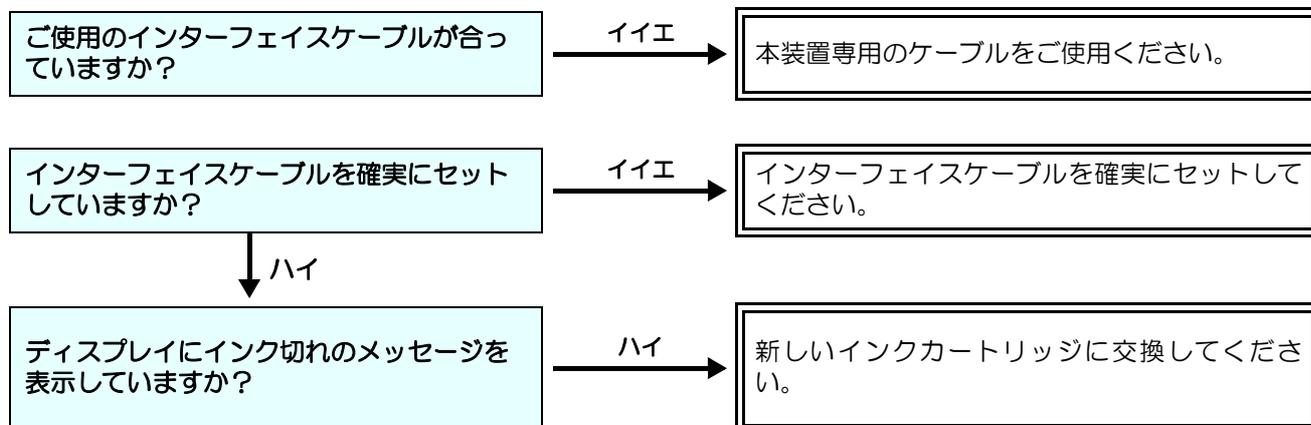
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



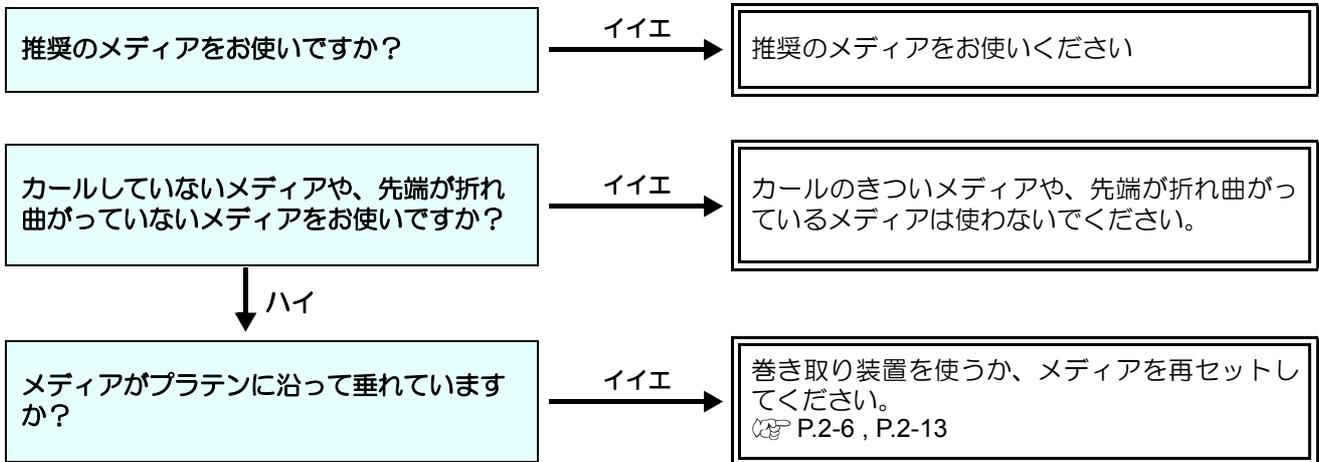
プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
白スジ/カスレ/色の濃いスジが発生する(ヘッド移動方向)	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。(☞ P.2-19) (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。(☞ P.4-5) (3) 「メディア補正」機能を実行してください。(☞ P.3-4) (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる	(1) 「メディア補正」機能を実行してください。(☞ P.3-4)
往復印字でズレが発生する	(1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。(☞ P.3-6)
プリント中にインク滴が落ちる	(1) ワイパーを清掃してください。(☞ P.4-5) (2) インクキャップのクリーニングをしてください。(☞ P.4-5) (3) ヘッドの周辺を清掃してください。(☞ P.4-14) (4) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。(☞ P.2-19) (5) 症状が改善されないときは、プリント中クリーニングの「ワイピング」の設定を行ってください。(☞ P.3-18)

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-19 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の3つの項目を確認してください。

- P.4-16 の操作をして、インクの充填をしてください。
- P.4-8 の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- P.4-23 の操作をして、ヘッド選択をしてください。(2ヘッド中1ヘッドが正常な場合)

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、ワーニングメッセージを表示します。プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

- 重要!** ・カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。

1 ローカルモードで、**ENTER** キーを押す

SB52-インク	MMBBYYKK
サンリョウ	34567899

2 **ENTER** キーを押す

ヒシ ユンセイ インク
---B---

- ・複数のカートリッジ異常が発生している場合、**ENTER** キーまたは、**◀▶** を押すと、順番に表示します。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

表示	原因	対処方法
カバ [°] ーヲ シメテタ [°] サイ、	フロントカバーまたはメンテナンスカバーが開いている。	<ul style="list-style-type: none"> フロントカバー、メンテナンスカバーを確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
* メテ [°] ィアカ [°] アリマセン *	メディアがセットされていない。	<ul style="list-style-type: none"> メディアをセットしてください。
!ハ [°] ッテリー コウカン シテタ [°] サイ	内部時計の電池切れを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
<ローカル . 1> [#01] !ワイハ [°] ーヲ コウカン シテタ [°] サイ	キャッピングステーションのワイパー交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	<ul style="list-style-type: none"> ワイパーを交換してください。 (☎ P.4-7)
<ローカル . 1> [#01] !テストサクス [°] ヲ シテタ [°] サイ	放置時間が長い場合、ノズルの復旧が見込めない。	<ul style="list-style-type: none"> テストプリントを行い、ノズル抜けを確認します。 ノズル抜けがある場合はクリーニングを行なってください。(☎ P.2-19) ノズル抜けがひどい場合は、P.4-8「ヘッドノズルの洗浄」の操作をしてください。
<ローカル . 1> [#01] ニアエント [°] MMBB----	1 供給経路あたりのインクが少なくなった。	<ul style="list-style-type: none"> 表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。 そのままでも(インクエンドが発生するまで)プリント可能ですが、1 ファイルプリント終了毎にローカルモードへ移行します。
リモート . 1 [#01] ニアエント [°] MMBB----		
<ローカル . 1> [#01] インクエント [°] ----YYKK	1 供給経路あたりのインクが終わった。	<ul style="list-style-type: none"> 表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを交換してください。
リモート . 1 [#01] インクエント [°] ----YYKK		
<ローカル . 1> [#01] カートリッジ [°] ----YYKK	1 供給経路あたりのカートリッジ起因による供給不可がある。	<ul style="list-style-type: none"> 表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを確認してください。
リモート . 1 [#01] カートリッジ [°] ----YYKK		
<ローカル . 1> [#01] カートリッジ [°] サイセット	インクの残量が多いカートリッジを挿入した直後に、ニアエンドを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 挿入したカートリッジを抜いて再挿入してください。再度表示される場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
<ローカル . 1> [#01] !CAR	装填したインクカートリッジに問題がある。 (他のワーニングと重複した場合は、"<ローカル . 1> !CAR/WASH" となり、[#**] は消去されず。)	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス機能でワーニング詳細を表示して内容を確認してください。
リモート . 1 [#01] !CAR		
インク ニア エント [°] MMBB ----	インクカートリッジのインクが少なくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
インク エント [°] ---- YYKK	インクカートリッジのインクがなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。

表示	原因	対処方法
ヒシ`ユンセイ インク ---- YYKK	インクカートリッジがミマキ純正品でない。	• ワーニングが発生しているカートリッジをミマキ純正品に交換してください。
インク IC イシ`ヨウ ---- YYKK	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めない。	• ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
インク シュルイ ---- ----	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー ---- ----	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。
カートリッジ` イシ`ヨウ ---- ----	装填したインクカートリッジが異常	• ワーニングが発生しているカートリッジを確認してください。
カートリッジ` ナシ ---- ----	インクカートリッジがスロットに挿入されていない。	• ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。
カートリッジ` キレ ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌月までは)使用可能です。
キケン` キレ (1カケ`ツ) ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから1ヶ月経過)。	• 赤 LED が点滅します。ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 そのままでも(使用期限翌々月までは)使用可能です。
キケン` キレ (2カケ`ツ) ---- ----	インクカートリッジの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
キケン`キレ インク ショウチュウ ---- ----	インクの有効期限を延長して使用している。	• インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)
カンセン` キケン`キレ ---- ----	インクの有効期限を延長し、カートリッジに記載している有効期限より6ヶ月経過した。	• インクカートリッジを交換してください。 (☎ P.1-12)
サンリョウ` 0 ---- ----	インクカートリッジの残量が 0	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
!ハイ インクタンク	廃インクタンクがフル間近。	• 廃インクタンクを交換し、[メンテナンス]-[ハイインクタンク コウカン]を実行してください。(☎ P.4-28)

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
***** ERROR 01 ***** MAIN ROM	制御基板に異常が発生した。 (ROM)	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 02 ***** MAIN RAM	制御基板に異常が発生した。 (RAM)	
***** ERROR 03 ***** POWER +5V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +5V)	
***** ERROR 03 ***** POWER +24V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +24V)	
***** ERROR 03 ***** POWER +42V	制御基板に異常が発生した。 (電源電圧 +42V)	
***** ERROR 04 ***** フラッシュ ROM	制御基板に異常が発生した。 (パラメーター ROM)	
***** ERROR 06 ***** SD-RAM	制御基板に異常が発生した。 (SDRAM)	
***** ERROR 07 ***** ヘッド* (----)	ヘッドの接続に異常を検出した。(異常な温度を検出)	
***** ERROR 07 ***** テナツ (-----)	ヘッドの接続に異常を検出した。(異常な電圧を検出)	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー: センサー	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (カウントできない)	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー: ホウコウ	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (取り付け方向の異常)	
***** ERROR 08 ***** リニアエンコーダー: カウント	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。 (読み出しカウント数異常)	
***** ERROR 09 ***** FPGA エラー	制御基板に異常が発生した。 (FPGA PDC)	
***** ERROR 09 ***** FPGA PRAM BUSY	制御基板に異常が発生した。 (FPGA PDC)	
***** ERROR 09 ***** HDC エラー (----)	制御基板に異常が発生した。 (FPGA HDC)	
illegal IPT xxx xxxxxxxxxxxxxxxx	CPU 不正割り込みが発生した。	
Prg Err TK=xxx ASSRT [xxxx] [xxxx] [xxxx]	プログラムエラーが警告された。	

表示	原因	対処方法
***** ERROR 10 ***** コマント`エラー	コマンドデータ以外のデータを受信した。	• インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
***** ERROR 11 ***** ハ`パラメーター エラー	数値範囲外のパラメーターを受信した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 16 ***** MRL コマント`	受信データが、装置で設定したコマンド体系と異なる。	• 本装置に対応したコマンド体系のデータを送信してください。
***** ERROR 25 ***** FULL-SPEED	USB2.0 接続でホストコンピュータと I/F ボードとの通信にエラーが発生した。(Full-Speed モード接続)	• ホストPCがUSB2.0 インタフェイスに対応しているか確認してください。 (そのまま使用できませんが、Hi-Speed モード接続を推奨します。)
***** ERROR 34 ***** ミサクス`テ`ーター アリ	受信済みで未プリントのデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしている。	• 受信済みのデータを全てプリントするか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
***** ERROR 40 ***** モ`ーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 41 ***** モ`ーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
***** ERROR 42 ***** X オーバ`カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 43 ***** Y オーバ`カレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
***** ERROR 45 ***** キャッピング` : ハ`パラメーター	キャッピング制御に異常が発生した。(パラメーター調整値不正)	
***** ERROR 46 ***** ワイパー	ワイパー制御に異常が発生した。	
***** ERROR 50 ***** メ`ディア ケンシュツ	用紙を検出できなかった。 メディアのセット位置、使用メディアが不適当。	• メディアを正しくセットしても、エラーを表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
***** ERROR 50 ***** メ`ディア セット イチ	メディアのセット位置が不適正のため、メディア検出が完了しなかった。	• メディアを正しい位置にセットし直してください。(P.2-8、P.2-14)
***** ERROR 51 ***** Y ケンテン	Y 原点検出ができなかった。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
**** ERROR 120 **** カンキョウオント` ヒクイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (低い) になっている。	• 設置環境の温度を調整してください。(P.3-33)
**** ERROR 121 **** カンキョウオント` タカイ	環境温度が使用可能温度範囲外 (高い) になっている。	
**** ERROR 144 **** カートリッジ` セット!	カートリッジが挿入されていないスロットがある。	• カートリッジをセットしてください。

表示	原因	対処方法
**** ERROR 200 **** ヘッドメモリー (----)	ヘッドユニットメモリーに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
**** ERROR 202 **** ソウチ コウセイ	ヘッドが接続されていない ヘッドスライダ-基板異常	
**** ERROR 203 **** SDRAM サイズ*	装置に必要なサイズの SD-RAM が搭載されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 (使用可能な SDRAM が存在する場合は、そのまま起動できますが、解像度によってはプリントスピードが低下します。)
**** ERROR 205 **** 42V HEAD Voltage	ヘッド電圧の異常を検出した。	
**** ERROR 207 **** XXXXXXXXXXXX	ディスプレイ下段に印字している波形の異常を検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
**** ERROR 208 **** CHECK MAIN PCB ID XX	メイン基板の機種 ID が違います。 (XX は ID コード)	
**** ERROR 250 **** Y サ`ヒョウ	スキャン動作時に異常を検出した。	
**** ERROR 251 **** システム エラー	システムエラーが発生	

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
インク種によるセットの違いについて	6-4
インクカートリッジのセット順	6-4
オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔	6-4
お問い合わせシート	6-5
警告ラベルについて	6-6
機能フローチャート	6-8

本体仕様

項目		TS34-1800A
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	2ヘッド
プリントモード(スキャンxフィード)		540 x 360dpi ^{*1} / 720 x 540dpi / 540 または 720 x 720dpi / 540 x 900dpi / 540 または 720 x 1080dpi / 720 x 1440dpi / 1440 x 1440dpi
使用可能インク	専用水性インク	昇華転写インク (Sb) : 4色 (Y,M,BI,K または DK) 6色 (Y,M,BI,K または DK,LBI,Lm) 6色 (Y,M,BB,K または DK,LBB,Lm)
		水性顔料インク (Pig) : 4色 (Y,M,C,K) 6色 (Y,M,C,K,Lc,Lm)
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インクカートリッジ交換方式: 2カートリッジ/1色によるトグル切換供給
インク容量	専用水性インク	6色搭載時: 440cc カートリッジ各色 1本 (M,C または M,BI のみ 2本) 4色搭載時: 440cc カートリッジ各色 2本
使用可能メディア	専用水性インク	フォトペーパー、合成紙、転写紙
最大プリント範囲		1900mm
ロールメディア サイズ	最大幅	1910mm
	最小幅	210mm
	厚さ	1.0mm 以下
	ロール外径	Φ180mm 以下
	ロール重量 ^{*2}	25kg 以下
	紙管内径	2インチまたは3インチ
	プリント面	ロール外側面
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフメディア サイズ	最大幅	1910mm
	最小幅	210mm
プリントマージン	リーフメディア	左右: 25.0mm (デフォルト値) 前: 40.0mm 後: 100mm
	ロールメディア	左右: 25.0mm (デフォルト値) 前: 40.0mm 後: 100mm
距離精度	絶対精度	±0.3mm または指定距離の ±0.3% の大きい方
	再現性	±0.2mm または指定距離の ±0.1% の大きい方
直角度		±0.5mm / 1000mm
メディアスキュー		5mm 以下 / 10m
ヘッド高さ調整		Lレンジ: 2.0mm/3.0mm 2段階調整 Hレンジ: 3.0mm/4.0mm 2段階調整
メディア裁断		ヘッド部カッターによるY方向カット, 裁断精度(段差) 0.5mm 以下
排紙		ロール巻き取り装置標準(内巻き/外巻き切り替え可能)
廃インクタンク		ボトル式(2000cc)
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL-Ⅲ
騒音	待機時	58dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65dB 以下
	動作不連続音	70dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, ETL, CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令、機械指令), CB レポート, RoHS 対応
電源仕様		AC100 ~ 120±10%, AC220 ~ 240±10%, 50/60Hz±1Hz, 3A 以下
消費電力		360W 以下

項目		TS34-1800A
設置環境	使用可能温度	20℃～35℃
	相対湿度	35～65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20℃～25℃
	温度勾配	±10℃/h 以下
	粉塵	オフィス相当
	最高動作高度	2000 m
重量		210 kg
外形寸法	幅	2828 mm
	奥行き	739mm
	高さ	1424 mm

*1. 昇華転写インク Sb53 を使用時のみ、お使いになれる解像度です。

*2. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

インク仕様

項目		専用昇華転写インクカートリッジ	水性顔料インクカートリッジ
形態			
色		ブラックインクカートリッジ ブルーインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトブルーインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ ディープブラックインクカートリッジ	ブラックインクカートリッジ シアンインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトシアンインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ
インク容量		220cc / 440cc カートリッジ	
有効期限		有効期限は、インクカートリッジに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても3ヶ月以内。	
保存温度	保存時	10～35℃ (1日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。	
	輸送時	0～40℃ ・0℃より低温になる場所、40℃より高温になる場所は避けること。	

重要!

- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
 - ・水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

インク種によるセットの違いについて

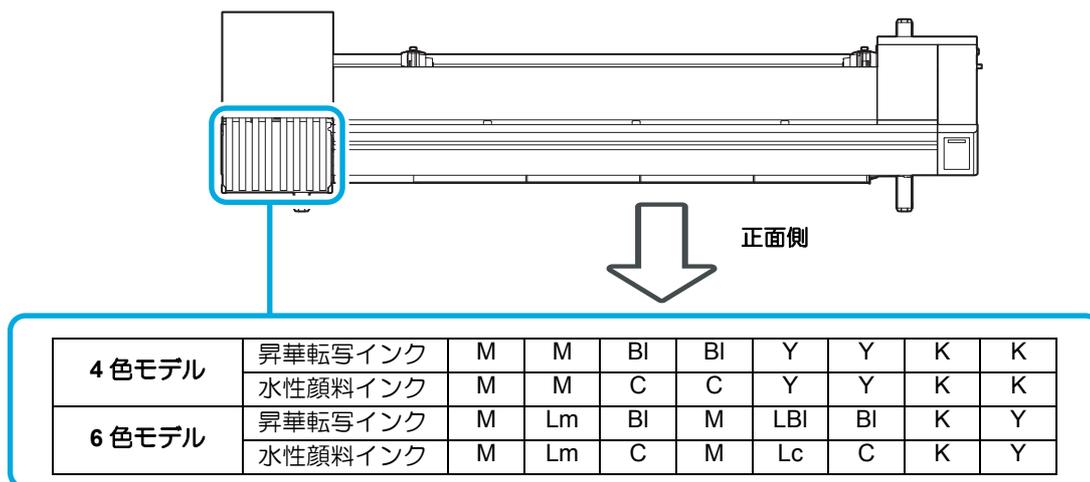
ご使用になるインク種によって、設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。



- インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。



オートメンテナンス機能のメンテナンス間隔

オートメンテナンス機能で設定されているメンテナンス間隔の初期値は、お使いのインク種によって異なります。

機能名	初期値	
	昇華転写インク	水性顔料インク
リフレッシュのメンテナンス間隔	4h	OFF
チューブセンジョウのメンテナンス間隔	48h	OFF
クリーニングのメンテナンス間隔	OFF	OFF

お問い合わせシート

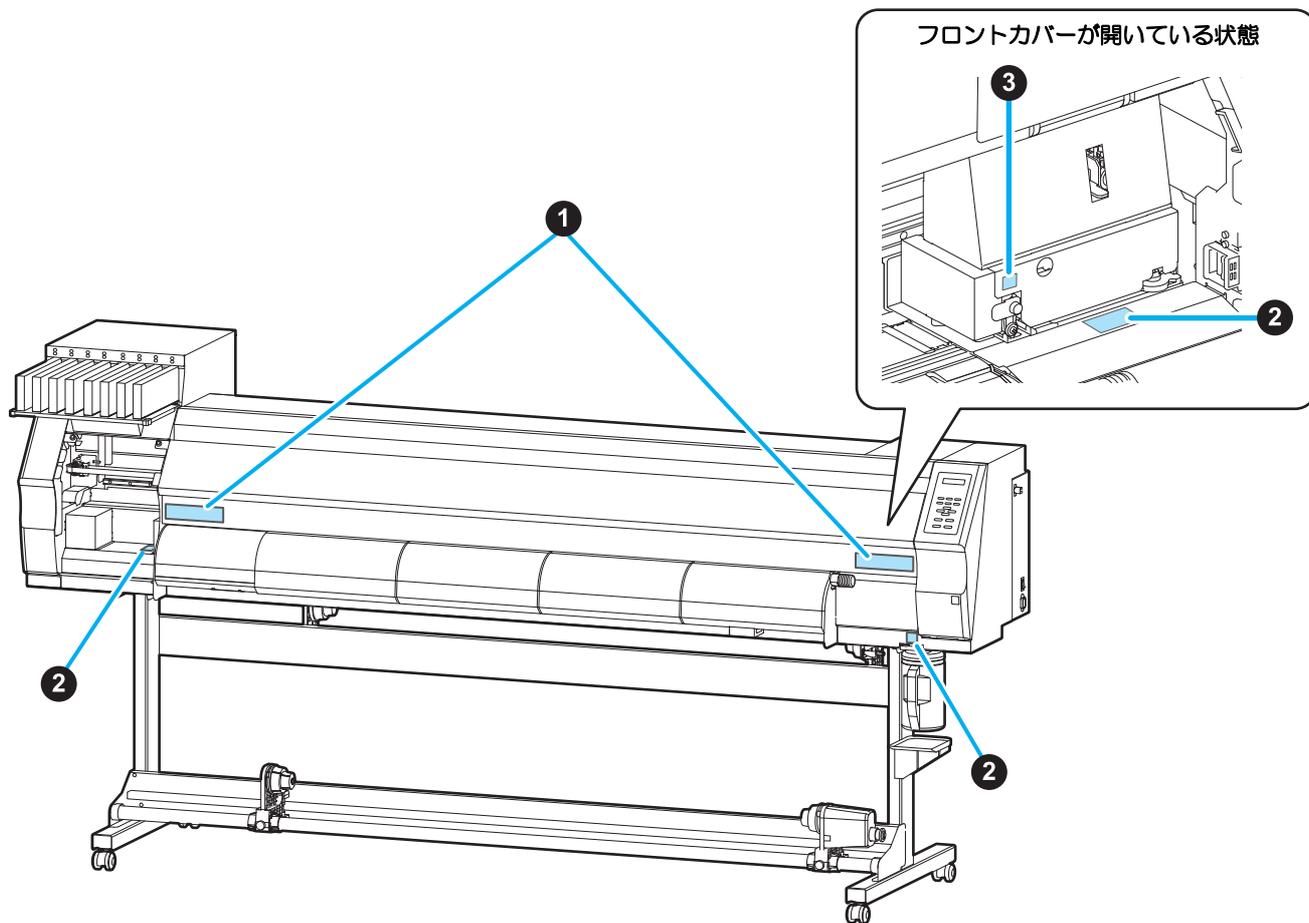
プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第 3 章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧ください。 (P.3-38)

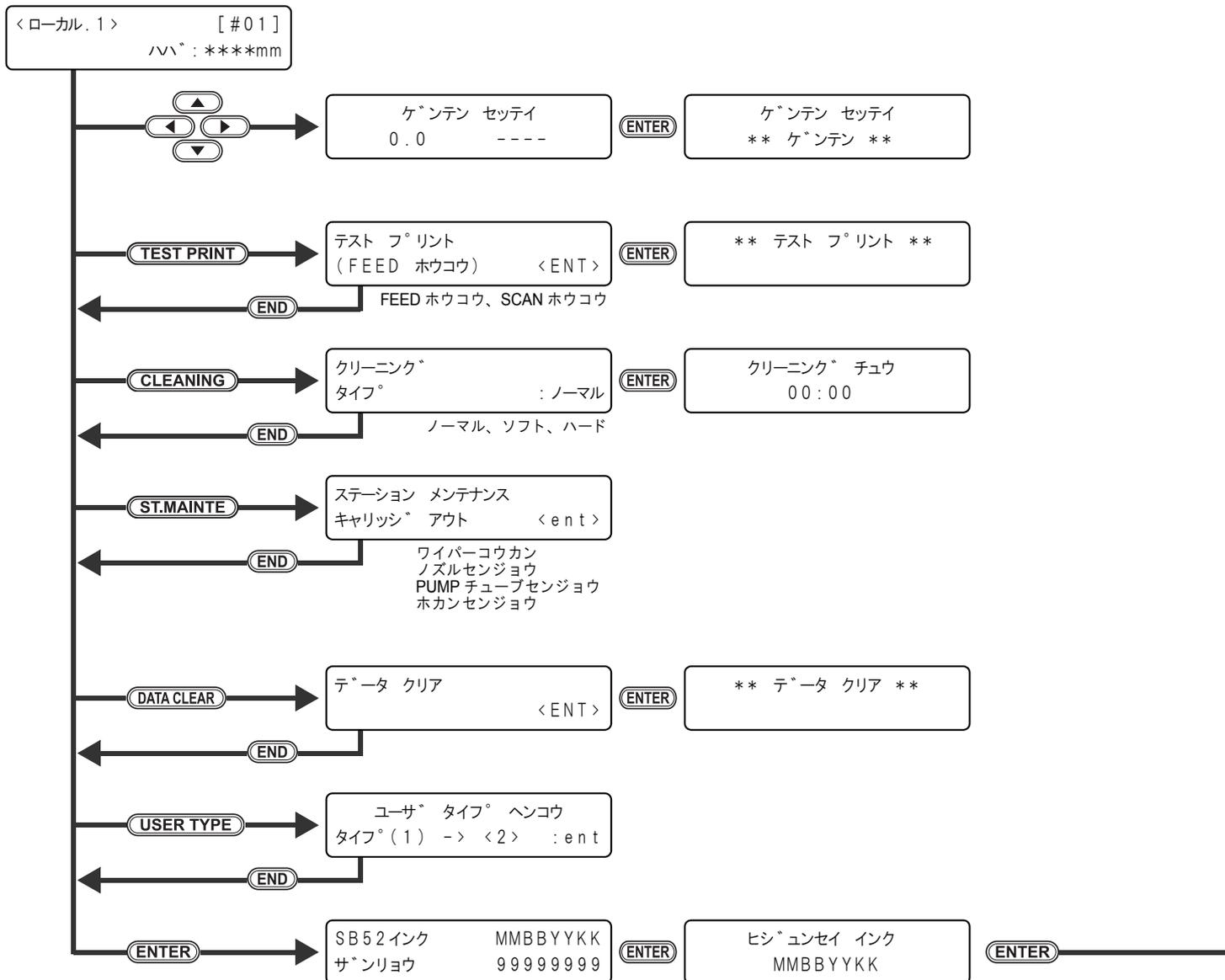
警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

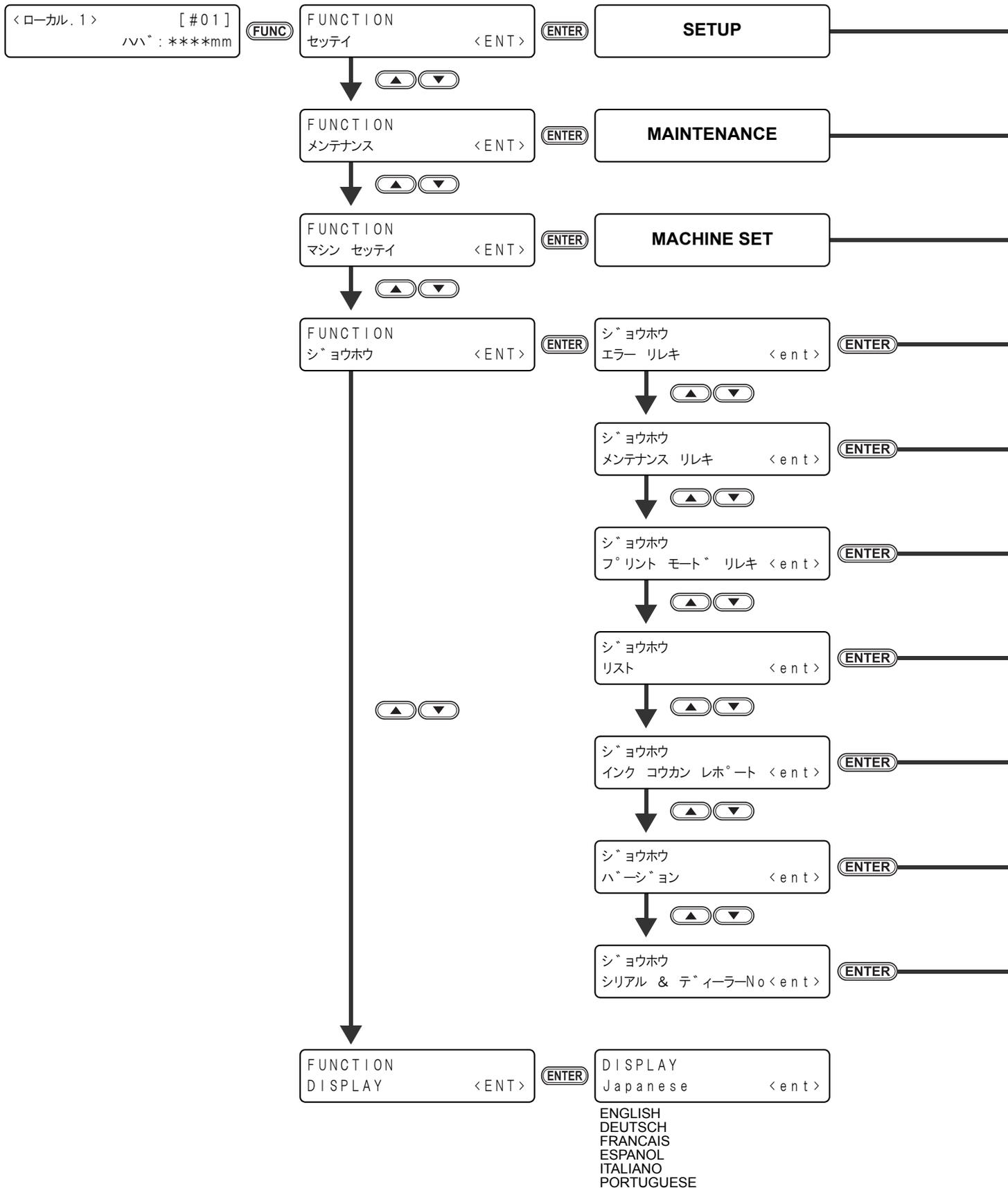


No.	注文番号	ラベル										
1	M901549	<table border="1"> <thead> <tr> <th>⚠ 注意</th> <th>⚠ 注意</th> <th>⚠ CAUTION</th> <th>⚠ ACHTUNG</th> <th>⚠ ATTENTION</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滚轮转动时, 请勿将手插入 前面外盖的内部。</td> <td>キャリッジ動作中は、フロント カバーの中に指を入れない ください。</td> <td>-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area</td> <td>-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.</td> <td>-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. <small>(S)</small></td> </tr> </tbody> </table>	⚠ 注意	⚠ 注意	⚠ CAUTION	⚠ ACHTUNG	⚠ ATTENTION	滚轮转动时, 请勿将手插入 前面外盖的内部。	キャリッジ動作中は、フロント カバーの中に指を入れない ください。	-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area	-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. <small>(S)</small>
⚠ 注意	⚠ 注意	⚠ CAUTION	⚠ ACHTUNG	⚠ ATTENTION								
滚轮转动时, 请勿将手插入 前面外盖的内部。	キャリッジ動作中は、フロント カバーの中に指を入れない ください。	-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area	-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone. <small>(S)</small>								
2	M903330											
3	M903405											

機能フローチャート







→ P.6-12 へ進む

→ P.6-16 へ進む

→ P.6-20 へ進む

エラー リレキ
スベテ <ent>

ENTER

エラー リレキ
[01] 11.03.01 23:30

◀ ▶

***** ERROR 09 *****
HDC ERROR (----)

[01] 11.03.03 08:18
>> キャリッジ アウト

[01] 720x1080 .12
Bd.Vd.x1.1L: 12.34m

ENTER

プリント モード リレキ
[01] 11.03.03 08:18

リスト
** プリント チュウ **

インク コウカン レポート
カラー センタク : Black

ENTER

インク コウカン レポート
プリント カイシ <ent>

TS34-1800A V*.*
MRL-111 V*.*

S/N = 00000000
D/N = 00000000

SETUP

セッテイ
センタク : タイプ 1

ENTER

[1] メテ`ィア ホセイ <ent>

ENTER

[1]メテ`ィア ホセイ
フ`リント カイシ :ent

ENTER



[1] ト`ット イチ ホセイ <ent>

ENTER

[1]ト`ット イチ ホセイ
フ`リント カイシ :ent

ENTER



[1] フ`リント ホウシキ <ent>

ENTER

[1]フ`リント ホウシキ
ハ`ス <ent>

ENTER



[1]フ`リント ホウシキ
スキャン ソク` <ent>

ENTER



[1]フ`リント ホウシキ
スキャン ホウコウ <ent>

ENTER



[1]フ`リント ホウシキ
ロシ` カルシーク <ent>

ENTER



[1] カサネヌリ <ent>

ENTER

[1]カサネヌリ
セッテイ :ホスト
ホスト /1 ~ 9回



[1] カンソウ シ`カン <ent>

ENTER

スキャン : フ`リント エント`
ホスト : ホスト
スキャン : ホスト /0 ~ 19.9s
プリントエンド : ホスト /0 ~ 999s



[1] オート カット <ent>

ENTER

[1]オート カット
セッテイ :ホスト
ホスト / ON/ OFF



[1] フ`リフイ`ト` <ent>

ENTER

[1]フ`リフイ`ト`
セッテイ :ホスト
ホスト / ON/ OFF



[1] マーシ`ン <ent>

ENTER

ヒタ`リ : ミキ`
ホスト : ホスト
ホスト / -10~85mm



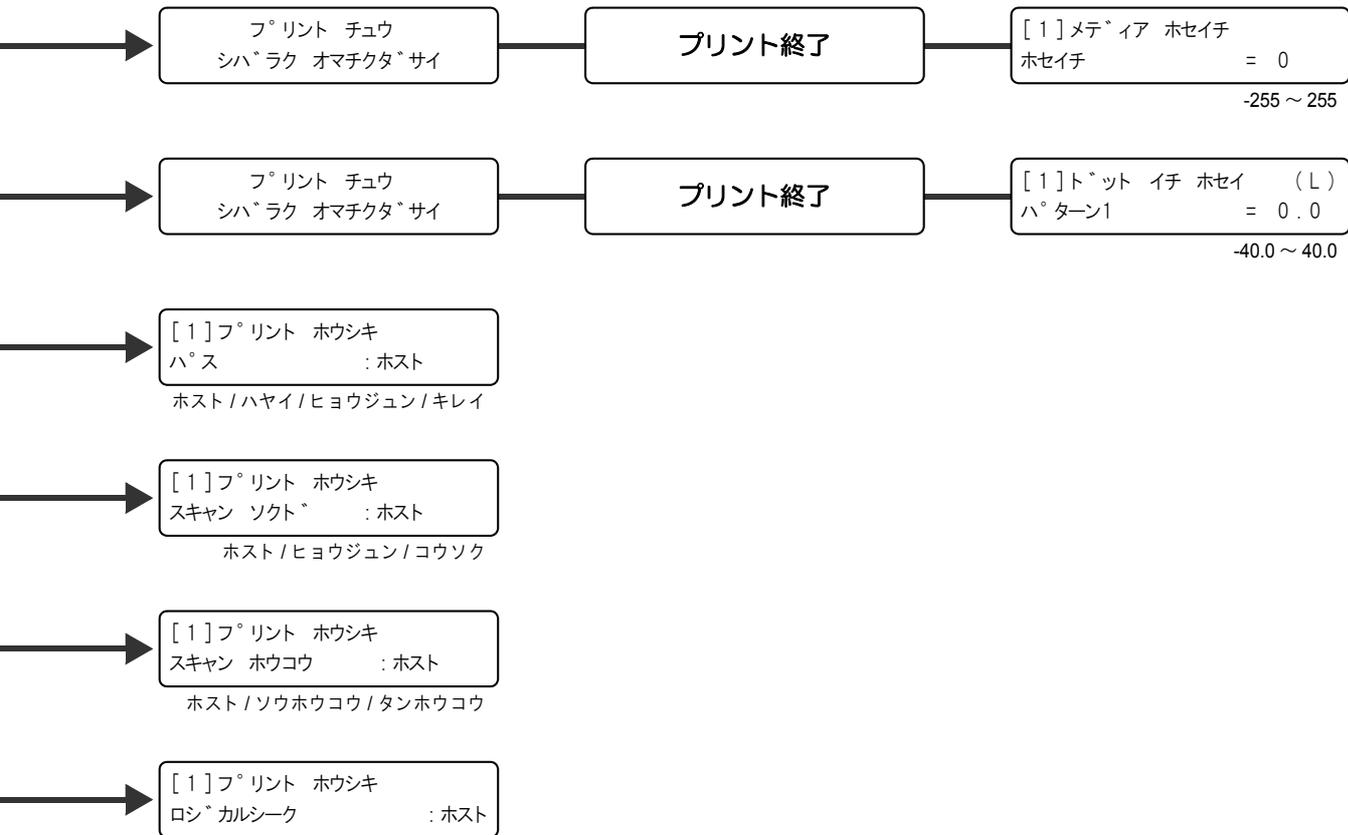
[1] カラー ハ`ターン <ent>

ENTER

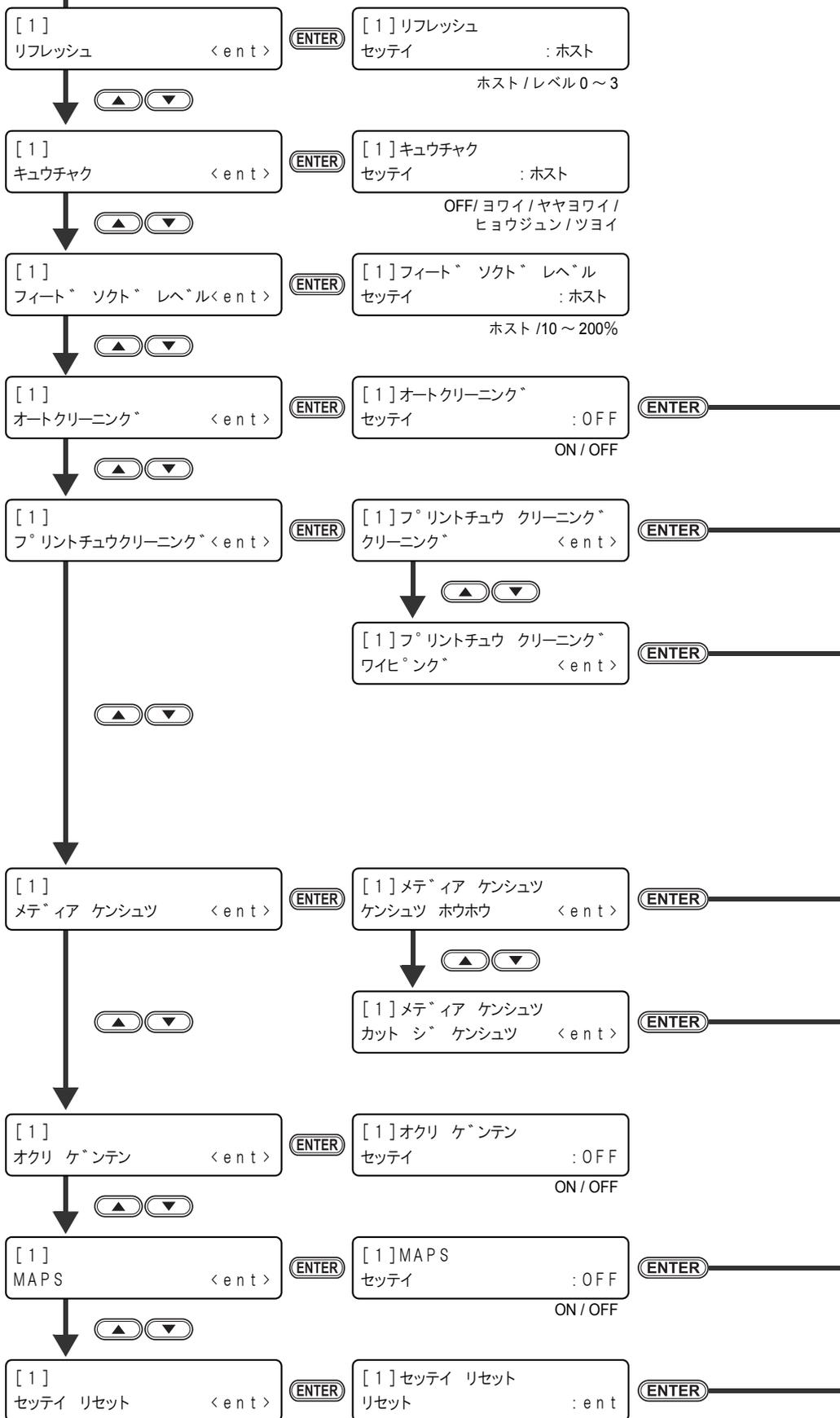
[1]カラー ハ`ターン
ヒタ`リ:ホスト ミキ`:ホスト
ヒダリ:ホスト /ONx1~ONx5/OFF
ミギ:ホスト /ON/OFF

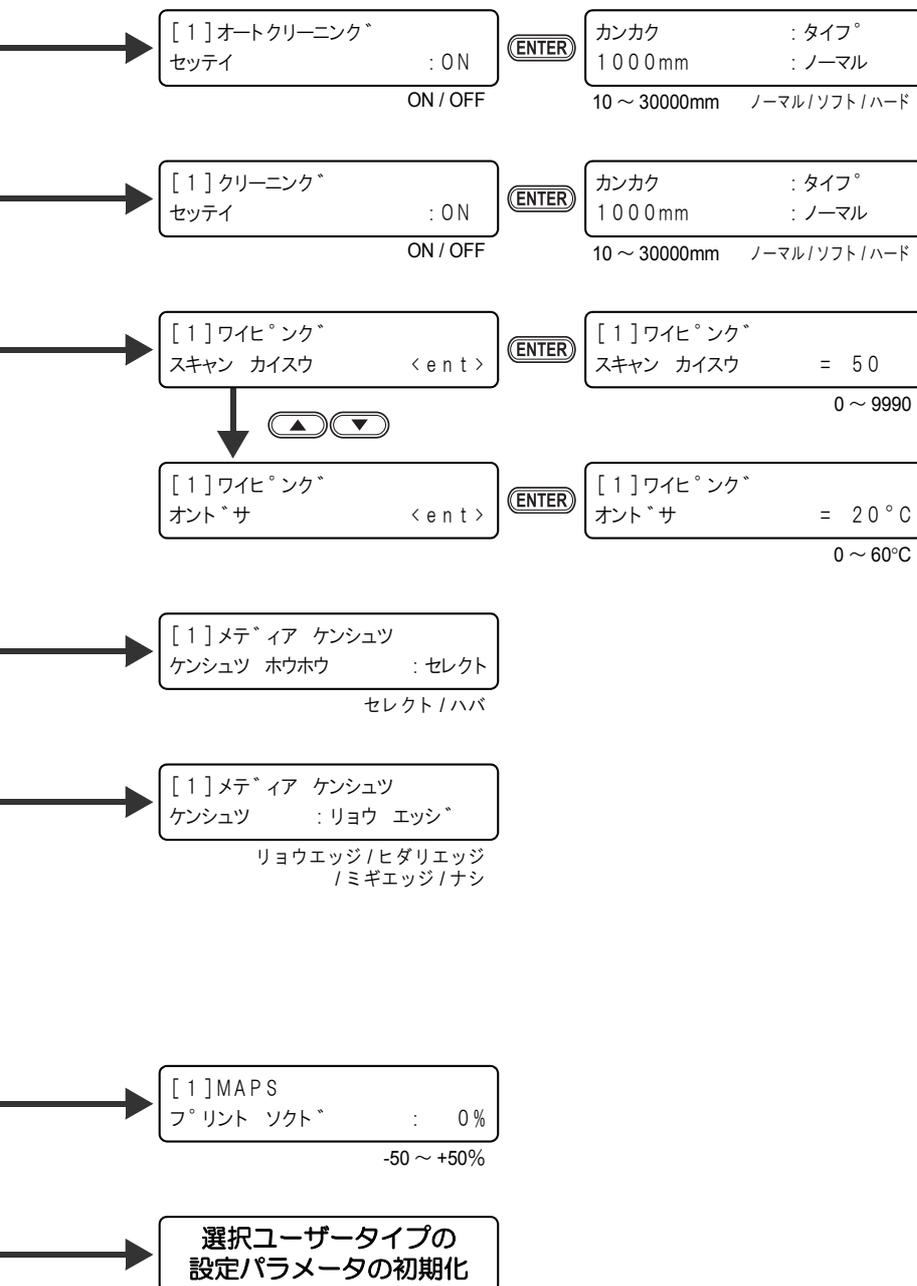


P.6-14 へ



P.6-12 から





MAINTENANCE

メンテナンス
ステーション メンテナンス <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent

ENTER



ステーション メンテナンス
ワイパー コウカン <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent

ENTER



ステーション メンテナンス
ノズル センシヨウ <ent>

ENTER

ワイパー クリーニング
シュウリョウ(ツキヘ) :ent

ENTER



ステーション メンテナンス
PUMPチューブ センシヨウ <ent>

ENTER

ステーション メンテナンス
シュウリョウ :ent

ENTER



ステーション メンテナンス
ホカン センシヨウ <ent>

ENTER

ワイパー クリーニング
シュウリョウ(ツキヘ) :ent

ENTER

メンテナンス
キャリッジ メンテナンス <ent>

ENTER

キャリッジ メンテナンス
シュウリョウ :ent

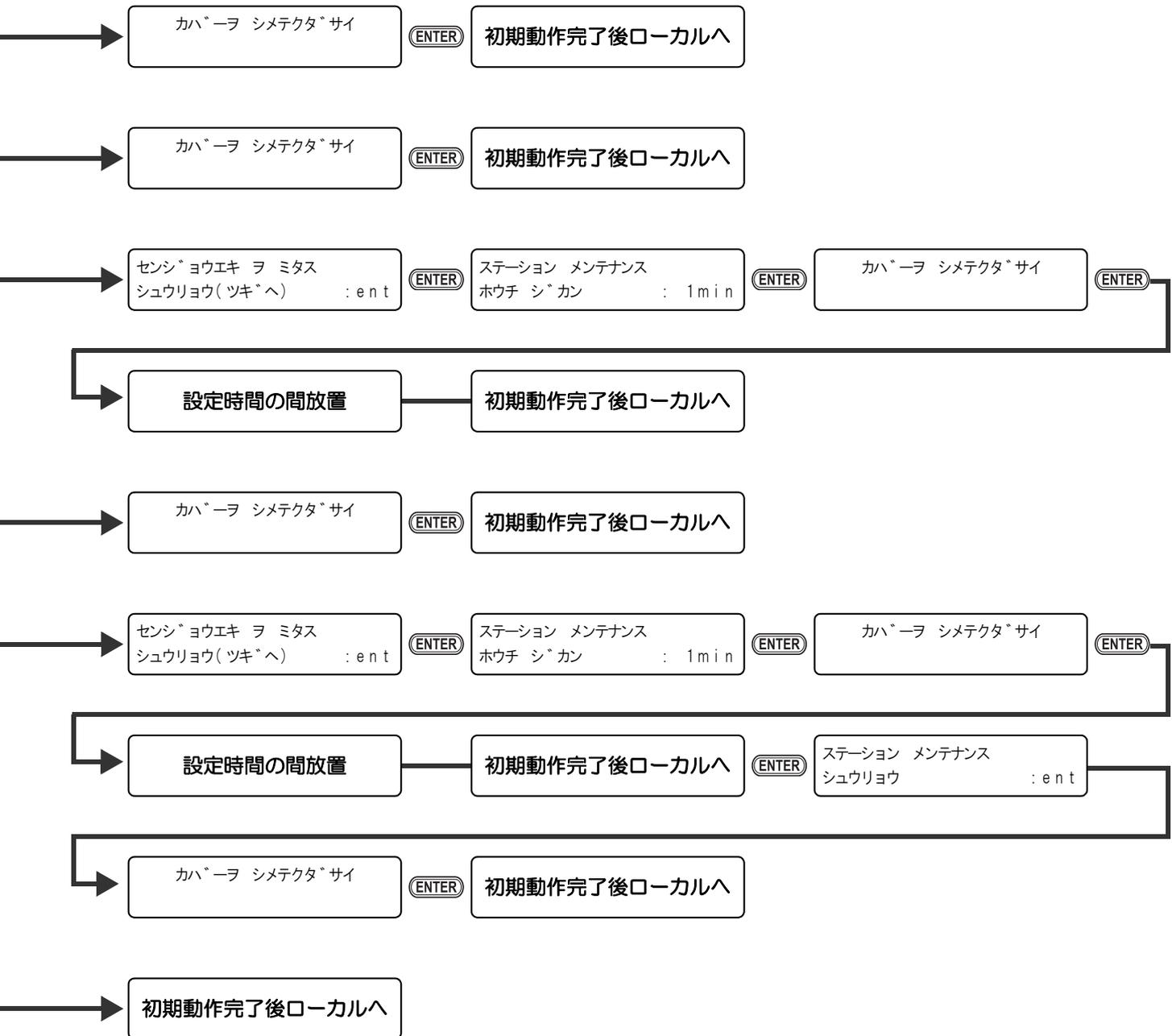
ENTER

カバー シメテクタサイ

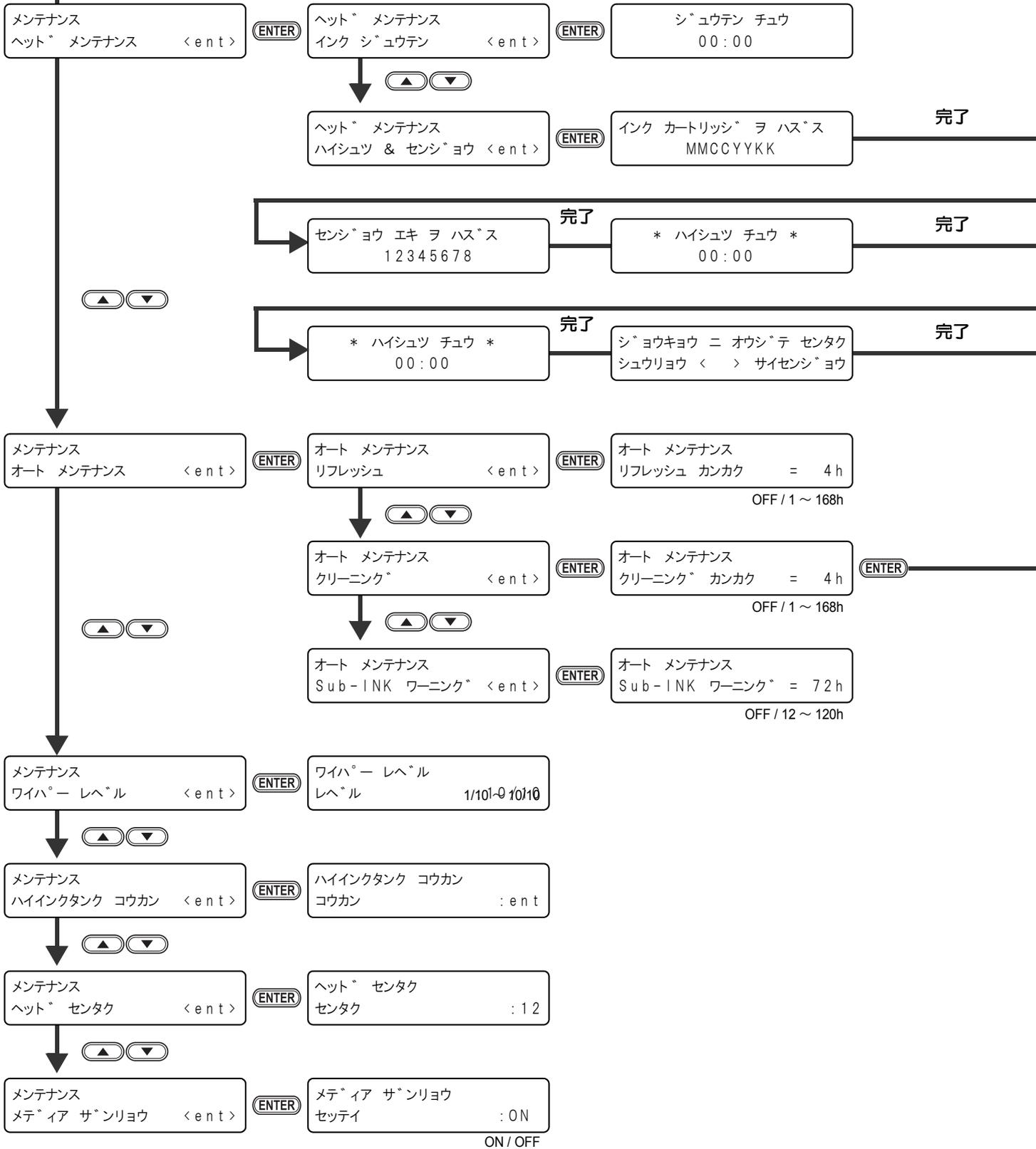
ENTER

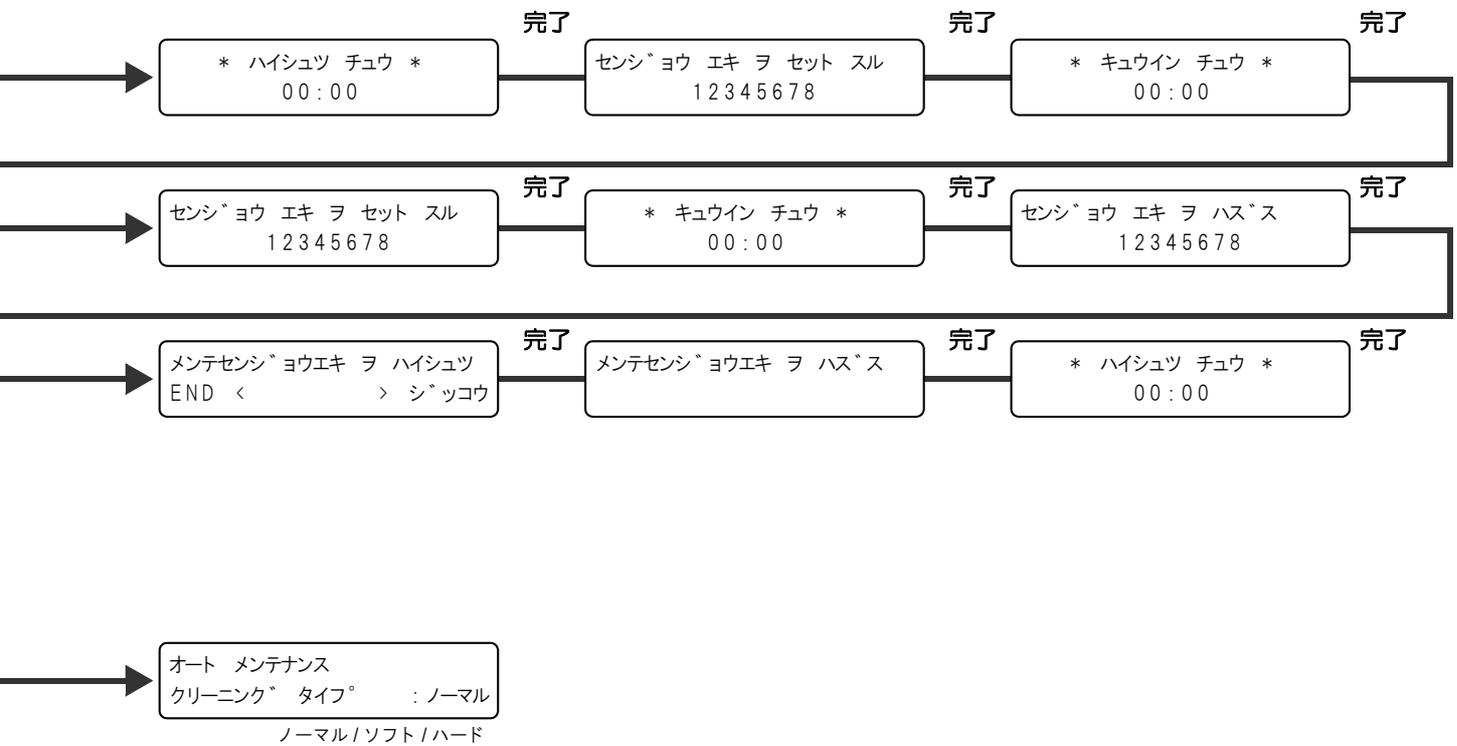


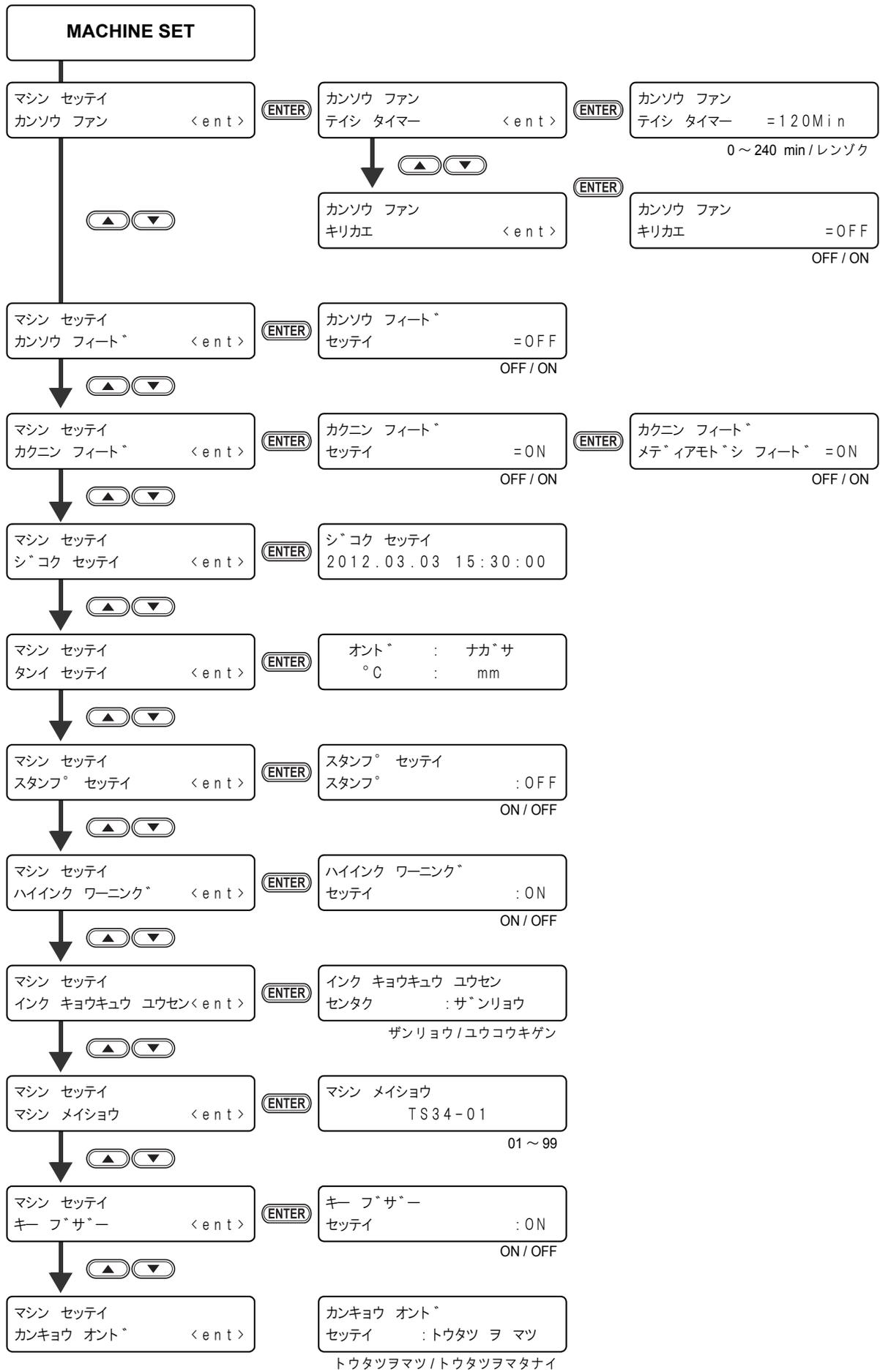
P.6-18 へ



P.6-16 から







索引

L	
LED ポインタ	2-16
M	
MAPS	3-3, 3-21
P	
PUMP チューブ洗浄	4-10
U	
USB2.0 インターフェイスケーブル	1-10
あ	
安全にお使いいただくために	vii
ご注意とお願い	ix
使用上の警告と注意	viii
使用上のご注意	viii
設置上のご注意	x
い	
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	1-13
インクコウカンレポート	3-38
インクの初期充填を行う	4-19
インクの有効期限を延長する	3-34
インクを充填する	4-16
え	
エラーメッセージ	5-8
お	
オートカット	2-22
オートメンテナンス機能	
クリーニング間隔	4-21
リフレッシュ間隔	4-20
お問い合わせシート	6-5
か	
外装のお手入れ	4-3
各部の名称とはたらきについて	
キャリッジ	1-8
操作パネル	1-6
装置前面	1-4
装置背面 / 側面	1-5
メディアセンサー	1-7
画質不良が発生したときは	5-4
カッター刃とカット溝	1-8
カッター刃の交換	4-33

カンキョウオンドの動作条件	3-33
カンソウフィード	3-26

き

キーブザー	3-32
キャッピングステーション	1-9
キャッピングステーションのメンテナンス	
インク排出路の洗浄	4-10
長期間使用しない場合	4-12
ヘッドノズルの洗浄	4-8
ワイパーとキャップの清掃	4-5
ワイパーを交換する	4-7

く

クリーニング間隔	3-16, 3-17
クリーニングタイプ	3-16, 3-17

け

警告ラベル	6-6
原点	
原点設定位置の目安	2-16

こ

故障?と思う前に	5-2
カートリッジ異常が発生したら	5-5
画質不良が発生したときは	5-4
作図できない	5-2
電源が入らない	5-2
ノズル詰まりを解消したいとき	5-4
メディアが汚れる	5-3
メディア詰まり	5-3
ご注意	v

さ

作業の流れ	2-3
作図結果	2-18
作図方式	
スキャン方向の設定	3-9, 3-10
ロジカルシークの設定	3-11
作図を開始する	2-20
作図を中止する	2-21

し

ジコク	3-28
受信障害	v
仕様	
インク仕様	6-3
本体仕様	6-2
使用可能メディアサイズ	1-14
使用環境温度	1-2
情報を表示させる	3-34, 3-38

初期状態	3-24
<hr/>	
す	
<hr/>	
スタンプ	3-30
<hr/>	
せ	
<hr/>	
設置場所について	1-2
設定リセット	3-24
<hr/>	
そ	
<hr/>	
装置情報を確認する	3-34
<hr/>	
た	
<hr/>	
タンイ	3-29
<hr/>	
て	
<hr/>	
データクリア	2-21
データを作図する	2-20
テストプリントに関する注意事項	2-17
電源ケーブル	1-11
電源を入れる	2-4
電源を切る	2-5
電源を切るときのご注意	2-5
電波障害自主規制	v
<hr/>	
と	
<hr/>	
ドットの位置がずれたら	3-6
取扱説明書について	vi
トルクリミッタ	2-13
<hr/>	
に	
<hr/>	
ニアフル	4-26
日常のお手入れ	
お手入れ上のご注意	4-2
<hr/>	
は	
<hr/>	
廃インクタンク確認メッセージ	4-26
廃インクタンクを交換する	4-28
ハイシュツ&センジョウ	4-17
パターン作図	3-6
<hr/>	
ひ	
<hr/>	
標準マージン	3-13
ピンチローラーとフィードローラー	1-9

<hr/>	
ふ	
<hr/>	
ファンクションモード	1-15
プラテンの清掃	4-3
フル	4-26
<hr/>	
へ	
<hr/>	
ヘッドギャップを調整する	2-6
ヘッドクリーニング	2-19
ヘッドクリーニングについて	2-19
<hr/>	
ほ	
<hr/>	
ホカンセンジョウ	4-12
補正パターン	3-4
本装置の移動	1-3
本装置のご紹介	vii
<hr/>	
ま	
<hr/>	
マーク表示	vii
巻き取り装置について	2-13
マシン設定	3-25
マシンメイショウ	3-31
マニュアルカット	2-22
<hr/>	
め	
<hr/>	
メディア	
メディアをカットする	2-22
メディアをセットする	2-8
メディア押えの清掃	4-4
メディア残量入力	2-12
メディア残量表示	4-24
メディア取り扱い上の注意	1-14
メディア補正の設定	3-4
メンテナンス洗浄液	4-2
<hr/>	
ゆ	
<hr/>	
ユーザータイプ	
設定機能一覧	3-2
タイプ登録	3-2
タイプ登録の例	3-2
登録できる設定内容	2-2
ユーザータイプを使用する	2-2
<hr/>	
り	
<hr/>	
リーフメディアをセットする	2-14
リモートモード	1-15

ろ

ローカルモード	1-15
ローカルガイド支持チャンネル	2-9
ローカルメディアをセットする	2-8

わ

ワーニングメッセージ	5-6
ワイパー交換の警告時期	4-22
ワイパーレベル	4-22

TS34-1800A 取扱説明書

2013 年 8 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

